

# 平成 27 年度事業報告書

## IV 附属明細書

(ホームページのみ掲載分)

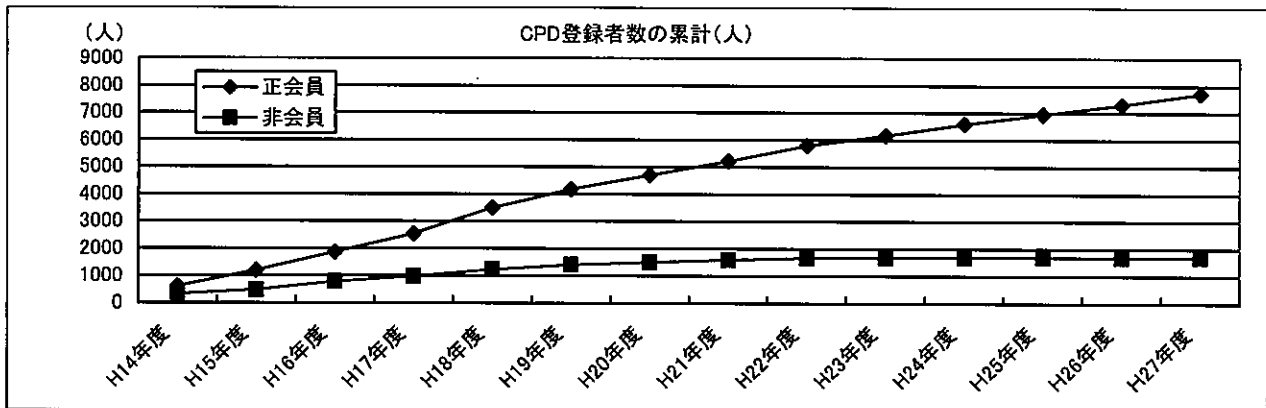
資料 10	技術士 CPD 登録等実績	1
資料 11	総会及び理事会における議題一覧	2
資料 12	規程類の制定・変更一覧	6
資料 13	第 7 回企業と技術者の倫理とコンプライアンス	8
資料 14	第 3 回技術者倫理ワークショップ	8
資料 15	技術士 CPD 中央講座	9
資料 16	技術士 CPD ミニ講座	11
資料 17	第 33 回技術士 CPD・技術士業績・研究発表年次大会	12
資料 18	2015 年度技術士フォーラム	13
資料 19	新春記念講演会	13
資料 20	第 18 回北東 3 地域本部技術士交流会	14
資料 21	第 21 回西日本技術士研究・業績発表年次大会	15
資料 22	第 42 回技術士全国大会（北陸・富山）	16
資料 23	地域産学官と技術士との合同セミナー	18
資料 24	技術士を目指そう、修習ガイダンス 2015	22
資料 25	技術士第二次試験合格者研修会・祝賀会	22
資料 26	技術士第一次試験合格者祝賀会	23
資料 27	技術士第二次試験合格者祝賀会	24
資料 28	技術士業務に関する対外協力件数	25
資料 29	技術支援基礎講座等	26
資料 30	海外技術業務協力実務講習会	27
資料 31	第 16 回修習技術者研究発表大会／先端複合技術研究発表年次大会	28
資料 32	第 28 回修習技術者研修セミナー	28
資料 33	修習技術者キャリアアップセミナー	29
資料 34	修習技術者研修会／先端複合技術研究発表会	29
資料 35	第 11 回全国防災連絡会議	31
資料 36	新聞・雑誌等記事掲載一覧	32
資料 37	技術士制度の講演会、説明会一覧	32
資料 38	後援、協賛等	33
資料 39	四役会議・常設委員長会議・地域本部長会議・部会長会議	35
資料 40	委員会の会議開催状況	38
資料 41	部会の開催	42

資料 42	地域本部の会合	42
資料 43	県支部の会合	43
資料 44	部会における講演会	44
資料 45	部会における見学会	57
資料 46	地域本部における主な講演会等	59
資料 47	地域本部における主な見学会	85
資料 48	地域本部管轄下の県支部における主な講演会等	87
資料 49	関東甲信地域の県支部における主な講演会等	95
資料 50	地域本部管轄下の県支部における主な見学会	103
資料 51	関東甲信地域の県支部における主な見学会	104
資料 52	地域本部管轄下の県支部、部門別正会員・準会員数	105
資料 53	関東甲信地域における県支部、部門別正会員・準会員数	108
資料 54	地域本部、部門別 女性正会員・準会員数	109
資料 55	会員による活動グループの異動状況	110
資料 56	平成 27 年度技術士試験実施状況	111
資料 57	技術部門別 女性技術士登録者数	112
資料 58	技術部門別 女性技術士補登録者数	113

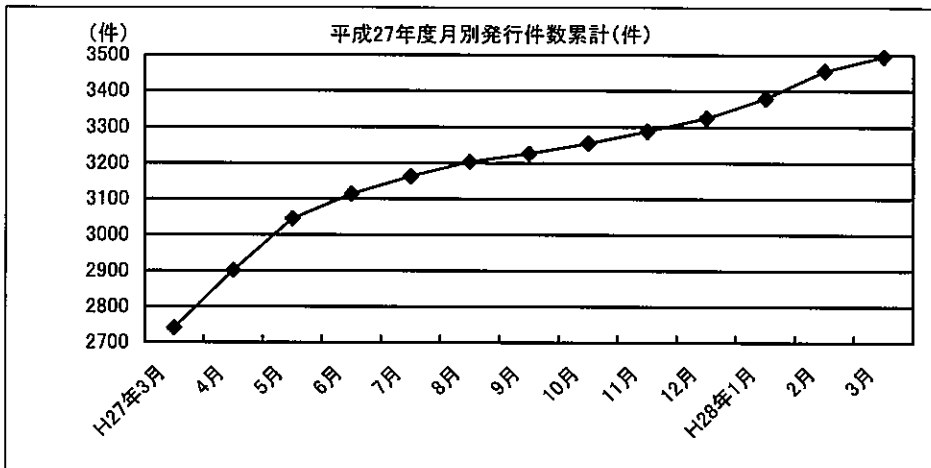
## 資料 10 技術士 CPD 登録等実績

### 1. CPD 登録者 (平成 13 年 4 月 1 日 ~ 平成 28 年 3 月 31 日)

平成 28 年 3 月末 (人)	WEB			文 書			合 計		
	正会員	非会員	合計	正会員	非会員	合計	正会員	非会員	合計
	7,229	1,250	8,479	487	461	948	7,716	1,711	9,427

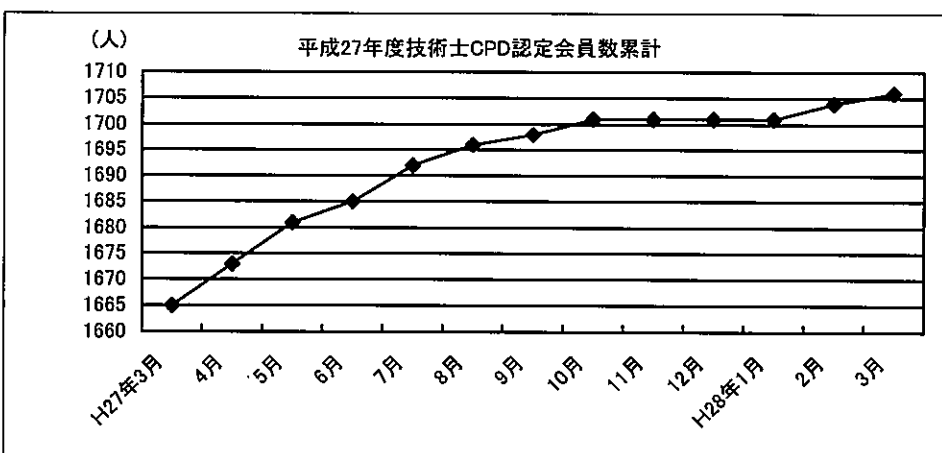


### 2. CPD 登録証明書 (平成 17 年 4 月 1 日 ~ 平成 28 年 3 月 31 日)



期 間	数(件)
H17.4~H20.3	179
H20.4~H21.3	145
H21.4~H22.3	224
H22.4~H23.3	545
H23.4~H24.3	326
H24.4~H25.3	317
H25.4~H26.3	359
H26.4~H27.3	646
H27.4~H28.3	755
累 計	3,496

### 3. CPD 認定会員 (平成 18 年 3 月 1 日 ~ 平成 28 年 3 月 31 日)



期 間	数(人)
H18.3~H19.3	619
H19.4~H20.3	248
H20.4~H21.3	122
H21.4~H22.3	125
H22.4~H23.3	94
H23.4~H24.3	38
H24.4~H25.3	189
H25.4~H26.3	176
H26.4~H27.3	54
H27.4~H28.3	41
累 計	1,706

※1,706名のうち1,013名は死亡・退会、更新せず、実際には、693名

## 資料 11 総会及び理事会における議題一覧

### (1) 総会

#### 第 57 回定時総会（平成 27 年 6 月 16 日）

第 1 号議案 役員の選任について

第 2 号議案 常勤理事報酬等の支給基準の変更について

（報告事項）

1. 平成 26 年度（平成 26 年 4 月 1 日から平成 27 年 3 月 31 日まで）事業報告及び同収支決算報告並びに監査報告について
2. 平成 27 年度事業計画及び収支予算について

### (2) 理事会

#### 第 1 回（平成 27 年 5 月 12 日）

（審議事項）

1. 平成 26 年度事業報告及び収支決算について
2. 第 57 回定時総会における役員選任について
3. 常勤理事報酬等の支給基準及び報酬の変更について
4. 第 57 回定時総会の開催日時・議題等について
5. 平成 27 年度新名誉会員について
6. 平成 27 年度フェロー認定について
7. 平成 27 年度会長表彰者について
8. 委員会運営に関する規則の変更について
9. 技術士制度検討委員会の設置について
10. 地域組織の運営についての詳細事項に関する規則の変更について
11. 地域組織運営の個別事項を定めるモデル手引きに関する規則の変更について
12. 県内の一部地域における会員活動への支援に関する規則の制定について
13. 会員の入会等について

（報告事項）

1. 平成 27 年度役員候補者選出選挙及び地域組織幹事選出選挙結果について
2. 創立 65 周年記念・第 43 回技術士全国大会開催概要（案）について
3. 平成 26 年度技術士 CPD 定期審査実施報告について
4. 収支予算管理に関する手引きの制定について
5. 役員等国内旅費交通費支給手引きの変更について
6. 会員拡大アンケート結果について
7. 東京都市大学柏門技術士会との相互協力協定の締結について
8. 常設委員会等報告について

#### 臨時（平成 27 年 6 月 12 日）

（審議事項）

1. 会長の選定について
2. 副会長の選定について

(報告事項)

1. 常設委員会委員長の委嘱について

第2回(平成27年7月3日)

(審議事項)

1. 顧問及び審議員の選任について
2. 地域本部長の選任について
3. 関東甲信地域県支部長の選任について
4. 部会長の委嘱について
5. 実行委員会委員の継続再任について
6. 常設委員会及び実行委員会委員の委嘱について
7. 実行委員会委員長の選任について
8. 個別規定に基づく委員会委員等の委嘱について
  - (1) 男女共同参画推進委員会
  - (2) APEC エンジニア審査委員会
  - (3) IPEA エンジニア・モニタリング委員会
  - (4) IPEA エンジニア審査委員会
9. 会員の入会等について

(報告事項)

1. 第57回定時総会(H27.6.16)開催結果報告について
2. 平成27年度技術士第二次試験受験申込状況報告等について
3. 科学技術・学術審議会技術士分科会報告について
4. 創立65周年記念・第43回技術士全国大会開催に関する検討状況について
5. 千葉工業大学技術士会及び近畿大学技術士会との覚書の締結について
6. 月刊「技術士」編集の手引きの制定について
7. 外部委員会委員の推薦について
8. 常設委員会等報告について
9. 平成27年度業務状況報告について

第3回(平成27年9月9日)

(審議事項)

1. オーストラリアエンジニア協会との友好協定の締結について
2. 第43回技術士全国大会運営委員会の設置・運営規則の制定について
3. 第43回技術士全国大会運営委員会委員の委嘱について
4. ワーキンググループの設置及びワーキンググループ員の委嘱について
  - (1) 倫理委員会 倫理教育検討ワーキンググループ
  - (2) 社会委員会 工事監査支援ワーキンググループ
  - (3) 男女共同参画推進委員会 女子学生支援ワーキンググループ
5. 実行委員会委員の継続再任について
6. 委員会委員等の異動について
7. 会員の入会等について

(報告事項)

1. 平成 27 年度技術士第二次試験筆記試験受験状況報告について
2. 平成 27 年度技術士第一次試験受験申込状況報告について
3. 科学技術・学術審議会技術士分科会等報告について
4. 第 5 回世界工学会議 (WECC2015) への参画について
5. 第 42 回技術士全国大会 (北陸・富山) 開催準備状況について
6. 会員による活動グループの登録について
7. 近畿本部、神奈川県及び埼玉県支部の個別事項に関わる手引き制定について
8. 月刊「技術士」投稿の手引きの変更について
9. 東日本大震災復興支援活動状況報告について
10. 外部委員会委員の推薦について
11. 常設委員会等報告について
12. 平成 27 年度業務状況報告について

第 4 回 (平成 27 年 11 月 12 日)

(審議事項)

1. 台湾經濟部と日本技術士会との相互協力に関する協定書の締結について
2. 第 43 回技術士全国大会運営委員会委員の追加委嘱について
3. 技術士制度検討委員会委員の委嘱について
4. 実行委員会委員の継続再任について
5. 委員会委員等の異動について
6. 会員の入会等について

(報告事項)

1. 平成 27 年度技術士第二次試験筆記試験結果について
2. 平成 27 年度技術士第一次試験実施状況について
3. 科学技術・学術審議会技術士分科会制度検討特別委員会報告について
4. 平成 28 年度事業計画・収支予算策定について
5. 海外関係機関との協定等に関する手引き制定について
6. 第 42 回技術士全国大会開催結果について
7. 第 45 回日韓技術士国際会議開催結果報告について
8. 東日本大震災復興支援活動状況報告について
9. 北九州地区における会員活動の支援認定について
10. 地域組織の運営における個別事項の手引きの制定及び変更について
11. 会員活動グループの登録及び登録取消について
12. 平成 27 年度技術士 CPD 定期審査について
13. 内閣府男女共同参画局からの調査依頼及び回答について
14. 日本コンサルティング・エンジニア協会 (AJCE) と海外コンサルティング企業協会 (ECFA) の合併について
15. 第 5 回世界工学会議 (WECC2015) への出展対応について
16. 外部委員会委員の推薦について
17. 常設委員会等報告について
18. 平成 27 年度業務状況報告について

## 第5回（平成28年1月6日）

### （審議事項）

1. 委員会委員等の異動について
2. 会員の入会等について

### （報告事項）

1. 平成27年度技術士第一次試験の結果について
2. 平成28年度技術士試験日程について
3. 東日本大震災復興支援活動状況報告について
4. 第43回技術士全国大会における講師謝金等に関する手引き
5. 第5回世界工学会議（WECC2015）展示報告について
6. 役員候補者選出選挙における被選挙権に関する検討状況報告について
7. 登録グループ制度の変更検討状況報告について
8. 緩やかな連携の推進（出身大学別技術士会の設立等）について
9. 外部委員会委員の推薦について
10. 常設委員会等報告について
11. 平成27年度業務状況報告について

## 第6回（平成28年3月9日）

### （審議事項）

1. 平成28年度事業計画について
2. 平成28年度収支予算について
3. 中華人民共和国国家外国専門家局との協定の更新について
4. 英国機械技術者協会との協定の締結について
5. 役員候補者選出選挙規則の変更について
6. 会員による活動グループの登録に関わる規則の変更について
7. 委員会委員等の異動について
8. 会員の入会等について

### （報告事項）

1. 平成27年度技術士第二次試験結果について
2. 科学技術・学術審議会技術士分科会制度検討特別委員会報告について
3. 東日本大震災復興支援活動状況報告について
4. 中華人民共和国台州市との相互協力覚書の締結について
5. 地域組織における幹事選出に関する手引きの変更について
6. 会員による活動グループの登録に関わる手引きの変更について
7. 技術士により構成される他団体との緩やかな連携の推進について
8. 外部委員会委員の推薦について
9. 常設委員会等報告について
10. 平成27年度業務状況報告について

資料 12 規程類の制定・変更一覧

【 規 則 】

規程名	区分	主な内容	審議・報告日
委員会運営に関する規則	変更	平成 27 年 7 月からの委員会体制及び所掌事項等に関する変更	第 1 回理事会 (平成 27 年 5 月 12 日) 審議
地域組織の運営についての詳細事項に関する規則	変更	文言の明確化を図る等の変更	
地域組織運営の個別事項を定めるモデル手引きに関する規則	変更	関連する規則との整合性を図るための変更	
県内の一部地域における会員活動への支援に関する規則	制定	地域的な会員活動の活性化を図るための支援に関する詳細事項	
第 43 回技術士全国大会運営委員会の設置・運営規則	制定	第 43 回技術士全国大会運営委員会の運営を円滑に進めるために必要な基本事項	第 3 回理事会 (平成 27 年 9 月 9 日) 審議
役員候補者選出選挙規則	変更	役員としての連続再任は 2 期までとする変更及び立候補届書の変更	第 6 回理事会 (平成 28 年 3 月 9 日) 審議
会員による活動グループの登録に関わる規則	変更	活動グループの登録期間を 2 年間とし更新制度とする変更	

【 手 引 き 】

規程名	区分	主な内容	審議・報告日
収支予算管理に関する手引き	制定	予算管理運営に関する詳細事項	第 1 回理事会 (平成 27 年 5 月 12 日) 報告
役員等国内旅費交通費支給手引きの変更	変更	北陸新幹線の延伸に応じた変更	
月刊「技術士」編集の手引き	制定	広報委員会での編集業務に対する基本的考え方、及びその内容に関する詳細事項	第 2 回理事会 (平成 27 年 7 月 3 日) 報告
月刊「技術士」査読の手引き	廃止	月刊「技術士」編集の手引き制定に伴い廃止	
近畿本部の運営における個別事項に関する手引き	制定	近畿本部の運営に関する詳細事項	第 3 回理事会 (平成 27 年 9 月 9 日) 報告
神奈川県支部の運営における個別事項に関する手引き	制定	神奈川県支部の運営に関する詳細事項	
埼玉県支部の運営における個別事項に関する手引き	制定	埼玉県支部の運営に関する詳細事項	
月刊「技術士」投稿の手引き	変更	月刊「技術士」編集の手引きの制定に伴う文言の変更	



規程名	区分	主な内容	審議・報告日
海外関係機関との協定等に関する手引き	制定	海外関係機関との協定等を締結する際の詳細事項	第4回理事会(平成27年11月12日)報告
北海道本部の運営における個別事項に関する手引き	制定	北海道本部の運営に関する詳細事項	
東北本部の運営における個別事項に関する手引き	制定	東北本部の運営に関する詳細事項	
神奈川県での運営における個別事項に関する手引き	変更	委員会組織の一部変更に伴う変更	
埼玉県支部の運営における個別事項に関する手引き	変更	委員会組織の一部変更に伴う変更	
第43回技術士全国大会における講師謝金等に関する手引き	制定	講師謝金等の基準等の基本事項	第5回理事会(平成28年1月6日)報告
地域組織における幹事選出に関する手引き	変更	役員候補者選出選挙での立候補届出書の変更に合わせて、地域組織幹事立候補届出書の変更	第6回理事会(平成28年3月9日)報告
会員による活動グループの登録に関わる手引き	変更	会員による活動グループの登録に関わる規則の変更に合わせて必要な手続き書類の様式等の変更	

### 資料 13 第 7 回企業と技術者の倫理とコンプライアンス

テ ー マ：技術者資格、工学教育、および実務における倫理を国際的視点からみる  
日 時：平成 27 年 5 月 13 日（水）13：00～17：00  
会 場：学士会館 202 号室  
参加者数：83 名

開会のことば 日本技術士会 会長 吉田 克己  
シンポジウム趣旨説明 日本技術士会 倫理委員会 啓発小委員長 佐々木 寿朗  
講 演  
・「国際的視点からみた技術者資格における倫理」  
日本技術士会 国際委員会委員長、日本技術士会登録 技術者倫理研究会 代表 橋本 義平  
・「国際的視点からみた工学教育における倫理」  
日本工学教育協会 技術者倫理調査研究委員会 委員長 札野 順  
・「海外ビジネスでの倫理に関する実務教育と課題」  
日本工営 技術監査室技師長 畑尾 成道  
パネルディスカッション  
パネリスト：橋本 義平、札野 順、畑尾 成道  
コーディネーター：日本技術士会 倫理委員会 委員長 林 克己  
閉会のことば 日本技術士会 倫理委員会 副委員長 本間 重一

### 資料 14 第 3 回技術者倫理ワークショップ

テ ー マ：「歴史から考える技術者倫理の展望」  
日 時：平成 27 年 10 月 1 日（日）13：30～17：00  
会 場：富山国際会議場 2 階 201, 202 会議室  
参加者数：47 名

開 会：日本技術士会 倫理委員会 情報小委員長 武安 真児  
挨拶：日本技術士会 専務理事 高木 譲一  
第一部：技術者倫理活動報告  
日本技術士会 倫理委員会報告 倫理委員長 本間 重一  
日本技術士会 北陸本部報告 北陸本部 村田 佳久  
日本技術士会 中国本部報告 中国本部 長原 基司  
第二部：講演「歴史から考える技術者倫理の展望」  
・『技術士制度の展開と技術者倫理—戦後 70 年の経緯からその展望を考える—』  
金沢工業大学 基礎教育部 修学基礎教育課程 准教授 博士（学術） 夏目 賢一 氏  
・『技術史研究から学ぶ技術者倫理』  
新和実業（株）代表取締役 橋本 英樹 氏技術士（金属部門、総合技術監理部門）  
閉 会：日本技術士会 倫理委員会 副委員長 篠 龍一郎

資料 15 技術士 CPD 中央講座

※右欄の数字は参加者数、( )はそのうち一般の参加者数を示す

27. 5. 16 (第 126 回)	テーマ：3D プリンター（付加製造技術、AM）の最新技術動向と課題並びに今後の展開			103 (5)
	3D プリンター技術の最新動向とアプリケーション展開事例	産業技術総合研究所 先進製造プロセス研究部門 基盤的加工研究グループ 主任研究員	梶野 智史	
	金属 3D プリンターの現状と今後の展開	近畿大学 次世代基盤技術研究所 3D 造形技術研究センター長	京極 秀樹	
	3D プリンターを利用した最先端脊椎手術	地方独立行政法人 秋田県立病院機構 秋田県立脳血管研究センター 脊髄脊椎外科診療部部長	菅原 卓	
27. 6. 6 (第 127 回)	テーマ：ロボットと共生する未来社会			106 (4)
	ロボットの現状と今後について	千葉工業大学 未来ロボット技術研究センター	先川原正浩	
	個人向け二足歩行ロボットの活用	近藤科学(株)	近藤 博信	
	夢いっぱい！ロボットの世界！！生活空間に活躍の場を広げつつあるロボット	(株)MANOI 企画	岡本 正行	
27. 11. 7 (第 128 回)	テーマ：日本を支えるこれからの農業・水産・食品技術			71 (1)
	アレロパシーとこれからの農業	東京農工大学 大学院 国際環境農学部門 教授	藤井 義晴	
	水産技術の展望	一般社団法人全国水産技術者協会 顧問(独立行政法人水産総合研究センター 前理事長)	松里 壽彦	
	農研機構における今後の食品研究の展開	国立研究開発法人 農業・食品産業技術総合研究機構 理事、食品総合研究所 所長	大谷 敏郎	
28. 1. 16 (第 129 回)	テーマ：水素エネルギー社会の創成 ～創る、運ぶ、使う～			169 (5)
	水素社会の現状と展望、水素製造と貯蔵・運搬について	早稲田大学 先進工学部 応用化学科 教授、JST/CRDS フェロー(兼任)	関根 泰	
	光触媒材料を用いた水分解による水素生成反応	東京理科大学 理学部 第一部 応用化学科 教授	工藤 昭彦	
	CO2 フリー水素の導入構想と関連技術	川崎重工業(株) 技術開発本部水素チェーン開発センター プロジェクト推進部 水素エネルギー利用推進室 基幹職	松本 俊一	

28. 2. 13 (第 130 回)	テーマ：地球温暖化対策の新たな枠組みと、低炭素技術の最前線		150 (8)	
	【第 1 部：地球温暖化対策の新たな枠組みと、我が国の政策について】			
	地球温暖化の現状、我が国と世界の低炭素社会構築の挑戦	環境省 地球環境局 地球温暖化対策課 市場メカニズム室 室長補佐		飯野 暁
	低炭素技術を推進する環境省の取組について～L2-Tech 認証制度について～	環境省 地球環境局 地球温暖化対策課 市場メカニズム室 室長補佐		峯岸 律子
	【第 2 部：低炭素技術の最先端】			
	これからの時代、ものづくりの現場に低炭素を～ヒートポンプ～	一般社団法人 日本エレクトロヒートセンター 業務部長		井上 和茂
	窯業炉における製造プロセスでの革新的廃熱回収実証事業～環境省チャレンジ 25 地域づくり事業～	(株)LIXIL R&D 本部 戦略部 戦略室		藤中恵都子
スターリングエンジンの新たな挑戦	(株)e スター 代表取締役社長	赤澤 輝行		
28. 3. 12 (第 131 回)	テーマ：『東京電力福島第一原子力発電所の事故から 5 年、現状と課題をリスクの大小を踏まえて理解する』		164 (5)	
	東電福島原発サイト内の現状と課題、抱えているリスクと戦略プランの背景を理解する」(基調講演)	東京大学 大学院 工学系研究科 原子力専攻 専攻長・教授		岡本 孝司
	汚染水の問題とその対策の状況を理解する	関西大学 特任教授、京都大学 名誉教授、エネ庁汚染水処理対策委員会委員長		大西 有三
	廃炉に向けた主たる作業、燃料デブリの取り出しに関する課題を理解する	東京大学 工学系研究科 原子力国際専攻 特任教授		鈴木 俊一

## 資料 16 技術士 CPD ミニ講座

※右欄の数字は参加者数、( )はそのうち一般の参加者数を示す

	先導的低炭素技術 (L2-Tech) リストの使い方について			
27. 5. 13 (第 61 回)	気候変動と我が国の温暖化対策	環境省 地球環境局 低炭素社会推進室/地球温暖化対策課 市場メカニズム室(併任) 室長補佐	峯岸 律子	92 (2) 内 WEB 参加 29 名
	L2-Tech リストの御紹介と情報収集・発信について	環境省 地球環境局 地球温暖化対策課 市場メカニズム室 環境専門調査員	奥井 洋介	
27. 8. 19 (第 62 回) 中国本部 から WEB 中継	管理型最終処分場における現状と課題	ダイユウ技研土木(株) 技術顧問	檜垣 光次	56 (9) 内 WEB 参加 40 名
27. 11. 11 (第 63 回) 近畿本部 から WEB 中継	極端化する気象とそのメカニズム及び気象災害の予知と減災について			59 (8) 内 WEB 参加 38 名
	激化する近年の異常気象	(株) 気象工学研究所	大藤 明克	
	異常気象に伴う土砂災害	(有) 太田ジオリサーチ 代表取締役	太田 英将	
28. 1. 13 (第 64 回)	原子力ロボットと東電福島原発事故	日本原子力研究開発機構 福島研究開発部門 福島研究基盤創生センター 楢葉遠隔技術開発センター モックアップ試験施設部長	川妻 伸二	61 (6) 内 WEB 参加 11 名
28. 2. 10 (第 65 回)	次世代の自動車とそれを取り巻く技術	日本大学 生産工学部 教授、自動車工学リサーチ・センター長	景山 一郎	71 (0) 内 WEB 参加 21 名
28. 3. 9 (第 66 回)	ゴムの技術開発の歴史から学ぶ技術者のあり方	後藤技術事務所	後藤 幸平	36 (5) 内 WEB 参加 7 名

資料 17 第 33 回技術士 CPD・技術士業績・研究発表年次大会

日 時：平成 27 年 6 月 20 日（土）13：00～17：00 会 場：機械振興会館 地下 2 階 ホール（東京都港区芝公園 3-5-8） 参加者数：70 名		
発表		
（優秀賞） エアラインの冬期運航における課題と解決に向けた取り組み	宇宙航空研究開発機構 航空技術部門	神田 淳
鉄道における安全な線路閉鎖システムの開発について	東日本旅客鉄道(株) JR 東日本研究開発センター	道下 一幸
海外農業農村開発事業での農村地域計画策定に関する一考察～カザフ族遊牧民の定住化対策の事例を通して～	関東農政局 農村計画部	飯野 秀之
（優秀賞） 撥液性離型膜による太陽電池用シリコンモノライク結晶の試作	公益社団法人 電気化学会	松井 光彦
トリプルジェネレーション型次世代原子炉「高温ガス炉」の開発	荒野技研	荒野 喆也
廃菌床と腐植を利用した海岸緑化の取り組み	国土防災技術(株)	田中 賢治
ベトナムの酪農生産振興を支える技術改善	森山獣医師・技術士事務所	森山 浩光
試験研究環境の分析値への影響	国立大学法人 東京大学、(株)クエスティオ 技術顧問	平川 拓洋
多自然型護岸整備と自然再生事業による生態系等への影響について	広建コンサルタンツ(株)	河合 和義
着色している耐熱性ポリイミドの無色透明化の高分子設計	後藤技術事務所	後藤 幸平

## 資料 18 2015 年度技術士フォーラム

テ ー マ：技術者・技術士と男女共同参画社会 －男女共同参画社会の形成を推進するためにできること－ 日 時：平成 28 年 3 月 26 日（土）13：00～17：00 会 場：機械振興会館 地下 2 階 ホール（東京都港区芝公園 3-5-8） 参加者数：64 名
開会挨拶 日本技術士会 副会長 高木 茂知  基調講演：「女性の活躍推進に関する政府の取組」 市川 浩 氏（内閣府 男女共同参画局推進課 上席政策調査員）  ミニ講演 1) 「He For She」 荒木由季子 氏（(株)日立製作所 CSR・環境戦略本部 理事） 2) 「ダイバーシティ経営で男女共同参画を推進」 飯島 玲子 氏（パシフィックコンサルタンツ(株) ダイバーシティ推進室長） 3) 「土木現場における女性技術者との「協働」について」 根岸 範明 氏（鹿島建設(株) 横浜支店 鹿島・西松・大豊特定建設工事共同企業体 京急大師線 JV 工事事務所 所長） 4) 「日本における男女共同参画のこれまでとこれから」 渡辺 美穂 氏（独立行政法人 国立女性教育会館 研究国際室 研究員）  パネル討論（まとめ含む） コーディネータ：日本技術士会 男女共同参画推進委員会 加藤 亨  フォーラム総括：日本技術士会 元副会長／フェロー 岩熊 まき  閉会挨拶：日本技術士会 CPD 支援委員会 委員長 青崎 耕

## 資料 19 新春記念講演会

日 時：平成 28 年 1 月 6 日（水）16：00～17：30 会 場：学士会館 202 号室 参加者数：134 名
年頭の辞：日本技術士会 会長 吉田 克己  記念講演：「社会イノベーションとデータ利活用」 ～予防医療、地域包括ケアに対応する情報システムとは～ 講師：須藤 修 氏 （東京大学大学院 情報学環 教授、経済学博士、一般社団法人次世代放送推進 フォーラム（NexTV-F）理事長、一般社団法人スマートテレビ連携・地域防 災等対応システム普及高度化機構理事長、グローバルコミュニケーション推 進協議会 会長、Member of the OECD Global Science Forum Expert Group）  閉会の辞：日本技術士会 研修委員会 委員長 西村 正直

## 資料 20 第 18 回北東 3 地域本部技術士交流会

### 北海道本部

テーマ：地方創生－我々、技術士が果たすべき役割－

日時：平成 27 年 11 月 6 日（金）14：00～17：15

会場：ホテルオークラ札幌（札幌市）

共催：東北本部、北陸本部

参加者数：92 名

#### 行事内容

##### 【特別講演】

北海道新幹線の開業に向けて

北海道総合政策部交通政策局 新幹線推進室長 本間 研一 氏

##### 【研修発表】

- (1) 都市と地方の交流による地方創生の可能性と技術士の役割  
－北海道豪雪地帯での雪かきツアーの事例から－  
一般社団法人 北海道開発技術センター 中前 千佳（北海道本部：建設部門）
- (2) 地方人口ビジョン及び地方版総合戦略策定と地域活性化  
～新潟県内の自治体の取り組み事例の紹介～  
エヌシーイー株式会社 小見 直樹（北陸本部：建設・農業・総合技術監理部門）
- (3) 日本一小さな村の「子育て共助のまちづくり」の取り組み  
株式会社新日本コンサルタント 大門 健一（北陸本部：建設・総合技術監理部門）
- (4) 福島第一原子力発電所の事故による現状と課題そして将来の可能性について  
株式会社ふたば 遠藤 秀文（東北本部：建設部門）
- (5) 新たな地域活性化モデルによる交流人口拡大の試み  
一般社団法人東北お遍路プロジェクト 高橋 雄志（東北本部：建設部門）



資料 21 第 21 回西日本技術士研究・業績発表年次大会

九州本部

テーマ：環境配慮とものづくり

日時：平成 27 年 11 月 21 日（土）10：00～17：00

会場：北九州イノベーションギャラリー（北九州市）

共催：近畿本部、中国本部、四国本部、公益財団法人 北九州活性化協議会 北九州イノベーションギャラリー

協賛：公益財団法人 西日本産業貿易コンベンション協会

後援：福岡県、北九州市

参加者数：108 名

行事内容（大会）：

- ・主催者挨拶 公益社団法人日本技術士会 九州本部長 甲斐 忠義
- ・会長挨拶 公益社団法人日本技術士会 副会長 佐竹 芳郎
- ・来賓挨拶 北九州市長 北橋 健治 氏  
国土交通省 九州地方整備局 北九州国道事務所長 齋 敏信 氏
- ・記念講演 「明治日本の産業革命遺産 製鉄・製鋼、造船、石炭産業～世界遺産、登録基準への挑戦」 北九州市技術監理室 次長 牟田 英昭 氏
- ・第一分科会 テーマ「環境に配慮したインフラ整備」 座長 中村 勲 氏  
基調講演 「環境に配慮した公共事業」  
国土交通省 九州地方整備局 企画部 環境調整官 酒井 俊次 氏  
論文発表 5 氏（氏名・地域本部名のみ）  
鍵谷 司 氏（近畿本部）、勝部 祐治 氏（中国本部）、天羽 誠二 氏（四国本部）、  
河崎 信子 氏（九州本部）、藤原 稔 氏（九州本部）
- ・第二分科会 テーマ「エコプロダクツその他」 座長 村上 恵美子 氏  
基調講演 「環境配慮とものづくり～上流から下流まで～」  
北九州市環境局環境未来都市推進部温暖化対策課長 作花 哲朗 氏  
論文発表 5 氏（氏名・地域本部名のみ）  
北村 友博 氏（近畿本部）、鈴木 真吾 氏（中国本部）、山田 登志夫 氏（四国本部）、  
永吉 英昭 氏（九州本部）、緒方 貴宏 氏（九州本部）
- ・大会各分科会講評 各分科会座長
- ・次回開催地代表挨拶 公益社団法人日本技術士会 中国本部長 大田 一夫
- ・閉会挨拶 九州本部西日本大会実行委員長 寺師 政廣

資料 22 第 42 回技術士全国大会（北陸・富山）

大会テーマ：高志の国から未来創造～日本海国土軸形成を目指して～		
開催日	平成 27 年 10 月 1 日（木）～4 日（日）	参加者数
開催場所	富山国際会議場（富山市大手町 1 番 2 号）ほか	
後援	文部科学省、農林水産省北陸農政局、国土交通省北陸地方整備局、新潟県、富山県、石川県、福井県、富山市	
行事	10 月 2 日（金） 分科会 ・第 1 分科会「北陸の地域防災を考える」 基調講演 富山大学教授 竹内 章 ・第 2 分科会「日本国土軸」 基調講演 国土交通省北陸地方整備局企画部長 小口 浩 ・第 3 分科会「北東アジア交流圏の活用」 基調講演 北陸本部名誉本部長 中山輝也 ・第 4 分科会「地域産業振興」 基調講演 富山大学教授 松井 隆幸	第 1 分科会 148 名 第 2 分科会 101 名 第 3 分科会 64 名 第 4 分科会 71 名
	大会式典（司会：富並 望美 アナウンサー） ・開会の唄「こきりこ節」 ・歓迎挨拶（大会委員長：日本技術士会 北陸本部長 大谷 政敬） ・式 辞（日本技術士会 会長 吉田 克己） ・来賓祝辞 文部科学大臣（代読：科学技術・学術政策局人材政策課長 柿田 恭良） 富山県知事（代読：副知事 寺林 敏） 富山市長（代読：富山市都市整備部長 京田 憲明） 農林水産省 北陸農政局長（代読：北陸農政局農村振興部長 渡辺 巧） 国土交通省 北陸地方整備局長（藤山 秀章） ・来賓紹介 ・祝電披露 ・分科会報告（各分科会座長） ・大会宣言（日本技術士会 北陸本部 富山県支部 広田 史子）	384
	記念講演 演 題：国土強靱化に資する日本海国土軸の形成 講演者：藤井 聡氏（京都大学大学院工学研究科 教授） ・次期開催地報告（大会実行委員長 森田 清三） ・閉会挨拶（大会実行副委員長 屋敷 弘）	384

行事	<p>交流パーティー</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・開会挨拶（大会実行委員長 森田 清三）</li> <li>・来賓挨拶（富山県土木部長 林 正之）</li> <li>・乾杯（富山県農林水産部長 須沼 英俊）</li> <li>・アトラクション（越中おわら節）</li> <li>・次回開催案内（統括本部）</li> <li>・閉会挨拶（大会実行委員会総務委員長 市森 友明）</li> </ul>	315
関連行事	10月1日(木)	
	・第3回技術者倫理ワークショップ	46
	・第11回全国防災連絡会議	67
	・学術見学会A（YKK工場見学等）	29
	・学術見学会B（富山クリーンセンター展望台、立山あるぺん村、本宮砂防堰堤、立山カルデラ砂防博物館等）	23
	10月3日(土)	
	・青年技術士の集い	84
・専門部会 見学会・講演会（機械部会、応用理学部会、情報工学部会等、3専門部会）		
オプション行事	10月1日(木)	227
	・ウェルカムパーティー（グランドプラザ）	
	10月2日(金)	多数
	・富山国際会議場展示（後援団体パネル展示、日本技術士会美術同好会展示など）	
	10月2日(金)	33
・パートナーズツアー（日帰り）富山ガラス美術館、高志の国文学館 見学		
10月3日(土)	43	
・テクニカルツアー（日帰り） 相倉合掌造り集落、いなみ木彫りの里、ひみ番屋街 見学		
10月3日(土)～4日(日)	28	
・テクニカルツアー（一泊二日） 称名滝、立山・室堂、宇奈月温泉、宇奈月温泉液、樺平駅 見学		

## 資料 23 地域産学官と技術士との合同セミナー

### 四国本部

テーマ：地域活性化を目指した魅力創出への挑戦

日時：平成 27 年 9 月 26 日（土） 13:00 ～ 18:10

会場：阿波観光ホテル（徳島市）

後援：農林水産省中国四国農政局、国土交通省四国地方整備局、徳島県、徳島大学工学部、阿南工業高等専門学校、公益社団法人土木学会四国支部、一般社団法人建設コンサルタント協会四国支部

参加者数：103 名

行事内容：

- (1) 開会挨拶 公益社団法人日本技術士会 四国本部長 武山 正人
- (2) 主催者挨拶 公益社団法人日本技術士会 副会長 佐竹 芳郎
- (3) 来賓挨拶 国土交通省四国地方整備局 企画部長 畠中 秀人 氏  
徳島県県土整備部 副部長 瀬尾 守 氏

(4) 基調講演

講演 1：『農村風景と地域活性化』

徳島大学大学院 ソシオテクノサイエンス研究部

都市デザイン研究室 助教 真田 純子 氏

講演 2：『神山プロジェクト ～創造的過疎から考える地方創生～』

NPO 法人 グリーンバレー 理事長 大南 信也 氏

(5) 事例紹介

事例 1：『四国における地域活性化のヒント ～JST 復興促進事業から学ぶ～』

阿南工業高等専門学校 校長 寺沢 計二 氏

事例 2：『生きもので地域を元気にする！』

徳島大学大学院 ソシオアーツアンドサイエンス研究部

水圏生産科学研究室 教授 浜野 龍夫 氏

事例 3：『バンブーバイオマス発電所について』

藤崎電機株式会社 会長 藤崎 稔 氏

(6) セミナー総括 公益社団法人日本技術士会四国本部 事業委員長 富士 達雄

(7) 閉会挨拶 公益社団法人日本技術士会四国本部 副本部長 増田 義博

## 中国本部

テーマ：“地方創生”ひとりひとりが考える「とっとりの元気」

日時：平成27年10月10日（土）セミナー 13時00分～17時00分

会場：とりぎん文化会館 第一会議室（鳥取市）

後援等：国土交通省中国地方整備局、経済産業省中国経済産業局、農林水産省中国四国農政局、鳥取県、鳥取市、鳥取大学、公立鳥取環境大学、地方独立行政法人鳥取県産業技術センター、公益財団法人鳥取県産業振興機構、公益社団法人土木学会中国支部、一般社団法人中国地域ニュービジネス協議会、中国経済連合会、一般社団法人建設コンサルタンツ協会中国支部、中国地質調査業協会、一般社団法人鳥取県測量設計業協会、一般社団法人日本機械学会中国四国支部、一般社団法人電気学会中国支部

参加者数：189名

行事内容：

- (1) 開会挨拶 公益社団法人日本技術士会 中国本部 副本部長 伊藤 徹
- (2) 主催者挨拶 公益社団法人日本技術士会 副会長 佐竹 芳郎
- (3) 来賓挨拶  
国土交通省中国地方整備局長 丸山 隆英  
鳥取大学 産学・地域連携推進機構長 松原 雄平
- (4) 基調講演  
“とっとり創生”「住みたい田舎」から「にぎわう田舎」へ  
内閣府特命担当大臣 衆議院議員 石破 茂
- (5) 事例紹介
  - ①「とっとり創生の戦略について」  
鳥取県 元気づくり総本部長 小倉 誠一（技術士）
  - ②「お客様の心をつかむ現代流おもてなし発信術」  
皆生温泉「菊乃家」若女将 柴野 寛子
  - ③「日本遺産/三徳山・三朝温泉の魅力」  
三朝町教育委員会 事務局 西田 寛司
  - ④「若者の移住・定住について」  
公立鳥取環境大学 環境学部 准教授 新名 阿津子
  - ⑤「鳥取市のシティプロモーションへの取組」  
鳥取市 企画推進部 川口 弥文
- (6) セミナー総括 公益社団法人日本技術士会 中国本部 活用促進委員 熊田 安亮
- (7) 閉会挨拶 公益社団法人日本技術士会 中国本部 本部長 大田 一夫

## 中部本部

テーマ：エネルギーと環境問題－産業界・行政・科学者・技術者の果たすべき役割と責務－

日時：平成27年11月14日（土）13時00分～17時15分

会場：四日市市文化会館第2ホール（四日市市）

後援等：中部経済産業局、中部地方整備局、東海農政局、三重県、三重県産業支援センター、三重県中小企業団体中央会、三重県商工会議所連合会、三重県商工会連合会、公益財団法人 国際環境技術移転センター、一般財団法人 三重県環境保全事業団、四日市市、三重大学、四日市大学、鈴鹿医療科学大学、鈴鹿工業高等専門学校、三重テレビ放送株式会社、株式会社 伊勢新聞社、公益社団法人 化学工学会、一般財団法人 省エネルギーセンター東海支部、一般社団法人 中部産業連盟 環境パートナーシップ・CLUB、公益社団法人 日本化学会

参加者数：109名

行事内容：

(1) 開会宣言及び三重県支部設立宣言

日本技術士会 中部本部 三重県支部長 平田 賢太郎

(2) 挨拶

- ① 日本技術士会 中部本部長 渡邊 好啓
- ② 日本技術士会 副会長 高木 茂知
- ③ 三重県 副知事 石垣 英一 氏
- ④ 四日市市 副市長 藤井 信雄 氏

(3) 基調講演1「東邦ガスにおける水素ステーション整備に関する取り組み」

東邦ガス(株) 技術研究所 萩野 卓朗 氏

(4) 基調講演2「全学で取り組んだスマートキャンパス事業」

三重大学大学院 地域イノベーション学研究科 教授 坂内 正明 氏

(5) パネルディスカッション

・パネリスト発表

「三重県のエネルギー政策」

三重県 雇用経済部 エネルギー政策・ICT活用課 課長 山岡 哲也 氏

「地球温暖化対策の不要が貿易立国日本の生き残りの途」

日本技術士会 中部本部 三重県支部長 平田 賢太郎

・コーディネータ

「エネルギーと環境問題におけるコンピュータの役割」

三重大学 理事・副学長 研究・国際交流担 鶴岡 信治 氏

・ディスカッション

(6) 閉会の挨拶

日本技術士会 中部副本部長 三重県支部長 平田 賢太郎

## 近畿本部

テーマ：国土強靱化及び防災に資する太平洋新国土軸の形成と技術士の役割（大阪湾環状軸の早期整備で四国圏との連携を!!）

日時：平成 28 年 2 月 6 日（土）13 時 00 分～17 時 50 分

会場：大阪科学技術センター大ホール（大阪市）

後援等：国土交通省近畿地方整備局、経済産業省経済産業局、大阪府

参加者数：239 名

行事内容：

- (1) 開会挨拶 公益社団法人日本技術士会 近畿本部 本部長 北村 友博
- (2) 式辞 公益社団法人日本技術士会 副会長 橋場 常雄
- (3) 来賓挨拶 国土交通省 近畿地方整備局 局長 山田 邦博 氏  
大阪府 副知事 竹内 廣行 氏
- (4) 特別講演 「紀北地域と関空との発展」  
衆議院議員 二階 俊博 氏
- (5) 基調講演 「国土強靱化及び防災に資する太平洋新国土軸の形成」  
京都大学 大学院 教授 藤井 聡 氏
- (6) 事例講演
  - ① 「我が国が持続可能であるために（人とモノを結ぶインフラ投資の意味）」  
（株）大林組 特別顧問 金井 誠 氏
  - ② 「明日の和歌山・関西のまちづくり」  
前 J C 和歌山 理事長／大彦（株）代表 野上 浩幹 氏
- (7) パネルディスカッション 「技術士の役割について」

コーディネータ	前泉南市長（技術士）	向井 通彦
パネリスト	衆議院議員	谷川 とむ 氏
	元国土交通省 技監	安達 敏之 氏
	大林組 特別顧問（工学博士・技術士）	金井 誠 氏
	公益社団法人日本技術士会 理事・近畿本部 副本部長	杉本 哲雄
- (8) 閉会挨拶 公益社団法人日本技術士会 近畿本部 副本部長 末利 てつひ

## 資料 24 技術士を目指そう、修習ガイダンス 2016

<p>開催日：平成 28 年 2 月 20 日（土）</p> <p>(1) 技術部門別修習懇談会・ガイダンス 10：30～16：00</p> <p>(2) 合格祝賀会 16：30～18：30</p> <p>会場：日本教育会館 東京都千代田区一ツ橋 2-6-2</p> <p>参加者数：254 名</p>
<p>技術部門別修習懇談会（9F 平安の間）</p> <p>10：30～12：00 各部会関係者等によるポスター展示（出入り自由）</p> <p>オリエンテーション（3F ホール）</p> <p>13：00～13：05 開会にあたって 日本技術士会 修習技術者支援委員会 副委員長 野村 晃平</p> <p>13：05～13：10 祝辞と期待のことば 日本技術士会 会長 吉田 克己</p> <p>13：10～14：15 講演「第二次試験制度改定の解説、修習方法・修習支援体制の説明」 日本技術士会 修習技術者支援委員会 委員長 川村 智</p> <p>14：15～14：30 休憩</p> <p>14：30～15：55 パネル討論「プロフェッショナルを目指す、技術士として生きる」 コーディネータ：青年技術士交流実行委員会 副委員長 赤木 宏匡 パネリスト： 中川 暢子 技術士（金属、総合技術監理） 米原 一智 技術士（電気電子） 細野 雄治 修習技術者・第一次試験合格者（機械） 峯田 真悟 修習技術者・JABEE 認定課程修了生（金属）</p> <p>15：55～16：00 閉会にあたって 日本技術士会 修習技術者支援委員会 副委員長 石附 尚志</p> <p>合格祝賀会（9F 平安の間）</p> <p>16：30～18：30 先輩技術士との懇談・交流</p>

## 資料 25 技術士第二次試験合格者研修会・祝賀会

<p>開催日：平成 27 年 4 月 18 日（土）14：00～19：00</p> <p>会場：喜山倶楽部（研修会）飛鳥の間、（祝賀会）光琳の間 東京都千代田区一ツ橋 2-6-2 日本教育会館 9 階</p> <p>参加者数：109 名</p>
<p>研修会</p> <p>14：00～14：10 「歓迎の挨拶」 日本技術士会 会長 吉田 克己</p> <p>14：10～15：00 「技術士と技術者倫理」 日本技術士会 倫理委員会 副委員長 本間 重一</p> <p>15：00～15：35 「技術士 CPD の概要」 日本技術士会 CPD 実行委員会 委員長 笹口 裕昭</p> <p>15：40～16：00 「日本技術士会の紹介」 日本技術士会 専務理事 高木 譲一</p> <p>16：00～16：20 「部会活動の紹介」 日本技術士会 農業部会 部会長 湯川 剛一郎</p> <p>16：20～16：40 「県支部活動の紹介」 日本技術士会 神奈川県支部 支部長 神戸 良雄</p> <p>16：40～17：00 「第二次合格者からの質問コーナー」</p> <p>祝賀会</p> <p>17：15～19：00 先輩技術士との懇談・交流</p>



資料 26 技術士第一次試験合格者祝賀会

主 催	開催日	会 場	参加者数
修習技術者支援実行委員会	28. 2. 20 (土)	日本教育会館	254
青年技術士交流実行委員会	26. 4. 26 (土)	日本技術士会会議室	29
機械部会	27. 4. 10 (金)	日本技術士会会議室	36 (*)
船舶・海洋／航空・宇宙部会	28. 1. 30 (土)	日本技術士会会議室	3
電気電子部会	27. 4. 24 (金)	日本技術士会会議室	20
化学部会	27. 4. 4 (土)	日本技術士会会議室	7
	27. 5. 28 (木)		1
繊維部会	27. 4. 11 (土)	江東区文化センター	—
金属部会	27. 4. 15 (水)	ニューオータニイン東京	9 (*)
資源工学部会	27. 4. 7 (火)	日本技術士会会議室	2
上下水道部会	28. 3. 19 (土)	日本技術士会会議室	14
衛生工学部会	27. 4. 2 (木)	日本技術士会会議室	2
農業部会	27. 4. 4 (土)	日本技術士会会議室	11 (*)
森林部会	27. 4. 20 (月)	日林協会館 5階大会議室	1
水産部会	28. 1. 9 (土)	日本技術士会会議室	2
経営工学部会	28. 3. 18 (金)	日本技術士会会議室	9
情報工学部会	28. 2. 19 (金)	機械振興会館	30
応用理学部会	27. 4. 21 (火)	日本技術士会会議室	5 (*)
生物工学部会 (東京会場)	28. 2. 13 (土)	日本技術士会会議室	17
生物工学部会 (札幌会場)	28. 2. 20 (土)	北海道大学農学部	1
生物工学部会 (大阪会場)	28. 2. 27 (土)	大阪市立中央会館	10
環境部会	27. 4. 25 (土)	日本技術士会会議室	10
原子力・放射線部会	28. 1. 15 (金)	日本技術士会会議室	3
北海道本部	28. 1. 27 (水)	ホテル札幌ガーデンパレス	11
東北本部	28. 2. 13 (土)	ハーネル仙台	13
北陸本部 (新潟会場)	27. 2. 6 (土)	技術士センタービル 8F 会議室	18
北陸本部 (石川会場)	27. 4. 4 (土)	ANAクラウンプラザホテル	17
中部本部	28. 3. 26 (土)	名鉄ニューグランドホテル	51 (*)
近畿支部	28. 2. 27 (土)	大阪科学技術センター会議室	108
中国本部	28. 2. 13 (土)	広島市文化交流会館	41
中国本部 岡山県支部	28. 2. 6 (土)	奉還町りぶら	10
四国本部	27. 4. 18 (土)	四国電力(株)総合研修所	16 (*)
四国本部 (愛媛会場)	28. 1. 30 (土)	道後友輪荘	5
九州本部	27. 4. 18 (土)	福岡商工会議所	19 (*)
神奈川県支部	27. 4. 4 (土)	シルクセンター国際貿易観光会館	13
埼玉県支部	27. 5. 30 (土)	新都心ビジネス交流プラザ 4階	10 (*)
長野県支部	28. 3. 26 (土)	ホテル信濃路	19 (*)
千葉県支部	27. 5. 16 (土)	千葉市科学館「きぼーる」	13 (*)
栃木県支部	27. 6. 6 (土)	ホテル丸治	7 (*)
茨城県支部	27. 4. 4 (土)	ひたちなか商工会議所会館	6

※右欄の参加者数は、新合格者の参加者数、(\*)印は一次及び二次合同開催のため新合格者の参加総数を示す。

資料 27 技術士第二次試験合格者祝賀会

主催	開催日	会場	参加者数
CPD実行委員会	27. 4. 18 (土)	喜山倶楽部	109
青年技術士交流実行委員会	27. 4. 25 (土)	日本技術士会会議室	42
機械部会	27. 4. 10 (金)	日本技術士会会議室	36(*)
船舶・海洋／航空・宇宙部会	28. 3. 26 (土)	日本技術士会会議室	7
電気電子部会	27. 4. 24 (金)	日本技術士会会議室	29
化学部会	27. 5. 28 (木)	日本技術士会会議室	11
繊維部会	27. 4. 11 (土)	江東区文化センター	1
金属部会	27. 4. 15 (水)	ニューオータニイン東京	9(*)
資源工学部会	27. 4. 7 (火)	日本技術士会会議室	3
上下水道部会	27. 5. 16 (土)	日本技術士会会議室	9
衛生工学部会	27. 4. 2 (木)	日本技術士会会議室	6
農業部会	27. 4. 4 (土)	日本技術士会会議室	11(*)
森林部会	27. 4. 20 (月)	日林協会館 5階大会議室	9
水産部会	27. 5. 9 (土)	日本技術士会会議室	1
経営工学部会	28. 3. 18 (金)	日本技術士会会議室	10
情報工学部会	27. 4. 17 (金)	機械振興会館	18
応用理学部会	27. 4. 21 (火)	日本技術士会会議室	5(*)
生物工学部会	27. 4. 11 (土)	日本技術士会会議室	9
環境部会	27. 4. 25 (土)	日本技術士会会議室	9
原子力・放射線部会	27. 4. 17 (金)	日本技術士会会議室	6
北海道本部	27. 4. 8 (水)	ホテル札幌ガーデンパレス	16
東北本部	27. 5. 8 (金)	ホテルメトロポリタン仙台	23
北陸本部 (新潟会場)	27. 4. 19 (日)	ホテル日航新潟	9
北陸本部 (石川会場)	27. 4. 4 (土)	ANAクラウンプラザホテル	25
中部本部	28. 3. 26 (土)	名鉄ニューグランドホテル	51(*)
近畿本部	27. 4. 11 (土)	大阪科学技術センター会議室	47
中国本部 岡山県支部	27. 4. 11 (土)	ピュアリティーマきば	7
四国本部 (香川会場)	27. 4. 18 (土)	四国電力(株)総合研修所	16(*)
四国本部 (徳島会場)	27. 5. 30 (土)	ホテル千秋閣	11
四国本部 (愛媛会場)	27. 6. 6 (土)	道後友輪荘	17
四国本部 (高知会場)	27. 6. 26 (金)	高知会館	13
九州本部	27. 4. 18 (土)	福岡商工会議所	19(*)
九州本部 宮崎県支部	27. 4. 26 (日)	宮崎観光ホテル	5
九州本部 熊本県支部	27. 6. 20 (土)	熊本市アークホテル	3
神奈川県支部	27. 4. 4 (土)	シルクセンター国際貿易観光会館	18
埼玉県支部	27. 5. 30 (土)	新都心ビジネス交流プラザ4階	10(*)
長野県支部	28. 3. 26 (土)	ホテル信濃路	19(*)
千葉県支部	27. 5. 16 (土)	千葉市科学館「きぼーる」	13(*)
栃木県支部	27. 6. 6 (土)	ホテル丸治	7(*)
茨城県支部	27. 4. 4 (土)	ひたちなか商工会議所会館	7

※右欄の参加者数は、新合格者の参加者数、(\*)印は一次及び二次合同開催のため新合総数を示す。格者の参加

資料 28 技術士業務に関する対外協力件数

業務形態	対応部門	依頼	不成立*	成約
技術指導	機械	16	11	3
	電気電子	6	6	
	化学	6	4	2
	金属	2		2
	建設	2	2	
	上下水道	2	1	1
	森林	1	1	
	経営工学	1	1	
	応用理学	2	2	
	小計	38	28	8
調査	機械	1		
	電気電子	7	1	
	化学	1		1
	金属	3		2
	経営工学	2		
	情報工学	4		
	応用理学	2		1
	環境	1		
	小計	21	1	4
合計	59	29	12	

\*不成立には応募者なしを含む

資料 29 技術支援基礎講座等

回	開催日	内 容	参加者数
1	4月14日(火)	「第3回地域産業活性化支援事例発表会」・特別講演「平成27年度中小企業支援施策・予算と平成26年度補正予算について」講師：中小企業庁技術・経営革新課 平井 淳生 課長・「地域本部地域産業活性化支援事例発表」・「地域産業活性化研究会」県支部活動報告・「委員会推薦応募事例発表」	53
2	9月19日(土)	支援心得(to coach)を“体験”しよう・講師：小野武明氏(中小企業診断士・社会保険労務士・PHP研究所認定ビジネスコーチ)	33
3	11月16日(月)	JIS, 法文書など公文書の書き方・講師：若鳥陸夫氏, 技術士(電気電子), 技術士活性化委員会委員長	57
4	1月20日(水)	技術支援基礎講座 -ISOマネジメントシステム規格の改訂について-・講演(1) ISO 9001:2015 品質マネジメントシステム規格改訂のポイント 講師：志澤達司氏, 技術士(経営工学)・ISO 14001:2015 環境マネジメントシステム規格改訂のポイント 講師：上野一郎氏, 技術士(応用理学)	66
5	3月16日(水)	技術支援基礎講座 -企業支援で考える事業継続・省エネルギーの取組み- 講師：宮本 卓次郎氏, 横浜国立大学特任教授, 元東北地方整備局副局長 講師：南須原 美恵氏, 経済産業省資源エネルギー庁省エネルギー対策課) 講師：塚原 忠一氏, 技術士(上下水道)	66
述べ参加人数(有償参加者のみ)			273

第1回は、(旧)地域産業活性化支援実行委員会主催

第2回～5回は、技術士活性化委員会主催

### 資料 30 海外技術業務協力実務講習会

平成 27 年度 海外技術業務協力実務講習会
サブタイトル：～ 海外との技術交流・技術協力をどのようにして創るか ～ 日 時：平成 28 年 1 月 22 日（金） 13：00～17：00 会 場：葺手第二ビル 5 階会議室 主 催：海外活動支援委員会 後 援：独立行政法人 国際協力機構（JICA） 参加者数：111 名（外部講師含む参加者。北海道本部、北陸本部、中部本部、近畿本部及び中国本部からの WEB での参加者を含む）
開会挨拶： 日本技術士会 理事 国際委員会 委員長 小林 経明 講演： ① これまでのキャリアを生かして JICA の国際協力を目指す方へ ～技術士として参入可能な JICA 事業及びポイントの紹介～ 国際協力機構（JICA） 国際協力人材部 次長 稲村 次郎氏 ② ASEAN の経済環境と日系企業進出状況 ～メコン地域を中心に～ 日本貿易振興機構（ジェトロ） 海外調査部アジア大洋州課 蒲田 亮平氏 ③ JICA 業務経験技術士による実績紹介～如何にして JICA 業務を受注したか～ 株式会社岩崎技術顧問国際委員会 委員 藤田和夫 技術士（電気電子部門） ④ 海外技術協力経験技術士による実績紹介～海外業務受注のポイント～ 技術経営研究センター 所長 海外活動支援委員会 委員 松井武久 技術士（機械部門） ⑤ 海外業務情報入手から受注までの流れ紹介 ～海外活動支援委員会からの情報提供～ 技術士事務所ケーエムソフト 所長 海外活動支援委員会 副委員長 熊澤壽人 技術士（情報工学部門） 閉会挨拶：海外活動支援委員会 委員長 中村 博昭 司会：海外活動支援委員会 副委員長 小川 斉 名刺交換・情報交換会

### 資料 31 第 16 回修習技術者研究発表大会／先端複合技術研究発表年次大会

<p>基本テーマ：「世界で活躍できる技術者への道」          ～世界で活躍できる技術者が備えるべき資質と技術者の育成～</p> <p>開催日：平成 28 年 1 月 23 日（土） 10：30～16：40          会場：日本技術士会 葺手第二ビル 会議室          主催：修習技術者支援委員会          参加者数：32 名</p>													
<p>第一部 先端複合技術研究発表年次大会 10：30～14：50</p> <p>（大会発表者 4 名）</p> <table border="0"> <tr> <td>「樹脂部品用超小型ディスク式押出圧縮成形機的设计」</td> <td>伊井 宏聡 氏</td> <td>修習技術者（応用理学）</td> </tr> <tr> <td>「我が家の消音対策」</td> <td>山田 隆治 氏</td> <td>修習技術者（機械）</td> </tr> <tr> <td>「接着剤の評価技術」</td> <td>村瀬 吉孝 氏</td> <td>修習技術者（電気電子）</td> </tr> <tr> <td>「不適格な維持管理がもたらす第三者への脅威」</td> <td>西山 芳文 氏</td> <td>修習技術者（建設部門）</td> </tr> </table>		「樹脂部品用超小型ディスク式押出圧縮成形機的设计」	伊井 宏聡 氏	修習技術者（応用理学）	「我が家の消音対策」	山田 隆治 氏	修習技術者（機械）	「接着剤の評価技術」	村瀬 吉孝 氏	修習技術者（電気電子）	「不適格な維持管理がもたらす第三者への脅威」	西山 芳文 氏	修習技術者（建設部門）
「樹脂部品用超小型ディスク式押出圧縮成形機的设计」	伊井 宏聡 氏	修習技術者（応用理学）											
「我が家の消音対策」	山田 隆治 氏	修習技術者（機械）											
「接着剤の評価技術」	村瀬 吉孝 氏	修習技術者（電気電子）											
「不適格な維持管理がもたらす第三者への脅威」	西山 芳文 氏	修習技術者（建設部門）											
<p>第二部 パネル討論会 15：00～16：40</p> <p>講演：「世界で活躍できる技術者への道」日本技術士会 国際委員会 副委員長 鮫島 信行</p> <p>意見交換 「修習技術者からの質疑応答」</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 鮫島 信行（国際委員会 副委員長）</li> <li>・ 川村 智（修習技術者支援委員会 委員長）</li> </ul>													

### 資料 32 第 28 回修習技術者研修セミナー

<p>テーマ：『安全で安心できる社会を目指して』          —安全・安心な社会構築での技術士の果たすべき役割とは—</p> <p>開催日：平成 27 年 11 月 14 日（土）～15 日（日）          会場：日本技術士会 葺手第二ビル 会議室          参加者数：10 名</p>	
<p>平成 27 年 11 月 14 日（土）13：00～19：30</p> <p>挨拶：修習技術者支援委員会 委員長 川村 智          オリエンテーション（アイスブレイキング）</p> <p>講演 1：「水道水の安全・安心・安定供給をめざして」 鎌田 昭 氏（技術士：上下水道部門）          講演 2：「食の安全、水産業としての視点から」 高柳 和史 氏（技術士：水産部門）</p> <p>グループ討議          情報交流会</p>	
<p>平成 27 年 11 月 15 日（日）9：00～16：40</p> <p>講演 3：「食の安全を求めて」 熊田 成人 氏（技術士：経営工学部門）</p> <p>グループ討議          論理展開まとめ          発表シート作成          発表、質疑応答          全体講評、修了証授与</p>	

### 資料 33 修習技術者キャリアプランセミナー

<p>テ ー マ：技術士になるためのキャリアプランを描く          日 時：平成 28 年 3 月 12 日（土）10：00～18：00          会 場：日本技術士会 葺手第二ビル 会議室          参加者数：20 名</p>
<p>開会挨拶 修習技術者支援委員会 委員長 川村 智          セミナーの概要説明 修習技術者支援委員会 委員 横井 弘文</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・講演 1：技術士になるために必要なキャリア              福田 敏博 氏（技術士（経営工学））</li> <li>・講演 2：先輩技術士の事例紹介              亀高 正徳 氏（技術士：電気電子）              末廣 多恵子 氏（技術士：衛生工学）              小野寺 純 氏（技術士：生物工学）</li> <li>・昼食、自己紹介、役割分担</li> <li>・グループ討議「技術士になるためのキャリアプラン」</li> <li>・グループ討議結果の発表、質疑応答</li> <li>・講評</li> </ul>

### 資料 34 修習技術者研修会／先端複合技術研究発表会

#### (1) 修習技術者研修会

※右欄の数字は参加者数、( )はそのうち一般の参加者数を示す

27. 4. 11	課 題：「業務遂行能力」 テーマ：「コミュニケーション能力の向上 プロジェクトの推進においてコミュニケーション能力を如何に養うか」		43 (9)
	海外業務におけるコミュニケーション	笹口技術士事務所 笹口 裕昭	
	調査・設計業務におけるコミュニケーション	club「夢橋」会長 古屋 美伸	
27. 5. 9	課題 テーマ：「修習技術者のための修習ガイドブック 技術士を目指して- 第 3 版」説明会		33 (1)
	修習ガイドブックの目的	修習技術者支援実行委員会 副委員長 高橋 裕二	
	修習ガイドブックにおける基本集課題と資 質・能力	修習技術者支援実行委員会 委員長 神下 栄	
	修習ガイドブックにおける修習の実施	修習技術者支援実行委員会 委員 奥田 栄司、和田 祐二	
27. 6. 13	課 題：「行動原則」 テーマ：「技術者倫理と社会的責任、環境、安全」		16 (1)
	子どもの安全を守る技術士の『良い仕事』	佐藤 R&D 代表取締役 佐藤 国仁	
27. 7. 11	課 題：「専門技術能力」 テーマ：環境と事業継続のためのマネジメントシステム		19 (2)
	環境マネジメントシステム（ISO14001）を業 務に生かす	小塚浩志技術士事務所 所長 小塚 浩志	
	社会セキュリティ ISO22301 事業継続マネジ メントシステム（BCP/BCMS）～経営者の立場 で BCP を作成しよう！～	TAKE 国際技術士研究所 代表 黒澤 兵夫	

27. 9. 12	課 題：「専門技術能力」 テーマ：「技術士に求められる資質能力（コンピテンシー）の解説」		19 (0)
	技術士に求められる資質能力（コンピテンシー）	文部科学省科学技術・学術審議会 技術士分科会 臨時委員 中谷多哉子	
27. 10. 10	課 題：「行動原則」 テーマ：技術者倫理ケーススタディー		24 (0)
	説明責任	日本技術士会登録技術者倫理研究会 代表 橋本 義平	
	内部告発	安藤技術士事務所 代表 安藤 正博	

## (2) 先端複合技術研究発表会

第 303 回 27. 4. 11	樹脂部品用超小型ディスク式射出圧縮成形機 の設計	修習技術者：応用理学 伊井 宏聡	43 (9)
第 304 回 27. 5. 9	我が家の消音対策	修習技術者：機械 山田 隆治	33 (1)
第 305 回 27. 7. 11	接着剤の評価技術	修習技術者：電気電子 村瀬 吉孝	19 (2)
第 306 回 27. 9. 12	不適格な維持管理がもたらす第三者への脅威	修習技術者：建設 西山 芳文	19 (0)
第 307 回 27. 10. 10	不電気通信設備の耐震補強検討	技術士補：電気電子 鈴木 勇人	24 (0)



## 資料 35 第 11 回全国防災連絡会議

テーマ 「地域防災力向上に向けて、技術士の役割」

ー地域に根ざした防災学習と防災に関わる技術士育成の在り方ー

開催日：平成 27 年 10 月 1 日（木） 13：00～17：00

会 場：富山国際会議場

参加者：52 名

司会 防災支援委員会委員（北陸本部） 市村 幸彦

(1) 開 会 主催者挨拶 防災支援委員会 委員長 上野 雄一

副 会 長 日本技術士会 副会長 橋場 常雄

ガイダンス 防災支援委員会 副委員長 田村 裕美

(2) 基調講演

「新しい防災訓練による防災意識の向上」

富山大学人文学部人文学科 准教授 大西 宏治

(3) 各地域のグループセッション

～ 地域に根ざした防災学習と防災に関わる技術士育成の在り方を考える～

グループ報告と質疑

進行役 北陸本部 防災委員会 委員長 平野 吉彦

報告者

関東 防災支援委員会 委員長 上野 雄一

東北 A 防災支援委員会 幹事長 丹羽 真

東北 B 防災支援委員会 副委員長 濱中 拓郎

富山 防災支援委員会 専任委員 山口 豊

新潟 防災支援委員会 委員（北陸本部） 市村 幸晴

石川・福井 防災支援委員会 委員 川原 伸朗

中部・中国 社会貢献(防災)委員会 委員長(中部本部) 吉田 建彦

近畿・九州 防災支援委員会 委員長(近畿本部) 西濱 靖雄

コメンター 富山大学人文学部人文学科 准教授 大西 宏治

(4) 大会宣言 「富山宣言」 防災委員会 副委員長（北陸本部） 佐渡 正

(5) 閉 会 閉会挨拶 防災支援委員会 副委員長 濱中 拓郎

### 第 11 回全国防災連絡会議 福岡宣言

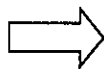
我々技術士は、技術士プロフェッショナル宣言の精神に則り、国民の安全安心な生活に貢献することを目指して、ここに「全国防災連絡会議富山宣言」を以下の通り宣言する。

1. 私たち技術士は、地域防災力向上のため、地域および関連組織との連携およびネットワークの構築を図り社会貢献に努めます。
2. 私たち技術士は、専門知識や知見を駆使し、地域に根ざした防災学習を地域の方々と共に実施し、地域防災力向上に努めます。
3. 私たち技術士は、全国防災連絡会議を継続して開催し、安全安心な国土づくりに貢献します。

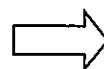
平成 27 年 10 月 1 日

公益社団法人 日本技術士会 防災支援委員会

2014  
福 岡



2015  
富 山



2016  
横 浜

資料36 新聞・雑誌等記事掲載一覧

発行年月日	新聞・雑誌名	主な内容
平成27年4月12日	月刊「OHM」	①平成26年度技術士第二次試験結果 ②平成27年度技術士試験スケジュール
平成27年12月5日	月刊「電設技術」	平成27年度技術士第二次試験 電気電子部門 試験問題 必須科目Ⅰ、電気設備 選択科目Ⅱ、Ⅲ
平成28年1月5日	月刊「電設技術」	平成27年度技術士第一次試験 基礎科目 試験問題
平成28年2月5日	月刊「OHM」	①平成27年度技術士第一次試験結果 ②平成28年度試験日程 ③平成28年度資格日程一覧（技術士試験）
平成28年2月5日	月刊「電設技術」	平成27年度技術士第一次試験 適性科目 試験問題
平成28年3月5日	月刊「電設技術」	平成27年度技術士第一次試験 専門科目（電気電子部門） 試験問題

資料37 技術士制度の講演会、説明会一覧

開催日	主催、開催場所等
平成27年5月25日（月）	国土交通省関東地方整備局港湾空港部
平成27年6月5日（金）	日本大学理工学部（駿河台校舎）
平成27年6月15日（月）	東京都建設局
平成27年6月17日（水）	日本大学生産工学部（津田沼校舎）
平成27年9月2日（水）	神奈川県農村振興技術連盟
平成27年10月22日（木）	国土交通省国土技術政策総合研究所
平成28年3月12日（土）	神奈川県支部
平成28年3月25日（金）	一般社団法人 電力土木技術協会

※この他、地域本部、委員会等で開催

資料 38 後援、協賛等

(注) 平成 27 年度中に依頼があったもの (依頼があった順)

開催日	依頼元	後援・協賛・協力内容	
27. 4. 1-6-30	一般社団法人日本労働安全衛生コンサルタント会	労働安全衛生コンサルタント制度推進月間	後援
27. 6. 6	システム監査学会	第 29 回研究大会	後援
27. 5-27. 10	一般社団法人コンクリートメンテナンス協会	コンクリート構造物の補修・補強に関するフォーラム 2015	後援
27. 6-28. 3	公益財団法人板橋区産業振興公社	「板橋製品技術大賞」の実施	後援
27. 6. 26	公益社団法人電気化学会	2015 年電気化学会セミナー「初心者のための電気化学測定法―基礎編」	後援
27. 10. 7-9	UBM メディア (株)	食品開発展 2015 Hi/S-tec Japan 2015	後援
27. 9. 10-11	公益社団法人計測自動制御学会	第 32 回センシングフォーラム計測部門大会	後援
27. 5. 19	公益財団法人溶接接合工学会	特別講演「両極域の氷海航行に関する最近の話題について」	後援
27. 8. 31	日本金属学会関東支部	講習会「材料分析・評価技術活用への理解：本質に迫るツボ～汎用から最先端まで～」	協賛
27. 7. 16	一般社団法人日本原子力学会	原子力総合シンポジウム 2015「原子力の安全と科学と人材育成」	後援
27. 9. 2	京都大学技術士会	第 5 回講演会「社会資本整備を巡る誤解・曲解・無理解」	後援
27. 8. 6-7	震災対策技術展宮城実行委員会	第 6 回「震災対策技術展」宮城	後援
27. 6. 28	全日本理工科学生柔道連盟	第 56 回全日本理工科学生柔道優勝大会	後援
27. 7. 4	千葉工業大学技術士会	10 周年記念特別講演会「今後の首都圏経済の展望と科学技術に期待されるもの」	協賛
27. 11. 14-15	和歌山工業高等専門学校	平成 27 年度全国高等専門学校デザインコンペティション	後援
27. 12. 19	独立行政法人国立高等専門学校機構	平成 27 年度高専女子フォーラム in 東北	後援
27. 10. 19-20	日本インダストリアル・エンジニアリング協会	2015 日本 I E 協会年次大会	後援
27. 8. 15-16	公益社団法人電気化学会	2015 年電気化学会セミナー「初心者のための電気化学測定法―実習編」	協賛
27. 6. 25	公益財団法人国民工業振興会	講演会「ミャンマーの最近の動向」	後援
28. 3. 21	独立行政法人国立高等専門学校機構	平成 27 年度高専女子フォーラム in 九州沖縄	後援
26. 9. 6 及び 12. 19	一般社団法人日本機械学会	2015 年度計算力学技術者 (CAE 技術者) 資格認定事業	協賛
26. 8. 6-8	独立行政法人国立女性教育会館	平成 27 年度「女子中高生夏の学校 2015～科学・技術・人との出会い～」	協賛
27. 10. 21-23	公益社団法人日本冷凍空調学会	2014 年度日本冷凍空調学会年次大会	協賛
27. 9. 26-27	スケジューリング協会	スケジューリング・シンポジウム 2015.	協賛
27. 8. 1-7	一般社団法人日本機械学会	機械の日・機械週間	協賛
27. 10. 14 及び 10. 21	一般社団法人日本鉄鋼協会	第 223・224 回西山記念技術講座「表面処理鋼板の技術展開」	協賛
27. 11. 13	一般社団法人日本鉄鋼協会	第 66 回白石記念講座「新しい世紀の形態計量学―数字と鉄鋼研究のコラボレーション―」	協賛

開催日	依頼元	後援・協賛・協力内容	
27. 9. 16-18	一般社団法人次世代センサ協議会	次世代センサ総合シンポジウム “ニーズとシーズの出会い”	協賛
27. 12. 23	独立行政法人国立高等専門学校機構	平成 27 年度高専女子フォーラム in 関西	後援
27. 11. 7 及び 11. 15	一般社団法人日本機械学会	計算力学技術者 2 級 (振動分野の有限要素法解析技術者) 認定試験対策講習会	協賛
28. 5. 18-20	一般社団法人 OPI 協議会	OPTICS & PHOTONICS International Exhibition2016 (OPIE' 16)	協賛
28. 6. 2-3	名古屋国際見本市委員会	第 4 回中部ライフガード TEC2016～防災・減災・危機管理展～	協賛
27. 10. 22	一般財団法人建設業技術者センター	建設技術者のための技術力向上セミナー	後援
27. 11. 12-13	公益財団法人板橋区産業振興公社	第 19 回いたばし産業見本市	後援
27. 10. 20	公益財団法人溶接接合工学振興会	第 26 回セミナー「溶接管理のためのマルチスケール・モニタリングの展望」	後援
28. 2. 4-5	震災対策技術展横浜実行委員会	第 20 回「震災対策技術展」横浜	後援
27. 11. 20	システム監査学会	第 28 回公開シンポジウム「マイナンバー制度とシステム監査の役割」	後援
27. 12. 11	東京都中小企業振興公社	平成 27 年度東京都中小企業知的財産シンポジウム	後援
27. 11. 21-23	一般社団法人日本機械学会	材料力学カンファレンス	協賛
27. 11. 21	一般社団法人日本機械学会	第 15 回技術者のための技術者倫理セミナー	協賛
28. 2. 4	一般社団法人情報処理学会	ソフトウェアジャパ 2016ー人工知能が 2020 年を変える	後援
28. 2. 26	輸出管理 DAY for ACADEMIA 実行委員会	輸出管理 DAY for ACADEMIA 2016	後援
27. 12. 21	公益財団法人国民工業振興会	経済産業省による今後の中小企業の地域政策について	後援
28. 6. 9-10	防犯防災総合展実行委員会	防犯防災総合展 in KANSAI2016	後援
28. 3. 28	公益財団法人国民工業振興会	経済産業省の技術開発の現状	後援
28. 3. 16	一般社団法人日本原子力学会	原子力総合シンポジウム 2016	共催
28. 4. 22	一般財団法人建設業技術者センター	第 3 回建設技術者のための技術力向上セミナー	後援
28. 5. 16-17	公益社団法人日本磁気学会	第 4 回岩崎コンファレンス「医工学とビックデータが拓く医療の未来」	協賛
28. 6. 10 及び 6. 17	一般社団法人日本鉄鋼協会	第 225, 226 回西山記念技術講座「社会インフラにおける鋼構造・鉄鋼材料の歴史・現状・将来展望」	協賛
28. 5. 14	一般社団法人 日本機械学会	第 16 回リーダーを目指す技術者倫理セミナーー事故・不祥事の背景から学ぶリスクマネジメント：不確実な情報下での意思決定ー	協賛
28. 5-28. 8	一般社団法人コンクリートメンテナンス協会	コンクリート構造物の補修・補強に関するフォーラム 2016	後援
28. 9. 1	公益社団法人計測自動制御学会	第 33 回センシングフォーラム計測部門大会	協賛
28. 4. 1-6. 30	一般社団法人日本労働安全衛生コンサルタント会	第 22 回労働安全衛生コンサルタント制度推進月間	後援

資料 39 四役会議・常設委員長会議・地域本部長会議・部会長会議

(1) 四役会議 及び 常設委員長会議 (6回)

開催日	審議・検討課題
平成 27 年 4 月 23 日 (木)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・委員会体制の変更について</li> <li>・各委員会からの報告について</li> <li>・次回理事会 (5/12) において予定される審議事項等</li> </ul> 以下は、四役会議における審議・検討課題 <ul style="list-style-type: none"> <li>・当面の主要日程について</li> <li>・次期常勤理事候補者について</li> <li>・常勤理事報酬等の支給基準及び報酬の変更について</li> </ul>
平成 27 年 6 月 26 日 (金)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・当面の主要日程について</li> <li>・部会からの推薦理事の委員会への所属について</li> <li>・個別規定に基づく「技術士制度検討委員会」の発足について</li> <li>・次回理事会 (7/3) において予定される審議事項等</li> <li>・その他</li> </ul> * 第 5 回世界工学会議 (WECC2015) への対応
平成 27 年 9 月 2 日 (水)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・当面の主要日程について</li> <li>・次回理事会 (9/9) において予定される審議事項等</li> </ul>
平成 27 年 11 月 4 日 (水)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・当面の主要日程について</li> <li>・次回理事会 (11/12) において予定される審議事項等</li> </ul> 以下は、四役会議における審議・検討課題 <ul style="list-style-type: none"> <li>・日本コンサルティング・エンジニア協会 (AJCE) と海外コンサルティング企業協会 (ECFA) の合併について</li> <li>・総務委員会の申送事項への対応方針 (案) について</li> <li>・WECC2015 出展対応状況について</li> </ul>
平成 27 年 12 月 22 日 (火)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・当面の主要日程について</li> <li>・次回理事会 (1/6) において予定される審議事項等</li> </ul>
平成 28 年 2 月 29 日 (月)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・当面の主要日程について</li> <li>・第 43 回技術士全国大会 (横浜) 広告募集要項について</li> <li>・次回理事会 (3/9) において予定される審議事項等</li> </ul>

(2) 地域本部長会議（4回）

開催日	審議・検討課題
平成 27 年 4 月 21 日 (火)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・平成 27 年度事業計画について</li> <li>・平成 27 年度収支予算について</li> <li>・平成 26 年度技術士第二次試験結果について</li> <li>・科学技術・学術審議会技術士分科会制度検討特別委員会報告について</li> <li>・委員会組織及び所掌事項の変更に関する検討状況について</li> <li>・県内の一部地域における会員活動単位への支援に関する規則制定について</li> <li>・地域組織の運営についての詳細事項に関する規則の変更について</li> <li>・各地域本部からの審議事項、報告及び意見・要望等</li> </ul>
平成 27 年 8 月 26 日 (水)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・平成 27 年度技術士第二次試験筆記試験受験結果について</li> <li>・平成 27 年度技術士第一次試験受験申込状況について</li> <li>・科学技術・学術審議会技術士分科会制度検討特別委員会報告について</li> <li>・事務局 WEB 会議（8 月 24 日）開催報告</li> <li>・本会としてのマイナンバー制度への対応(案)について</li> <li>・中小企業基盤整備機構からの説明</li> <li>・各地域本部からの審議事項及び意見・要望等</li> </ul>
平成 27 年 10 月 27 日 (火)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・平成 27 年度技術士第一次試験実施状況報告</li> <li>・科学技術・学術審議会技術士分科会制度検討特別委員会報告</li> <li>・企画委員会による会員拡大に向けた事業検討状況報告</li> <li>・北九州地区の会員活動への支援について</li> <li>・マイナンバー制度への対応に関する調査結果について</li> <li>・各地域本部からの審議事項及び意見・要望等</li> </ul>
平成 28 年 2 月 2 日 (火)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・平成 27 年度技術士第一次試験の結果について</li> <li>・平成 28 年度技術士試験日程について</li> <li>・科学技術・学術審議会技術士分科会制度検討特別委員会報告について</li> <li>・役員候補者選出選挙に係る被選挙権に関する検討について</li> <li>・緩やかな連携の推進（出身大学別技術士会の設立等）について</li> <li>・地域産学官と技術士合同セミナーの今後の開催予定(案)について</li> <li>・各地域本部からの審議事項及び意見・要望等</li> </ul>

(3) 部会長会議 (4回)

開催日	審議・検討課題
平成 27 年 4 月 3 日 (金)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・各部会活動計画の紹介</li> <li>・部会長による討議               <ul style="list-style-type: none"> <li>* 各部会における技術士と既存資格の同等性の検討について</li> <li>* 部会からの報告について</li> <li>* 葺手第二ビル会議室予約方法の変更検討について</li> </ul> </li> <li>・委員会等から               <ul style="list-style-type: none"> <li>* 平成 27 年度事業計画について</li> <li>* 平成 27 年度収支予算について</li> <li>* 平成 26 年度技術士第二次試験の結果について</li> <li>* 科学技術・学術審議会技術士分科会報告について</li> <li>* 講演会及び見学会等の開催補助費運用規則の変更について</li> <li>* 部会の運営に関する規則の制定について</li> <li>* 委員会組織及び所掌事項の変更に関する検討状況について</li> <li>* 部会における CPD 行事内容の WEB 掲載用収録状況 (Pe-CPD) について</li> </ul> </li> </ul>
平成 27 年 7 月 28 日 (火)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・部会長の異動について</li> <li>・各部会活動計画の紹介</li> <li>・部会長による討議               <ul style="list-style-type: none"> <li>* 自由討議・意見交換会・今後討論するテーマの選定</li> <li>* 部会からの提案・報告について</li> </ul> </li> <li>・委員会等から               <ul style="list-style-type: none"> <li>* 科学技術・学術審議会技術士分科会報告について</li> <li>* 平成 27 年度第二次試験申込状況及び第一次試験申込状況 (速報) について</li> <li>* 部会の運営に関する規則 (H27 年 3 月理事会制定)</li> <li>* 各部会における個別業務について</li> </ul> </li> </ul>
平成 27 年 11 月 17 日 (火)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・部会活動計画の紹介</li> <li>・部会からの報告、討議等</li> <li>・委員会等から               <ul style="list-style-type: none"> <li>* 平成 27 年度技術士第二次試験筆記試験結果について</li> <li>* 平成 27 年度技術士第一次試験実施状況について</li> <li>* 科学技術・学術審議会技術士分科会制度検討特別委員会報告について</li> <li>* 前期総務委員会からの申し送り事項の検討状況について</li> <li>* 会員拡大に向けた検討状況報告について</li> <li>* 修習ガイダンス 2016 への協力依頼について</li> <li>* マイナンバー制度への対応について</li> </ul> </li> </ul>
平成 28 年 2 月 26 日 (金)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・部会活動計画の紹介</li> <li>・部会からの報告、討議等</li> <li>・委員会等から               <ul style="list-style-type: none"> <li>* 平成 27 年度技術士第一次試験の結果について</li> <li>* 平成 28 年度技術士試験日程について</li> <li>* 科学技術・学術審議会技術士分科会制度検討特別委員会報告について</li> <li>* 役員候補者選出選挙に係る被選挙権に関する検討について</li> <li>* 部会幹事の選任方法に関する検討について</li> <li>* 第 43 回技術士全国大会広告協賛依頼企業の紹介について</li> <li>* 「東日本大震災からの復興に向けた日本技術士会の取り組み～5年間を振り返って～」の作成に関する協力要請について</li> </ul> </li> </ul>

## 資料40 委員会の会議開催状況

<p>倫理委員会 (7回) 倫理教育検討ワーキンググループ (3回)</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・最近の不祥事例等の調査と倫理綱領見直しの要否等の検討</li> <li>・第7回技術者倫理シンポジウム開催・報告と、第8回企画検討</li> <li>・第3回技術者倫理ワークショップ開催・報告と第4回企画検討</li> <li>・日本工学教育協会技術者倫理調査研究委員会で開発のモジュール型シラバスを基に大学・高専等の倫理講座用教材作成の検討</li> <li>・月刊「技術士」に倫理関係記事、技術者倫理啓発活動シリーズ記事、及び実施行事報告記事の執筆企画・推進並びに平成28年度シリーズ企画の検討</li> <li>・日本工学会技術倫理協議会参加組織として、第11回公開シンポジウムの企画検討・開催</li> </ul>
<p>総務委員会 (6回)</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・平成27年度新名誉会員及び会長表彰者の推薦について</li> <li>・諸規則及び手引きの制定、改訂、廃止について</li> <li>・平成27年度フェロー認定審査について</li> <li>・委員会組織・所掌事項の検討について</li> <li>・役員候補者選出選挙に係る被選挙権等についての規定変更検討について</li> <li>・部会幹事の選任手続きに関する検討について</li> <li>・各地域本部の運営の個別事項に関する手引きについて</li> <li>・海外関係機関との協定等に関する手引きの確認について</li> <li>・県内の一部地域における会員活動単位への支援に関する検討について</li> <li>・中国本部と広島市による専門家派遣に関する協定の締結について</li> <li>・平成28年度名誉会員、会長表彰、フェロー認定等関連日程について</li> <li>・会員による登録グループの新規登録、登録取消及び登録先の変更について</li> <li>・会員による登録グループの平成26年度活動報告の確認について</li> <li>・会員の活動グループの登録に関する規則及び手引きの変更検討について</li> <li>・近畿本部管轄地域における支部設置方針について</li> <li>・地域本部関連事項検討小委員会からの報告に基づく検討について</li> <li>・緩やかな連携について</li> <li>・大学別技術士会との相互協力協定の締結</li> </ul>
<p>企画委員会 (10回)</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・平成27年度事業報告及び財務諸表等について</li> <li>・CPD行事の中央地方の格差是正について</li> <li>・活用しやすいホームページへ向けての改善について</li> <li>・第二次試験合格者の連絡先（メールアドレス）取得について</li> <li>・予算申請におけるPDM様式の提出について</li> <li>・収支予算管理に関する手引きの運用について</li> <li>・平成27年度事業計画及び収支予算について</li> <li>・諸謝金の現状について</li> <li>・一般会計の長期的な財政健全化について</li> </ul>
<p>研修委員会 (10回)</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・第43回技術士全国大会の開催概要</li> <li>・平成26年度CPD定期審査報告</li> <li>・平成25・26年度研修委員会活動報告書の作成</li> <li>・平成27・28年度研修委員会副委員長・幹事の承認</li> <li>・平成27・28年度研修委員会活動（活動項目、スケジュール、組織体制、小委員長の指名等）</li> <li>・第43回技術士全国大会運営委員会の設置及び設置・運営規則</li> <li>・外部委員会委員等の推薦</li> <li>・CPD支援委員会及び修習技術者支援委員会委員の継続再任期限の延長申請</li> <li>・修習技術者支援委員会及び青年技術士交流委員会の委員補佐の承認・委嘱</li> <li>・平成27年度定期審査の実施（実施予定、委員の委嘱、審査スケジュール等）</li> <li>・平成28年度事業計画案（研修委員会関連）</li> <li>・平成27年度事業報告案（研修委員会関連）</li> <li>・管轄する実行委員会の活動</li> <li>・技術士CPDプログラムの申請報告</li> </ul>



<p>広報委員会 (12回)</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・月刊『技術士』の企画・編集・発行</li> <li>・平成27年度特別号の発刊(平成27年7月号、平成28年1月号)</li> <li>・月刊『技術士』投稿の手引き及び査読の手引き・マニュアルの見直し</li> <li>・月刊『技術士』、ホームページ、マスメディア等を通じた対外的広報活動の推進</li> <li>・ホームページ「PEプラス」の充実</li> </ul>
<p>社会貢献委員会 (7回)</p> <p>工事監査支援ワーキンググループ (6回)</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・司法支援技術士名簿の充実</li> <li>・最高裁への働きかけ(講演会の講師派遣と月刊「PE」への投稿依頼)</li> <li>・裁判所からの鑑定人等の推薦依頼対応</li> <li>・第6回社会活動事例発表会の開催</li> <li>・社会委員会のホームページの充実と内容更新</li> <li>・技術士及び日本技術士会による社会活動の情報集約</li> <li>・工事監査支援ワーキンググループの受託拡大の検討</li> </ul>
<p>国際委員会 (5回)</p> <p>幹事会 (5回)</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・国際委員会ホームページの充実</li> <li>・技術士全国大会第4分科会企画</li> <li>・IPEA国際レビュー対応</li> <li>・中国国家外国専門家局との友好協定の承認</li> <li>・英国機械技術者協会との友好協定の承認</li> <li>・台湾経済部との今後の進め方</li> <li>・オーストラリア技術者協会との今後の進め方</li> </ul>
<p>活用促進委員会 (2回)</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・委員会体制変更にもなる引継ぎ事項について</li> <li>・新規開拓テーマの活動内容取りまとめ</li> <li>・技術マネジメントシステムの活動内容取りまとめ</li> <li>・広報活動内容取りまとめ</li> <li>・施策提言活動内容取りまとめ</li> </ul>
<p>CPD支援委員会 (12回)</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・CPD中央講座(6回)及びCPDミニ講座(6回)の開催</li> <li>・平成27年度技術士フォーラムの開催</li> <li>・第33回技術士CPD・技術士業績・研究発表年次大会の開催</li> <li>・平成28年新春記念講演会の開催</li> <li>・技術士第二次試験合格者研修会・祝賀会の開催</li> <li>・CPD教材「男女共同参画の実践」の発行</li> <li>・地域本部(近畿本部及び中国本部)からのCPDミニ講座の実施</li> </ul>
<p>修習技術者支援委員会 (12回)</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・修習技術者研修会/修習技術者発表研究会の月例会の開催</li> <li>・第28回修習技術者研修セミナーの開催</li> <li>・技術を目指そう、修習ガイダンス2016の開催</li> <li>・修習技術者発表研究会/年次大会の開催</li> <li>・修習技術者キャリアプランセミナーの開催</li> <li>・各セミナー内容のWEB掲載</li> <li>・WEB会議システムを活用した支部との連携・活用方法の検討</li> <li>・YouTubeを使った不特定多数の修習技術者への配信技術の検討</li> <li>・平成28年度における各行事年間スケジュールの検討と決定</li> <li>・先端複合技術研究会の名称変更の検討及び名称変更決定</li> </ul>
<p>青年技術士交流委員会 (12回)</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・各月例会の実施計画</li> <li>・各月例会の実施報告</li> <li>・例会グループ、国際グループ、広報グループの活動報告</li> <li>・若手技術者向け研鑽事業の企画・実施</li> <li>・若手技術者の国際交流活動の企画・実施</li> <li>・全国大会青年委員会主催行事・交流会の企画・実施</li> <li>・各地域本部青年技術士組織との交流</li> <li>・各地域本部青年技術士との協働によるパンフレット等広報企画・実施</li> <li>・小学生向け理科教室などの社会貢献活動の企画・実施</li> <li>・研修、企画、修習技術者支援、日韓技術士交流委員会への協力</li> <li>・日本技術士会活動のPR</li> <li>・青年技術士交流委員会ホームページ・ブログの定期更新及び運営</li> </ul>

<p>技術士活性化委員会 (9回)</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・委員会体制</li> <li>・外部からの依頼対応報告及び今後の進め方</li> <li>・PDBの登録普及</li> <li>・委員会ホームページのコンテンツ</li> <li>・技術支援基礎講座の企画</li> <li>・技術士業務開業研修会の企画</li> <li>・報酬アンケート</li> <li>・知的資産経営WEEK2016（平成28年度）</li> </ul>
<p>・防災支援委員会 (4回) ・幹事会 (8回)</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・防災支援委員会決算及び予算案の討議</li> <li>・年間活動計画の討議</li> <li>・国連防災会議（3月）報告</li> <li>・東日本大震災復興支援の企画案討議</li> <li>・災害復興まちづくり支援機構活動運営及び報告（東京都都市復興模擬訓練、首都防災ウィーク、東京都災害復興シンポジウム、東京都防災展、三宅島相談会、大船渡基石地区協議会、福島広域避難者交流会、常総市水害被災者相談会等）</li> <li>・墨田区災害復興支援組織活動運営及び報告（墨田区防災フェア、墨田区総合防災訓練、鹿沼市水害被災地視察ほか）</li> <li>・自治会ミニ講座・防災まち歩き運営及び報告（相模原市田名地区、横浜市東山田地区、横浜市藤が丘地区）</li> <li>・全国防災連絡会議・全国大会分科会の企画・運営及び報告</li> <li>・京都世界工学会議（WECC2015）の準備・運営及び報告</li> <li>・エフエム相模・ラジオ番組企画の準備及び出演報告</li> <li>・秋葉原駅周辺地区帰宅困難者対策地域協力会支援活動運営</li> <li>・横浜震災対策技術展の企画・運営及び報告</li> <li>・東日本大震災5周年シンポジウムの企画</li> <li>・第43回技術士全国大会（横浜）の企画</li> <li>・メーリングリスト、WEB171による安否確認訓練と報告</li> <li>・ワーキングチーム活動報告及び拡大ワーキングチーム会議（自治会支援、出前講座、防災カード等の活動報告、新規会員募集）</li> </ul>
<p>科学技術振興支援委員会 (11回)</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・月刊「技術士」9月号に掲載する当委員会の活動内容について</li> <li>・サイエンスアゴラ2015への公募出展企画検討及び実施運営</li> <li>・サイエンスアゴラ2016への応募に関する検討</li> <li>・第5回サイエンス・インカレ事業への参画について</li> <li>・会員への理科支援活動の支援及びPR用リーフレットの改訂について</li> <li>・平成28年度予算要求書の作成及びPDM資料の作成</li> <li>・理科教育用教材の収集及び理科実験事例発表大会の企画</li> </ul>
<p>日韓技術士交流委員会 (9回)</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・第45回日韓技術士国際会議（春川）の企画・開催</li> <li>・第45回日韓技術士国際会議（春川）の開催結果報告</li> <li>・第46回日韓技術士国際会議（栃木県・日光）の企画・開催</li> </ul>
<p>海外活動支援委員会 (12回)</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・海外活動実施にあたっての留意事項</li> <li>・ベトナム産業活性化セミナーについて</li> <li>・ミャンマー若手技術者との懇談会について</li> <li>・環境技術の海外移転の今後の取組みについて</li> <li>・中国国家専門家局との覚書の改定について</li> <li>・台湾經濟部との覚書の締結について</li> <li>・中国江蘇省無錫市訪問結果報告</li> <li>・中国国家専門家局訪問報告</li> <li>・台州市政府・企業関係者との懇談会開催報告</li> <li>・台湾經濟部との協定書締結について</li> <li>・中国台州市政府との相互協力、「外国専門家人材交流大会」への対応</li> <li>・日韓技術士国際会議及び韓日産業技術協力財団主催共同セミナーへの対応</li> <li>・中国台州市政府との相互協力、「外国専門家人材交流大会」について</li> </ul>

海外活動支援委員会	<ul style="list-style-type: none"> <li>・台州市と日本技術士会海外活動支援委員会との相互協力に関する提携覚書について</li> <li>・平成27年度事業報告及び平成28年事業計画について</li> <li>・平成27年度海外技術協力実務講習について</li> <li>・締結した覚書等の再確認</li> </ul>
技術士開業支援実行委員会 (1回)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・業務紹介報告及び進行中案件のフォロー情報等</li> <li>・今後の業務紹介の進め方</li> <li>・技術士業務開業研修会について</li> <li>・PDBの登録普及について</li> <li>・委員会ホームページのコンテンツ等について</li> <li>・技術コンサルタントガイドブック第4版</li> </ul>
地域産業活性化支援実行委員会 (3回)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・業務拡大支援研究講習の企画検討と開催</li> <li>・組織変更にもなう申し送り事項の整理</li> </ul>
男女共同参画推進委員会 (委員会3回、メール審議6回) 女子学生支援ワーキンググループ (4回)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・重要方針、委員会の方向付けは委員会により審議</li> <li>・技術者を目指す女性向け技術サロンの定例開催</li> <li>・「技術サロン報告書ーいま、そしてみらいの女性技術者が輝くためにー」発行</li> <li>・CPD教材の企画・作成（男女共同参画の実践ー技術者・技術士の活躍に向けてー）</li> <li>・男女共同参画学協会連絡会年次シンポジウムへの参画（ポスター展示）</li> <li>・第42回技術士全国大会（富山）へのポスター展示</li> <li>・WECC2015世界工学会議（技術士会出展）へのポスター展示</li> <li>・英語ポスター作成、英語委員会案内作成</li> <li>・技術士フォーラム（CPD支援委員会主催）の企画及びCPD支援委員会との共同運営</li> <li>・第43回技術士全国大会（横浜）第5分科会の企画</li> <li>・展示ポスター、資料作成、活動報告、広報パンフレット、WEBサイトの更新等</li> </ul>
第43回技術士全国大会運営委員会 運営委員会 (1回) 運営会議 (4回)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・委員長、副委員長の選任</li> <li>・運営委員会の組織及び主要業務</li> <li>・小委員会委員長及び委員の委嘱</li> <li>・第43回技術士全国大会開催概要案の検討</li> <li>・分科会の企画案</li> <li>・今後の大会準備スケジュール</li> <li>・各小委員会検討報告</li> </ul>
技術士制度検討委員会 (3回)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・技術士制度検討に当たっての主要な検討項目及び論点について</li> <li>・資格別の継続制度の概要について</li> <li>・諸外国の状況等について</li> <li>・資格更新制度の検討について</li> </ul>
役員候補者選出選挙管理委員会 (1回)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・開票事務作業の確認について</li> <li>・開票作業</li> <li>・開票結果の確認</li> </ul>

資料41 部会の開催

部会	機械	船舶・海洋/ 航空・宇宙	電気電子	化学	繊維	金属	資源工学
回数	15	12	11	14	9	8	7

部会	建設	上下水道	衛生工学	農業	森林	水産	経営工学
回数	10	14	10	6	5	6	9

部会	情報工学	応用理学	生物工学	環境	原子力・ 放射線	部会計
回数	12	13	7	11	7	186

資料42 地域本部の会合

地域本部名	全体会合等	役員会	委員会	講演会 見学会	その他	計
北海道	1	4	85	50	23	163
東北	1	4	15	24	0	44
北陸	1	4	18	16	12	51
中部	1	7	85	40	2	135
近畿	1	6	16	90	0	113
中国	1	5	39	23	58	126
四国	1	4	30	24	7	66
九州	1	7	43	55	40	146
計	8	41	331	322	142	844

資料 43 県支部の会合

(1) 関東甲信地域における県支部

県支部名	全体会合等	役員会	委員会	講演会 見学会	その他	計
神奈川	1	11	45	17	9	83
埼玉	1	11	42	18	6	78
山梨	1	10	—	6	—	17
長野	1	7	—	6	2	16
千葉	1	10	36	11	12	70
茨城	1	12	25	11	15	64
栃木	1	10	12	6	6	35
群馬	1	6	6	4	3	20
計	8	77	166	79	53	383

(2) 地域本部管轄下の県支部

管轄本部	県支部名	全体会合等	役員会	委員会	講演会 見学会	その他	計
東北本部	宮城	1	6	—	7	—	14
	青森	1	3	1	4	—	9
	秋田	1	3	—	4	—	8
	福島	1	4	10	5	—	20
	山形	1	4	—	4	—	9
	岩手	1	6	—	7	—	14
北陸本部	富山	1	3	3	2	2	11
中部本部	愛知	1	7	7	2	—	17
	岐阜	1	6	17	5	1	30
	三重	1	2	2	2	2	9
	静岡	1	4	11	5	3	24
中国本部	岡山	1	5	3	9	—	18
九州本部	大分	2	3	—	5	—	10
	鹿児島	1	3	3	4	1	12
	宮崎	1	1	—	5	—	7
	佐賀	1	4	—	2	—	7
	熊本	1	7	10	12	1	31
	長崎	1	6	—	5	1	13
計		19	77	67	89	11	263

資料 44 部会における講演会

※右欄の数字は参加者数、( )はそのうち一般の参加者数を示す

機械部会

27. 5. 8	インクジェットプリンターの産業 応用に向けて	日立造船(株)	杉浦 邦充	50(4)
	製品開発設計全体をスムーズに進める プロジェクトマネジメント	三菱電機(株)	渡辺 孝	
27. 6. 13	家電製品開発への落下衝撃解析技術の 適用と実践	パナソニックエコシステムズ(株)	小方 弘成	60(2)
	技術士のためのお得な会計講座	鈴木公認会計士・税理士事務所	鈴木 裕太	
27. 7. 10	ドイツ Industry4.0 の取組の紹介	ドイツ貿易振興機構	浅川 石見	70(7)
27. 8. 14	金属切りくずの不思議	新井技術・教育研究所	新井 実	37(1)
27. 9. 11	未来の自動運転技術と日産自動車の 取り組み	日産自動車(株)	安藤 敏之	78(6)
	機械システムの見方・考え方	(有)水野エンジニアリング	水野 光春	
27. 10. 3	北陸の機械部門技術士による企業 活動紹介	渋谷工業(株)	山道 哲雄	18(1)
	同上	高松機械工業(株)	金子 義幸	
27. 10. 9	水素社会実現に向けた川崎市水素 戦略	川崎市	高橋 友弘	58(2)
	水素エネルギーのトピックス	西田技術士事務所	西田 啓一	
27. 11. 13	生産技術の新分野適用の試み	機械振興協会	木村 利明	39
	車の衝突安全の現状と課題	竹内技術士事務所	竹内 利一	
27. 12. 11	吸収式冷凍機の蒸発器用電熱管の 開発事例について	(株)コベルコマテリアル鋼管	高橋 宏行	50(2)
	ものづくり開発プロセス改革に役 立つVE活用の勘所	横河電機(株)	沼澤 朋子	
28. 2. 6	違いがわかる” 専門家 “になろう！ 異分野交流の難しさ・楽しさ	ラーテン技術士事務所	比屋根 均	53(7)
	明日からできるコミュニケーション デザイン	東京工業大学	西條 美紀	
	“餅は餅屋” 3D プリンタを活用した 異業種連携のものづくり	(株)アブリクラフト	女井 誠司	
28. 2. 12	産学連携～大学における転がり案内 技術の最前線	東京工業大学	酒井 康德	39(1)
	ナノ・マイクロに挑む！転がり案内 技術の最前線	THK(株)	会田 知幸	
28. 3. 11	Beyond Design Basis Accident への 対応	横浜国立大学	白鳥 正樹	50(2)
	工学シミュレーションの品質保証			

船舶・海洋／航空・宇宙部会

27. 4. 3	温故知新～コメット機墜落事故と金属疲労	田島技術士事務所	田島 暎久	12
27. 5. 30	テールシッタで拡げる無人機の世界	(株)航空システム研究 代表取締役	炭田潤一郎	20
27. 6. 6	日本の自動車と航空機の競合と伝承、第一次世界大戦後から太平洋戦争終戦までの 史実	杉本技術士事務所	杉本 漢三	24
27. 7. 25	三菱 RP-1 ヘリコプターの短期開発	佐藤技術士事務所 代表	佐藤 晃	17
27. 8. 7	パリ・エアショー・2015 報告	田島技術士事務所	田島 暎久	13
	テイル・シッターで拡げる無人機の世界	(株)航空システム研究 代表取締役	炭田潤一郎	
27. 9. 26	航空産業の振興に向けて～航空基本法制定をめざして	参議院議員	新妻 秀規	23 (3)
27. 10. 10	航空エンジンの試験方法	東明工業 (株)	堀内 和男	13
27. 11. 28	三菱 RP-1 ヘリコプターの短期開発 その 2	佐藤技術士事務所代表	佐藤 晃	21
27. 12. 4	海軍航空技術廠の概要	(株)テックササキ 主幹	吉川 豊行	14
28. 1. 30	1 水星磁気圏探査機 (BepiColombo/MMO) の開発	日本電気 (株) シニアエキスパート	岡本 章	20 (3)
	2 宇宙機国際標準 (ISO/TC20/SC14) 活動の紹介			
28. 2. 13	Geared Turbo Fan について ～その歴史的発展および利害損失について～	阿部技術士事務所	阿部駿一郎	19 (3)
28. 3. 26	大型実験水槽を利用した船舶・航空工学の研究	横浜国立大学 准教授	平川 嘉昭	22 (5)

電気電子部会

27. 4. 7	スマートグリッドの現状と展望 ～第5の直流の時代への日本の課題～	東京都市大学 工学部 電気電子工学科 教授	佐々木三郎	129
27. 7. 1	電気エネルギーシステムにおけるサイバーセキュリティ	一般財団法人 電力中央研究所 システム技術研究所 副所長	芹澤 善積	136 (内 WEB参加者 47名)
27. 11. 11	急速充電対応型電池推進船の開発と実証	東京海洋大学 次世代水上交通システム研究開発プロジェクト 教授	大出 剛	37
27. 12. 3	食品の安全・安心に対する技術者の情報提供能力と責任	芝浦工業大学 大学院 工学マネジメント研究科 教授	馬場 良雄	69
28. 2. 19	スマートモビリティシティ実現に向けた電気自動車の今と未来	日産自動車 (株) エキスパートリーダー	二見 徹	90 (2)
28. 3. 4	回転電気機械の系譜 ～モータ・発電機の基礎を作った人々～	元 (社) 機械技術協会 理事	矢田 恒二	84 (4)

化学部会

27. 5. 28	セルロースナノファイバーの製造と利用	京都大学 生存圏研究所 教授	矢野 浩之	55 (1)
	化学の目でみた歴史、そして未来	ジャーナリスト	佐藤 健太	
27. 6. 25	トライボロジーの常識を越える～省エネルギーから安全まで～	岩手大学 名誉教授	森 誠之	34 (9)
27. 7. 4	磁気化学を基盤とした先端記憶材料の開発	東京大学大学院 理学研究科 教授	大越 慎一	33 (6)
	進化する磁気テープメディア	富士フイルム (株) 記録メディア研究所	佐藤 理英	
27. 7. 23	ファインセラミックス用ジルコニア	東ソー (株) 南陽工場	松井 光二	35 (1)
	港区長の行政改革と技術革新	(株) エス・イー・シー 計画事務所 / 早稲田大学 技術士会 会長	原田 敬美	
27. 8. 27	グリーン水素社会への展望	横浜国立大学大学院 名誉教授	太田健一郎	40 (4)
27. 9. 24	我が国のエネルギー需給構造と石油会社の取組み	JX 日鉱日石エネルギー (株) 中央技術研究所長	五十嵐仁一	40 (2)
	計算機でプロセスを透視する～重箱の隅から大風呂敷まで～	三菱化学 (株) 四日市事業所	香川 浩哉	
27. 11. 26	モーターポンプ ATP 合成酵素の機能と制御	京都産業大学 教授	吉田 賢右	31
	火災・爆発事故を起こした RDF 貯蔵槽の技術的検証と企業倫理・技術者倫理	名古屋大学 名誉教授	中村 正秋	
27. 11. 28	企業内技術士にとっての CPD とは？	グループディスカッション		20
27. 12. 17	バイオミメティクスの産業利用促進～世界動向と日本の課題～	高分子学会 事務局長	平坂 雅男	40 (4)
	フッ素材料の分析・解析	米森技術士事務所	米森 重明	
28. 1. 28	地球温暖化予測の現状とこれから	東京大学 教授	渡部 雅浩	49 (2)
	化学物質管理のためのリスク評価・リスク管理概論	(有) 相模ソリューション	伊藤 雄二	
28. 2. 25	時間軸を含む LCA と 21 世紀のエネルギー戦略	東京大学 名誉教授	御園生 誠	48 (5)
28. 3. 24	低品位炭素資源から化学原料への転換をめざしたメタンからプロピレン生成反応	東京工業大学 教授	馬場 俊秀	38 (1)
	スーパーアトムシンセサイザー～デンドリマー活用による超原子合成～	東京工業大学 教授	山元 公寿	



### 繊維部会

27. 4. 11	最近の繊維製品のクレーム事例について	東京都立産業技術研究センター 生活技術開発セクター 研究員	池田 善光	15 (2)
27. 7. 17	花王(株)企業理念とすみだ事業場の事業活動について	花王(株)すみだ事業場 すみだSC・品質保証本部	石田 晴香	17 (2)
27. 8. 1	燃料電池について	神奈川県産業技術センター 主任研究員	国松 昌幸	24 (3)
27. 10. 17	医療材料分野への繊維の新展開	八木技術士事務所 所長	八木 健吉	64
27. 11. 14	超微細インクジェット技術 -産総研技術移転ベンチャーによる実用化の試み-	(株)SIJ テクノロジ 代表取締役社長	村田 和広	17 (3)
27. 12. 12	MADE IN JAPAN の再生へ -日本政府の政策と現実、今後の課題-	経済産業省 製造産業局 繊維課長	寺村 英信	16 (2)
28. 1. 30	播州織産地における繊維製品の鮮度を見据えた新展開	兵庫県立工業技術センター 繊維工業技術支援センター 所長	古谷 稔	16 (2)
28. 3. 16	(株)田原屋の事業内容と技術的課題 -店頭SP製作物に関するワンストップ化の構築-	(株)田原屋 代表取締役	田原 績	17 (2)

### 金属部会

27. 4. 15	金属学の最近の進歩と今後の展望	新日鐵住金(株) 機密製鐵所 品質管理部 一貫品質企画室 室長	田中 和明	31 (9)
27. 5. 20	工作機械による金属除去加工	キヤノン(株)	島崎 安隆	25
27. 6. 17	銅めっき技術~プリント基板から半導体まで~	木藤技術士事務所 所長	木藤 茂	29
27. 7. 15	精密鍛造ベルギヤの実際	菱栄金属(株) 社長付き	平田 一成	31
27. 9. 16	ディスプレイ・半導体産業における表面処理技術の進展と展望	凸版印刷(株) マテリアルソリューション事業本部	大藪 剣吾	25
27. 11. 18	アジアでのモノづくり	(株)本田技研 汎用 R&D センター 第一開発室 PU/MRN 研究ブロック 主任研究員	石田 正雄	24
28. 2. 17	電解用電極と最新の製造方法について	デノラベルメレック(株) 技術部 グループリーダー	竹内 篤実	25

### 資源工学部会

27. 4. 7	新しい環境浄化材料の開発	(株)環境浄化研究所 社長	須郷 高信	15 (6)
27. 6. 9	水素エネルギーと水素社会について	イー・エナジー(株) チーフ・エキスパート	上野 修一	25 (3)
27. 9. 8	再エネを取巻く現状と太陽光発電の現状・導入事例	富士・古河 E&C(株) 太陽光発電事業部、技術部担当部長	清水 俊二	15 (1)

27. 10. 13	国内休廃止金属鉱山の管理状況と課題	三菱マテリアル(株) 環境・CSR部環境管理室グループ長	河村 裕二	15 (2)
27. 12. 12	持続型社会を担う水素エネルギー	横浜国立大学 名誉教授	太田健一郎	8
28. 2. 9	石炭地下ガス化の技術開発の現状	地下資源イノベーションネットワーク 理事長	出口 剛太	12

#### 建設部会

27. 4. 22	道路空間のオープン化	(一財)日本みち研究所 上席主任研究員	見明 孝徳	33 (1)
27. 6. 17	都市域の斜面災害	京都大学 防災研究所 斜面災害研究センター 教授	釜井 俊孝	49 (2)
27. 7. 22	火山噴火予知と火山防災について	防災科学研究所 地震・火山防災研究ユニット 副ユニット長	棚田 俊收	107 (10) (内 WEB参加者 61名)
27. 9. 9	地球観測衛星データの利用について (見上げる宇宙から利用する宇宙へ)	(国研法)宇宙航空研究開発機構 衛星利用運用センター 主幹開発員	富井 直弥	28 (1)
27. 10. 21	移動体データを活用した交通状況モニタリング	東北大学大学院 情報科学研究科 教授	桑原 雅夫	31 (3)
27. 11. 18	ストックマネジメント技術の現状と今後の動向	東京大学大学院 教授	小澤 一雅	117 (11) (内 WEB参加者 63名)
27. 12. 16	ダムは無駄か	次期土木学会長/鹿島建設(株) 代表取締役副社長 執行役員	田代 民治	65 (10)
28. 1. 20	建設コンサルタントの現状と技術士会に望むこと	(一社)建設コンサルタンツ協会 会長	長谷川伸一	64 (12)
28. 2. 17	最近の発破解体のシミュレーション	つくば市 シニアエキスパート/愛媛大学 名誉教授	勝山 邦久	25 (1)

#### 上下水道部会

27. 5. 16	水道行政の現状と課題	厚生労働省 健康局 水道課 課長補佐	磯部 良太	67 (8) (内 WEB参加者 26名)
27. 7. 16	水道用バルブの歴史的な話	元前澤工業(株) 顧問、元水道バルブ工業会 顧問	沼田 真人	48 (10) (内 WEB参加者 18名)
27. 8. 22	中国本部上下水道部会設立記念講演会			19 (2) 中国本部 主催 WEB参加
	人口減少時代の上下水道	鳥取大学 理事・副学長	細井 由彦	
	広島市 8. 20 土砂災害被害について	広島市 下水道局 計画調整課 課長補佐	小笹山秀夫	
	水みらい広島の設立経緯と今後の展望	(株)水みらい広島 事業推進部 部長	松延 紀至	

27. 10. 1	小水力発電を核とする再生可能エネルギー利用と地域活性化	富山国際大学 現代社会学部 教授	上坂 博亨	31 (4)
	富山県の下水道事業と下水道資源の有効利用	富山県土木部都市計画課下水道班班長	米田 吉博	
27. 10. 29	下水処理場の危機管理	環境システム計測制御学会 名誉会員 (元同学会副会長、元東京都施設管理部長)	中里 卓治	47 (6) (内WEB参加者13名)
28. 3. 19	水処理技術の Techno-diversity と膜ろ過技術	中央大学 研究開発機構 教授 (元北海道大学 工学研究科 教授)	渡辺 義公	64 (20) (内WEB参加者19名)

### 衛生工学部会

27. 4. 16	産廃放談：廃棄物指導行政経験と法制研究の立場から	横浜市 都市整備局	黒澤 之	21
27. 5. 21	ガスの測定技術とその応用についてー検知管法を用いた実用例ー	光明理化学工業(株) 本社営業部 課長	山崎 正彦	18
27. 10. 1	小水力発電を核とする再生可能エネルギー利用と地域活性化	富山国際大学 現代社会学部 教授	上坂 博亨	30
	富山県の下水道事業と下水道資源の有効活用	富山県 土木部都市計画課下水道班班長	米田 吉博	
27. 10. 15	建築における緑化(屋上緑化・緑のカーテン)に関する研究	東洋大学 教授	小瀬 博之	22
27. 11. 19	水素開発の動向と建築設備用水素エネルギー利用システムの紹介	高砂熱学工業(株) 技術本部 技術研究所	加藤 敦史	29
27. 12. 17	地中熱利用システムの最新動向と施工事例	三菱マテリアル(株) 資源・環境・EcoE-事業部/工学博士	石上 孝	30
28. 2. 18	水道水の検査方法の改正・開発および精度管理・日常業務確認調査について	桐生大学短期大学部 教授	高橋 淳子	30
28. 3. 17	ビルにおける生ごみや厨房排水処理汚泥を利用したバイオガス発電(あべのハルカス導入事例)	(株)竹中工務店 環境エンジニアリング本部	加藤 利崇	27

### 農業部会

27. 4. 4	バイオマス資源の利活用とバイオマス発電について	公益財団法人 日本肥糧検定協会	今井 伸治	64 (10)
	飯館村民の放射能汚染実態と除染評価及び村民の生活再建支援研究	日本大学 生物資源科学部 教授	糸長 浩司	
	新たな「食料・農業・農村基本計画」について	農林水産省 大臣官房 政策課 企画官	梅下 幸弘	
27. 6. 6	技術士と海外活動ー技術移転の現状と課題を探るー	食品流通アドバイザー/田中技術士事務所 代表	田中 好雄	23 (2)
	APEC エンジニアについて	日本技術士会 副会長	鮫島 信行	
	APEC エンジニアとしての海外業務ータイの鶏肉の生産状況と日本への輸出ー	磯部技術士事務所 所長	磯部 禎夫	

26. 8. 1	私の英語・私と英語	安東技術士事務所 所長	安東 和彦	31 (1)
	地理的表示法について	農林水産省 食料産業局 新事業創出課長	坂 勝浩	
27. 12. 5	残留農業の基準設定および検査体制について	首都大学東京	橋本 良子	27 (1)
	JA 改革と TPP 交渉	農政ジャーナリストの会 会長 (共同通信社編集委員兼論説委員)	石井 勇人	
28. 2. 6	温暖化による温度上昇が野菜・果樹に及ぼす影響と対策	一般社団法人 日本施設園芸協会 業務部長	大橋 透	58 (4)
	最近の農業技術開発の方向と展望	農林水産省 農林水産技術会議事務局 研究企画課長	寺田 博幹	
	アグリビジネス企業の役割と国際標準GAP	シンジェンタジャパン(株) 社長付スチュワードシップ推進	今瀧 博文	

#### 森林部会

27. 4. 20	今や盆栽は世界に－世界盆栽大会の開催－	世界盆栽友好連盟大会 委員長	加藤 初治	119 (49)
	樹木再生－公園、庭園の名木 3000本の再生－	リバイブ・グリーン福楽商店 社長	福楽 善康	
27. 6. 17	新潟県における歴史的な地すべり対策事例	坂井技術士事務所	坂井 俊介	51 (10)
	由比の治山技術－重要な保全対象を護る由比直轄地すべり技術について－	公益社団法人 森林保全・管理技術研究所 主任研究員	内田 勉	
27. 9. 18	菌類を活用したスギ及びヒノキ花粉飛散防止技術野実用化に向けて	国立開発研究法人 森林総合研究所 多摩森林科学園 園長	窪野 高德	32 (8)
27. 11. 27	森林総合監理士の育成とその活動の促進について	林野庁 森林整備部 研究指導課 森林・林業技術者育成対策官	松本 純治	35 (12)
	原木の安定供給の意義と課題	林野庁 森林整備部 研究指導課 首席研究企画官	堀 靖人	
28. 2. 24	最近のキノコを巡る状況と課題	東京農業大学 教授	江口 文陽	34 (9)

#### 水産部会

27. 5. 9	イセエビ類幼生の謎？そしてその飼育技術とは！	国立研究開発法人 水産総合研究センター 研究推進部 室長	村上 恵祐	21 (1)
27. 7. 4	水産・海洋の今後の在り方と魚類養殖技術開発の話題	東京海洋大学 学長	竹内 俊郎	21
27. 9. 5	海洋の光・濁り環境と水産生物	東京海洋大学大学院 教授	荒川 久幸	23 (1)

27. 11. 14	技術者と科学者の違い～個人的な経験から～	東京大学大学院 教授	黒倉 壽	30 (1)
	モルディブ国における水産開発計画の策定	インテムコンサルティング(株)	土居 正典 越後 学	
	アマモ場再生活動による市民への環境学習と活動の実際	金沢八景－東京湾アマモ場再生会議	田角 由香	
	黒瀬水産(株)における新入社員養殖研修	(株)西南水産	竹下 朗	
	防災クイズで地域の人々の防災意識を高める	(株)センク21	丹羽 真	
	環境面から見た霞ヶ浦漁業の現状と課題	茨城県 水産試験場	岩崎 順	
	魚の残滓や未利用魚の可食化について	林技術士事務所E&H-i	林 英一	
28. 1. 9	サメ皮の研究、水産と絡めて	東京農工大学 農学部 教授	野村 義宏	20 (2)
28. 3. 5	近海かつお・まぐろ漁業について	一般社団法人 全国近海かつお・まぐろ漁業協会 代表理事専務	納富 善裕	16

#### 経営工学部会

27. 4. 23	「岩手三陸協力WG」の活動報告	経営工学部会 岩手三陸協力WG	室橋 雅彦	41 (2)
	住田町の林業、被災地復興、地方創生	岩手県 住田町町長	多田 欣一	
27. 6. 3	ASEAN 経済共同体 (AEC) 発足と日本企業の対応	(独) 日本貿易振興機構 海外調査部 国際経済研究課長	椎野 幸平	44 (1)
27. 8. 29	「サービス産業チャレンジプログラム」について	経済産業省 商務情報政策局 サービス政策課 企画・調査係長	大河内雅之	62 (3)
	日立製作所の Iot 活用の取り組み	(株)日立製作所 モノづくり戦略本部 担当本部長	堀水 修	
27. 10. 7	OR 研究開発及び利用の進化と現状	(株)SK物流技術研究所 代表取締役	中澤喜久雄	41 (1)
	OR のビジネス活用事例紹介	日本電信電話(株) ネットワーク基盤技術研究所	佐竹 孝	
28. 2. 6	グローバル化に伴うモノづくりの教訓	(有)C&Dテクノ 代表取締役	原田 武重	54 (3)
	東芝グループにおける IE 人材の育成と活用	(株)東芝 生産技術統括部 モノづくり人材開発室長	高田 淳	
	経営工学の考え方と学校教育・キャリアパス	成蹊大学 理工学部 名誉教授	渡邊 一衛	

情報工学部会

27. 4. 17	社会変革を加速する情報システム、求められる技術者の姿とは	(株)日立製作所 主任技師	川村 智	50 (22)
27. 5. 27	監視カメラでの人追跡	総合警備保障 (株)	岡田亜沙美	57 (1)
27. 6. 26	Web マーケティングと法的リスク	コスモポリタン法律事務所 (弁護士)	平野 敬	59 (2) (内 WEB 参加者 14名)
27. 8. 27	アジャイル開発とスクラム～顧客・技術経営をつなぐ協調的マネジメントアジャイル開発とスクラム～	(株)チェンジビジョン 社長	平鍋 健児	76 (7) (内 WEB 参加者 14名)
27. 9. 29	技術士の基本知識としたい「政府情報システムの整備及び管理に関する標準ガイドライン」	東京工業大学 ソリューション研究機構 特任教授	岩丸 良明	58 (5) (内 WEB 参加者 6名)
27. 10. 1	情報化と海外誘客施策	富山県庁 情報政策課 課長	荻布 彦	31 (20)
27. 10. 27	IoTのこれまでからとこれから	沖電気工業 (株)	川本 康貴	76 (7)
27. 11. 12	東証株式売買システム arrowheadに係る、テクノロジー・開発態勢	(株)東京証券取引所 課長	細川 健一	31 (4)
28. 1. 30	情報システムのボタンライティングとその応用	(株)情報システム総研 社長	児玉 公信	20 (2)
28. 2. 19	修習技術者から技術士への道	平成 26 年度 第二次試験合格者	雑賀 充宏	64 (30)
			中野 澄人	
			平田 俊明	
28. 3. 5	Work-Style for Innovation	(株)シグマクシス 副社長	清水 照雄	95 (9) (内 WEB 参加者 30名)
	超スマート社会を実現する次世代高度 IT 人材	情報処理学会	旭 寛治	
	建設コンサルタントが考える社会資本の安全・安心を取り戻すための一提言	八千代エンジニアリング (株)	吉野 博之	

応用理学部会

27. 4. 21	応用理学部会の紹介	日本技術士会 応用理学部会長	木寺 幸司	29 (1)
	技術士第二次試験の合格体験記・YES-Metals!の紹介	キヤノン (株)	島崎 安隆	
	合格体験談 意思の上にも	国際航業 (株)	小早川雅行	
	技術士二次試験合格までの道のり	パシフィックコンサルタンツ (株)	田村友紀夫	

27. 5. 19	海溝型巨大地震の実態解明と予測システム構築	国立研究開発法人 海洋研究開発機構	小平 秀一	36 (1)
27. 6. 16	リチウムイオン二次電池の安全化技術	渡辺春夫技術士事務所	渡辺 春夫	27
27. 6. 18	広島土砂災害現地調査報告会 (WEB 聴講：中国本部主催)			
	広島土砂流災害から学ぶこと	日特建設 (株)	上野 雄一	34 (3)
	複雑な土石流形態から被害拡大要因を探る	(株) ジオブレイン	小林 昇	
	土石流の発生源の形態から見た土砂災害リスク	(株) ダイヤコンサルタント	矢ヶ部秀美	
	広島土砂災害における八木3丁目の土石流	復建調査設計 (株)	中井 真司	
	広島土石流災害視察報告	(株) ワールド測量設計	花本孝一郎	
	広島土砂災害と斜面維持管理の話題	愛媛大学	廣田 清治	
	広島土石流災害の流出土砂量の推定	(株) 芙蓉コンサルタント	須賀 幸一	
既設治山ダムの評価と一考察	(株) 和コンサルタント	菊池 昭宏		
27. 7. 21	《文化機関》としての企業がどうして求められるのか	PAOS グループ	中西 元男	18
27. 8. 18	ヴァイオリン演奏に関する実験科学からのアプローチ弦の振動からコンサートホールでの実験まで	国立大学法人 東京工業大学	松谷 晃宏	26
27. 9. 7	気象現象を読み解く	日本教育大学院大学	武田 康男	32 (2)
27. 10. 3	2015' 応用理学部会 in 富山 (第42回技術士全国大会)			
	伝統工法「しがら組み」による市民治山への取り組み又は里山再生プロジェクト	京福コンサルタント (株)	鳥居 直也	30 (8)
	富山の地質と自然災害	国立大学法人 富山大学	柏木 健司	
27. 11. 17	応用理学部会員の活動事例紹介～第一線で活躍の3例紹介～			
	地震防災システムのコンサルティング	三菱スペース・ソフトウェア (株)	下野 五月	19
	地理空間情報の活用 (社会インフラ管理、自治体情報の共有)	国際航業 (株)	小出 和政	
土砂災害調査に従事して	川崎地質 (株)	栃本 泰浩		
27. 12. 12	持続型社会を担う水素エネルギー	国立大学法人横浜国立大学	太田健一郎	45

28. 1. 19	2016 年日本技術士会の取り組み	日本技術士会理事	柴田 悟	24 (2)
	トンネルでの 3D 計測事例の紹介	(株) 小林コンサルタント	田嶋 誠司	
	UAV の概要とデジタル加工を用いた高精細 3 次元点群生成ソフトの紹介	国際航業 (株)	村木 広和	
28. 2. 16	世界における測量技術者の高年齢化と課題・取組について～世界測量者連盟における青年ネットワーク～	日本土地家屋調査士会連合会	藤井 十章	22

### 生物工学会

27. 4. 11	フリーのお母さん技術士としての活動～専門家と一般市民の溝を埋めるための活動～	山村技術士事務所 代表	山村 裕美	41 (9)
	世界初 カフェインゼロの緑茶飲料の開発	キリン(株) 飲料技術研究所	塩野 貴史	
27. 6. 13	大学におけるリサーチツール (研究材料) の授受管理、法令遵守そして活用	九州大学 教授	深見 克哉	34
27. 7. 24	花王の環境への取り組み	花王(株) エコラボミュージアム館長	脇坂 達司	26 (1)
27. 10. 17	医工連携が拓く再生医療	大阪大学准教授	齋藤 充弘	66 (内 WEB 参加者 6 名)
	医療研究機関での取り組み事例と必要とされる人材像について～医療機器開発の観点から～	国立循環器病研究センター 知的資産部 事業化戦略室長	赤川 英毅	
	医工連携の一例～セルーション遠心分離器を用いた再生医療の現状	サイトリ・セラピューティクス 学術部	戸高 宏	
	技術士の皆さん、力を貸してください!	NPO 法人 医工連携推進機構 客員研究員	吉川 典子	
	人材育成における技術士と大学教育の連携～繊維系三大学連携事業の取り組み事例～	福井大学 准教授	藤田 聡	
	医療材料分野への繊維の新展開	一般社団法人 日本繊維技術士センター 副理事長	八木 健吉	
27. 12. 5	重金属を含む排水の微生物処理の技術と事例	三菱重工業(株) 総合研究所 上席主任	小串 泰之	33 (3)
	Streptomyces aureofaciens におけるクロロテトラサイクリン生合成系の代謝改変の試み	協和発酵バイオ(株) 技術開発部	中野 哲郎	
	有用物質を生産する海の微生物 “ラピリンチュラ” の魅力とその可能性	独立行政法人 製品評価技術基盤機構 バイオテクノロジーセンター 研究員	関本 訓士	
28. 2. 13	女性の技術者が企業で働くということについて	三井製糖(株) 商品開発部	永井 幸枝	53 (17)
	産業用酵素の開発とその応用	天野エンザイム(株) 産業用酵素開発部 上席専門研究員	豊増 敏久	



28. 2. 27	バイオ技術と活性炭による環境浄化技術「OIL BACT 工法」の開発	大和ハウス工業(株) 総合技術研究所	川越 大樹	26 (10)
	高速嫌気処理法(UASB法)を工場排水へ普及させるための技術的検討	倉敷紡績(株) エンジニアリング部 係長	荒川 博邦	

### 環境部会

27. 5. 28	平成 27 年度 環境省重点施策について	環境省 大臣官房政策評価広報課課長補佐	眼目 佳秀	31
27. 6. 25	ウォーターフットプリントについて	東京都市大学 環境学部 教授	伊坪 徳宏	21 (2)
27. 8. 27	【技術情報交流会】(参加者から話題提供)			20
	工作機械の環境問題	機械部門	渡部 厚夫	
	廃プラスチックリサイクルの取組	機械部門	杉原 元雄	
	P C B 廃棄物処理の現状と P C B 総合ビジネスの業務概要	応用理学部門	佐伯 佳美	
27. 9. 24	再エネを取り巻く現状と太陽光発電の課題・今後の動向	環境部門	清水 俊二	18
	身近なハザード：アスベスト／環境専門家は従業員や一般の人々をアスベスト暴露から守れるか？	(株)EFA ラボラトリーズ 取締役	亀元 宏宣	
27. 10. 1	小水力発電を核とする再生可能エネルギー利用と地域活性化	富山国際大学 現代社会学部 教授	上坂 博亨	31 (4)
	富山県の下水道事業と下水道資源の有効利用	富山県 土木部 都市計画課 下水道班長	米田 吉博	
27. 10. 22	里山及び里山保全活動について	特定非営利活動法人 ちば里山センター	伊藤 道男	26 (1)
27. 11. 26	温暖化対策と環境未来都市横浜の取組み	横浜市 温暖化対策統括本部 環境未来都市推進担当理事	信時 正人	30 (2)
27. 12. 17	【情報交流会】(参加者から話題提供) 及び【忘年会】			21
	地産地消・池産地消	環境部門	高橋 弘二	
	ラグビー	環境部門	新田 武明	
28. 1. 28	COP21 パリ会議の温暖化対策合意内容と将来	公益財団法人 世界自然保護基金ジャパン 気候変動・エネルギーグループ	池原 庸介	42 (4)
28. 2. 23	環境社会配慮について	山梨県立大学 国際政策学部 教授	二宮 浩輔	21 (2)
28. 3. 8	環境ブランド調査の結果などからみる企業の環境コミュニケーション	日経BP社 ビジネス局 環境経営フォーラム事務局長	斎藤 正一	21 (1)

原子力・放射線部会

27. 6. 19	福島放射線リスク・リスクゼロの誘惑	独立行政法人 産業技術総合研究所 フェロー	中西 準子	42 (2)
27. 7. 24	第一原子力発電所事故に関する放射線防護上の課題と提言	一般財団法人 電力中央研究所 原子力技術研究所 放射線安全研究センター 副センター長	服部 隆利	48 (1)
27. 9. 25	一般人のリスク認知と専門家のリスク評価の齟齬	同志社大学 心理学部 教授	中谷内一也	51 (3)
27. 11. 20	原子力技術の信頼性を回復するには？	国立研究開発法人 科学技術振興機構 ImPACT プログラム マネージャー、前日本原子力学会会長	藤 玲子	50 (2)
28. 1. 15	安全文化に関する意見交換	原子力・放射線部会員	畑 孝也	28 (7)
		原子力・放射線部会員	桑江 良明	
		原子力・放射線部会員	雨夜 隆之	
		国立研究開発法人 日本原子力開発研究機構	渡辺 文隆	
28. 3. 4	住民目線のリスク・コミュニケーションを考える (2) 事例研究	原子力学会倫理委員長	大場 恭子	23 (2)

## 資料 45 部会における見学会

※右欄の数字は参加者数、( )はそのうち一般の参加者数を示す

機械部会	27. 11. 23	東日本金属(株) 及び (株) ミヨシ	12
電気電子部会	27. 5. 14	筑波宇宙センター (宇宙航空研究開発機構 (JAXA))	38
	27. 6. 9	海洋研究開発機構 横須賀本部 施設見学	56
	27. 9. 24	JAL 工場見学	71
	27. 10. 1	富山ライトレール(株) 車両基地 施設見学	17
	27. 11. 11	東京海洋大学 越中島キャンパス 急速充電対応型電池推進船	37
化学部会	27. 4. 23	国立研究開発法人 産業技術総合研究所 (福島再生可能エネルギー研究所)	26
	27. 10. 22	国立研究開発法人 海洋研究開発機構 (JAMSTEC) 追浜	27
繊維部会	27. 7. 17	花王(株) すみだ事業場	17 (2)
	28. 3. 16	(株) 田原屋 本社工場・八潮工場	17 (2)
金属部会	28. 3. 31	国立研究開発法人 物質・材料研究機構	2 (1)
資源工学部会	27. 5. 19	(株) 昌和プラント 厚木工場 及び 田中金属工業(株) 湘南工場	13 (1)
建設部会	27. 5. 15	臨海部における再開発事業の現況と地域冷暖房システム見学 (UR 都市再生機構 晴海アイランドトリトンスクエア内)	24 (3)
	27. 8. 21	首都高晴海線橋梁架設工事 見学	26 (1)
上下水道部会	27. 6. 7 ～ 6. 13	ラオス海外視察 ①JICA ラオス事務所で MaWaSU プロジェクトの説明 ②ピエンチャン市チナモイ浄水場、ドンマカイ浄水場、ナムグム川取水地点、研修センター視察 ③水道公社直営のボトリング工場、水道メーター検定施設見学 ④ピエンチャン市ごみ処分場視察 ⑤ルアンパバーン水道公社訪問 ⑥ルアンパバーンのプーブン浄水場、Thai Asia 用水供給事業浄水場 (PPP 案件) 視察 ⑦その他：ピエンチャン凱旋門、シサケット寺院、ルアンパバーンの早朝托鉢、王宮博物館等を見学	20 (2)
	27. 12. 14	利根川東遷物語探索ツアー (利根川大堰、カリーン台風決壊記念碑、権現堂調整池、関宿閘門、首都圏外郭法水路)	41
衛生工学部会	27. 6. 18	東京ガス(株) 扇島工場 LNG 基地	23
	27. 7. 16	第二伊地山一般廃棄物最終処分場 (被覆型最終処分場)	20
	27. 9. 17	虎ノ門ヒルズ	29

農業部会	27. 10. 30	カゴメ(株)那須工場、国立研究開発法人 農業・食品産業技術総合研究機構畜産草地研究所(那須研究拠点)、那須野が原博物館(研修講演 農業生産法人(株)ジーワン社長): 栃木県那須塩原市	39 (5)
経営工学部会	27. 7. 3	(株)浜野製作所 本社工場(墨田区)	24
	27. 11. 5	ペトリファインテクノロジー(株)(川崎市)及び東京ガス(株)千住テクノステーション(荒川区)	22
情報工学部会	27. 7. 11	ヤマト運輸 羽田クロノゲート	31 (1)
	27. 10. 1	富山県警察本部	11
応用理学部会	27. 9. 28	一般財団法人電力中央研究所	16 (2)
生物工学部会	26. 7. 24	花王(株) エコラボミュージアム	25
環境部会	27. 7. 25	ジャパンバイオエナジー(株)及びキリンビール(株)横浜工場ピアビレッジ	27 (2)
原子力・放射線部会	27. 5. 15	国立研究開発法人 日本原子力研究開発機構 高速増殖原型炉もんじゅ	24
	28. 1. 29	(株)千代田テクノル 大洗大貫台事業所 ラディエーションモニタリングセンター	24 (1)

資料 46 地域本部における主な講演会等

※右欄の数字は参加者数、( )はそのうち一般の参加者数を示す

北海道本部

	第3回地域産業活性化支援事例発表会 (WEB 参加)			
	平成 27 年度 中小企業支援施策・予算と平成 26 年度 補正予算について	中小企業庁 技術・経営革新課 課長	平井 淳生	
	地産地消の小水力発電～農林業地域の再生可能エネルギーの現状～	アサンテ環境研究所 所長	竹尾 敬三	
	簡易積雪観測システム『かんそくん』(鳥取県経営革新大賞企画デザイン賞) の開発支援	(株)ジーアイシー 代表取締役	桜井 博幸	
27. 4. 14	神奈川県支部：第2回地域産業活性化研究会 in 大和	日本技術士会 神奈川県支部長	神戸 良雄	12 (7)
	埼玉県支部：第2回彩の国産業活性化交流会	日本技術士会 埼玉県支部長	渡辺 孫也	
	茨城県支部：開催計画内容報告	日本技術士会 茨城県支部長	本田 永信	
	サービス産業のイノベーションに向けて～サービス産業の実情とセルフチェックリストによる経営革新・私の支援活動～	山根技術士事務所 代表	山根 幹大	
	地理情報活用により地域経済の活性化をめざす	オリーブ技術士事務所 代表	山下 敦彦	
27. 4. 24	橋梁の維持管理について	(株)タナカコンサルタント 専務取締役	田中 雄太	25 (9)
27. 4. 25	技術士を巡る動向	日本技術士会 北海道本部 事務局長	森 隆広	38 (17)
	土砂災害の基礎知識	北海道開発局 旭川開発建設部 次長	小林 幹男	
	中高年男性の泌尿器科	医療法人 神楽岡泌尿器科 院長	渋谷 秋彦	
27. 5. 13	平成 26 年広島災害からみた北海道の土砂災害	(株)ドーコン 環境事業本部 技術顧問	田近 淳	52 (5)
27. 5. 15	日本海に面した道道での越波防止柵と消波ブロックを併用した越波対策工法の計画・設計および施工計画の立案	(株)東鵬開発	原田 雄一	26 (5)
	技術士を巡る動向	日本技術士会 北海道本部 事務局長	森 隆広	

	第6回技術者倫理フォーラム			
27. 5. 22	「安楽死と倫理」ープロセスとしての終末期医療ー	札幌医科大学 医療人育成センター 講師	船木 祝	74 (20)
	旭川高等専門学校における共同授業について	日本技術士会 北海道本部 倫理委員会 委員長	今井 淳一	
	リスクアセスメントと技術者倫理	日本技術士会 北海道本部 倫理委員会 委員	川浦 広樹	
日本技術士会 北海道本部 倫理委員会 委員		立花 邦雄		
27. 5. 22	水産物の鮮度保持技術について	北海道立総合研究機構 水産研究本部 中央水産試験場 加工利用部長	木村 稔	43 (28)
27. 5. 22	ベトナムのインフラ整備状況・東北震災復興状況	北見工業大学	大島 俊之	80 (60)
27. 5. 29	私たちの暮らしと地球温暖化～IPCC AR5から～	北海道立総合研究機構 環境・地質研究本部 環境科学研究センター環境保全部 地球・大気環境グループ 主査	芥川 智子	53 (33)
	漁港法の変遷について～将来展開を考える参考に～	北海道開発局 農業水産部 水産課 課長	浅川 典敬	
27. 6. 10	地球シミュレータ最大活用で拓く『海洋地球インフォマティクス』	国立研究開発法人 海洋研究開発機構 地球情報基盤センター長	高橋 桂子	201 (26)
27. 6. 13	クロスロードゲーム手法を用いたワークショップ	一般社団法人 北海道開発技術センター 研究員	中前 千佳	30 (17)
27. 6. 18	広島土砂災害現地調査報告会 (WEB 参加)			4 (2)
	広島土砂流災害から学ぶこと	日特建設 (株)	上野 雄一	
	複雑な土石流形態から被害拡大要因を探る	(株) ジオブレイン	小林 昇	
	土石流の発生源の形態から見た土砂災害リスク	(株) ダイヤコンサルタント	矢ヶ部秀美	
	平成26年8月広島土砂災害における八木3丁目の土石流	復建調査設計 (株)	中井 真司	
	広島土石流災害視察報告	(株) ワールド測量設計	花本孝一郎	
	広島土砂災害と斜面維持管理の話題	愛媛大学	廣田 清治	
	広島土石流災害の流出土砂量の推定と愛媛県における計画流出土砂量の比較	(株) 芙蓉コンサルタント	須賀 幸一	
既設治山ダムの評価と一考察	(株) 和コンサルタント	菊池 昭宏		

27. 6. 19	北海道におけるスマートシティ」	(株)KITABA 代表取締役社長	酒本 宏	16 (7)
27. 7. 10	仮設工計画の実例紹介と問題点	(株)エジソンブレイン 代表取締役	奈良 哲男	23 (13)
27. 7. 17	水素社会北海道の実現に向けて	北海道環境生活部環境局地球温暖化対策室 主幹	高橋 奉己	22 (2)
27. 7. 21	北の大地に魅せられた男～日本のウイスキーの父 竹鶴政孝～	ニッカウヰスキー(株) 理事工場長	西川 浩一	34 (13)
建設部会7月講演会 (WEB参加)				7
27. 7. 22	火山噴火予知と火山防災について	国立研究開発法人 防災科学技術研究所 観測・予測研究領域 地震・火山防災研究副ユニット長 総括主任研究員	棚田 俊收	
27. 7. 27	再生可能エネルギー・水素利用による北海道経済の活性化	北海道大学 教授	近久 武美	9
8月度技術士 CPD ミニ講座 (WEB参加)				12 (3)
27. 8. 19	管理型最終処分場における現状と課題	ダイユウ技研土木(株) 技術顧問	檜垣 光次	
27. 8. 25	デジタル地理情報の地形学と土砂災害への応用	東京大学空間情報科学研究センター長、教授	小口 高	95 (30)
	防災マップにおける地図表現と手法	北海道地図(株) 開発企画室室長	関 洋祐	
27. 8. 28	コンクリートができること	北海道立総合研究機構 建築研究本部 北方建築総合研究所 環境研究部 建築技術グループ 主査(建築保全)	谷口 円	41 (23)
	近年の北海道近海の海象の特徴—異常海象と防災—	北海道大学 工学研究院 環境フィールド工学部門 水圏環境工学分野 准教授	渡部 靖憲	
27. 9. 9	技術者倫理を考える	日本技術士会 北海道本部 倫理委員会 委員長	今井 淳一	16 (7)
27. 9. 25	北海道における中小水力発電の可能性について	北海道文教大学 非常勤講師	宮本 融	28 (4)
27. 10. 1	近年の高水温化が北海道の水産資源に与える影響	北海道立総合研究機構 栽培水産試験場 調査研究部管理増殖グループ 研究主任	城 幹昌	33 (21)
	室蘭地域マリンビジョン ～取り組みと改訂について～	室蘭開発建設部 室蘭港湾事務所 所長	森 信幸	
	水産業の海外展開に向けて	室蘭工業大学 地域共同研究開発センター 准教授	片石 温美	
27. 10. 5	トヨタ自動車 MIRAI と TOYOTA のスタンス	札幌トヨタ 特販部 次長	岡田 高一	10 (1)

27. 10. 7	平成 24 年 7 月改定 道路土工擁壁工指針の改訂と実運用について	(株) 東鵬開発	田口 謙一	29 (19)
	平成 24 年 8 月改訂 道路土工軟弱地盤対策工指針の改定ポイントと実運用について	(株) 東鵬開発	楢山 透	
27. 10. 16	粘菌～偉大なる単細胞が人類を救う～	北海道大学 電子科学研究所 生命動態研究分野 教授	中垣 俊之	87 (40)
27. 11. 13	伝える、伝わる。～実体験から学ぶ、心を動かすコミュニケーション～	(株) FOOD VOICE 代表取締役	今野 徹	40 (31)
27. 11. 16	技術支援基礎講座 (WEB 参加)			9 (3)
	JIS, 法文書など公文書の書き方—複数人執筆の基準—	元 JISC 情報部会 規格調整臨時委員	若鳥 陸夫	
27. 11. 18	建設部会 11 月講演会 (WEB 参加)			13 (6)
	ストックマネジメント技術の現状と今後の動向について」	東京大学大学院 工学系研究科 社会基盤学専攻 教授	小澤 一雅	
27. 11. 27	北海道新幹線開業による道央圏への影響について	一般社団法人 北海道開発技術センター	長谷川哲也	13 (6)
27. 12. 4	オホーツク海における海岸道路の盛土被害の発生条件と対策の検討	国立研究開発法人 土木研究所 寒地土木研究所 寒地水圏研究グループ 寒冷沿岸域チーム 研究員	本間 大輔	57 (34)
	寒冷海域における沿岸施設の保護育成機能の解明に関する研究	国立研究開発法人 土木研究所 寒地土木研究所 寒地水圏研究グループ 水産土木チーム 主任研究員	佐藤 仁	
	防波堤を越流する津波に対するブロックの安定性と滑動抵抗力の検討	(株) 不動テトラ 総合技術研究所 水理研究室研究員	三井 順	
	北海道の水素社会の形成に向けて	北海道 環境生活部 環境局 地球温暖化対策室 主査	島田 裕進	
27. 12. 4	道東における貴重植物	(株) エコシステム 代表取締役	若原 正博	34 (23)
27. 12. 5	自助・共助のすすめ	日本技術士会 北海道本部 防災委員会 委員	城戸 寛	91 (91)
27. 12. 5	函館の地盤と液状化危険度について	(株) ノース技研	宮田 恒夫	25 (13)
	失敗例から学ぶ設計定数の考え方	(株) ノース技研	布村 重樹	
	情報ボックス設計の実例	(株) 東鵬開発	藤田 弘毅	
	河川護岸詳細設計の流れ	(株) ノース技研	外崎 和夫	
	建設コンサルタント土木技術者としての倫理	(株) エジソンブレイン	奈良 哲男	



28. 1. 20	支援基礎研修 (WEB 参加)			16 (5)
	ISO 9001:2015 品質マネジメントシステム規格改訂のポイント	志澤技術士事務所 代表	志澤 達司	
	ISO 14001:2015 環境マネジメントシステム規格改訂のポイント	PDCA 技術経営研究所	上野 一郎	
28. 1. 22	平成 27 年度海外技術協力実務講習会 (WEB 参加)			7 (2)
	これまでのキャリアを生かして JICA の国際協力を目指す方へ ～技術士として参入可能な JICA 事業及びポイントの紹介～	国際協力機構 国際協力人材部 次長	稲村 次郎	
	ASEAN の経済環境と日系企業進出状況～メコン地域を中心に～	日本貿易振興機構 海外調査部アジア大洋州課	蒲田 亮平	
	JICA 業務経験技術士による実績紹介～如何にして JICA 業務を受注したか～	(株)岩崎 技術顧問	藤田 和夫	
	海外技術協力経験技術士による実績紹介～海外業務受注のポイント～	技術経営研究センター 所長	松井 武久	
	海外業務情報入手から受注までの流れ紹介～海外活動支援委員会からの情報提供～	技術士事務所 ケーエムソフト 所長	熊澤 壽人	
28. 1. 22	ホッカイドウ・アズ・ナンバーワン～北海道観光の未来を考える～	北海道博物館 館長	石森 秀三	30 (13)
28. 2. 4	水害・土砂災害と地域における要配慮者避難支援	日本技術士会 北海道本部 防災委員会 委員	大浦 宏照	96 (96)
28. 2. 12	越波被害の著しい道路護岸における合理的な越波対策設計	函館市港湾空港部港湾課	木下 春樹	20
	国道の交通安全対策	(株)東鵬開発	藤田 弘毅	
	流出抑制策の取り組みについて	日本データサービス(株)	山科 裕康	
28. 2. 24	世界から見た北海道の気候	フリーキャスター	菅井 貴子	106 (27)
	我が国の社会資本整備の今後のあり方	国土交通省 大臣官房審議官 (北海道局担当)	田村 秀夫	
	北海道の森林	防災地質工業(株) 取締役技術顧問	安田 伸生	
	北海道型地域構造を保持・形成するために必要な取り組み	(株)ドーコン 交通事業本部 都心交通企画室長	澤 充隆	

東北本部

27. 5. 8	3. 11以降の原子力・放射線部会の活動と今後	日本技術士会 原子力・放射線部会長	桑江 良明	124 (22)
27. 5. 14	ロボティクス技術を駆使した防災・減災への取り組み	東北大学 未来科学技術共同研究センター 准教授	永谷 圭司	34 (1)
27. 5. 15	これからの技術士に問われるコミュニケーション術	東北工業大学 ライフデザイン学部 教授	宮曾根美香	63 (38)
27. 5. 22	御嶽山・岩手山の噴火対応の事例に基づく蔵王火山の防災対応	岩手大学 名誉教授・岩手大学 地域連携推進機構 客員教授	齋藤 徳美	39
27. 6. 12	石巻市の割れ目性硬質岩盤斜面の崩壊事例ー斜面状況からみる避難勧告の判断とはー	(有) ジオテクノ中里産業	中里 俊行	10
	最近ベトナム事情～ハノイ～ハロン湾の旅～	(有) ジオプランニング	今野 隆彦	
27. 6. 12	仙台河川国道事務所の主な事業等について	国土交通省 東北地方整備局 仙台河川国道事務所 所長	宮田 忠明	77 (19)
27. 6. 23	青森 ITS 視察報告	ITS研究委員会	山田 進 他 3 名	35
	空間情報と ITS	宮城大学 事業構想学部 デザイン情報学科 教授	蒔苗 耕司	
27. 7. 1	第 3 回国連防災世界会議を終えて～会議の総括と将来展望～	仙台市 まちづくり政策局 まちづくり連携担当部長	柳津 英敬	99
27. 8. 21	土壌汚染調査実施例の紹介～①広瀬川沿い、②稼働中の工場敷地他～	土木地質 (株)	森 信博	12
	南部北上高地中生界の岩盤分類について	東北ボーリング (株)	菊池 真	
27. 9. 3	ニコンにおけるものづくり見聞録	元 (株) ニコン IE 技術者	木田 眞一	22
27. 9. 16	電力会社におけるスマートメーターの導入	東北電力 (株) 配電部副長	二上 貴文	58 (42)
27. 9. 11	福島第一原発事故による市街地汚染と除染の現状～一市民による計測と考察～	元日本大学 工学部 教授・トルコ国立パムッカレ大学 名誉教授	田野 久貴	40
27. 10. 9	旧北上川堤防の築造とかわまちづくり	(有) ジオテクノ中里産業	中里 俊行	11 (1)
	知的好奇心がもたらす心豊かな社会の創造にむけて～科学・技術の地産地消～	特定非営利活動法人 natural science 理事	大草 芳江	
27. 10. 22	新しい安全の考え方～Safety-II とレジエンスエンジニアリング～	東北大学 名誉教授・(株) テムス研究所長	北村 正晴	46
27. 12. 11	国道 289 号甲子トンネルと甲子道路	日本工営 (株)	尾崎 裕司	12
	森林環境と防災	(株) ATS	守屋 資郎	
28. 1. 26	燃料電池と水素社会への取り組み	東芝燃料電池システム (株)	矢吹 正徳	48 (31)

28. 2. 13	科学・技術の地産地消」～知的好奇心がもたらす心豊かな社会の創造にむけて～	特定非営利活動法人 natural science 理事	大草 芳江	53 (40)
28. 2. 15	平成27年不正競争防止法の改正概要（営業秘密の保護強化）	経済産業省 経済産業政策局 知的財産政策室 企画係長	長井 謙	24 (8)
28. 2. 19	TPPの日本農業農村への影響	日本農業新聞 東北支所 次長	柘植 昌行	99 (45)
	奥松島の物語	地域社会史研究者	西脇 千瀬	
28. 2. 22	福島第一原子力発電所の事故による一技術士の避難者支援体験について	国立研究開発法人 日本原子力研究開発機構 核燃料サイクル工学研究所	阿部 定好	74 (32)
	福島第一原子力発電所の事故による現状と課題そして将来の可能性について	(株)ふたば 代表取締役社長	遠藤 秀文	

北陸本部

27. 4. 19	新潟県内技術士（補）有資格者懇談会（合格者祝賀会）			56 (9)
	新潟県におけるこれからの課題	新潟県 副知事	花角 英世	
27. 6. 20	石川県千代野地区連合町内会防災講演会			42 (40)
	地震発生の仕組みとその備え	日本技術士会 北陸本部 防災委員会 委員	一願 稔 屋敷 弘	
27. 7. 11	自然災害と防災について－レベル2 災害への対応－	NPO 法人 福井地域地盤防災研究所	荒井 克彦	44
28. 2. 9	社会インフラのこれから	一般財団法人 国土技術研究センター 研究総括監 兼 道路政策グループ総括	三浦 真紀	86 (37)
	TPP大筋合意内容（農林水産分野）と関連対策について	農林水産省 北陸農政局 新潟支局 地方参事官室 総括農政業務管理官	澤田 禎一	
28. 2. 13	地域の活性化と交通の役割	長岡技術科学大学大学院 環境社会基盤工学専攻 都市交通研究室 教授	佐野可寸志	46 (5)
	新潟市の新交通バスシステム・BRTの背景と狙い	新潟市 都市政策部 新交通推進課	鈴木 淳郎	
	自転車利用環境整備の取組	新潟市 土木部 土木総務課	佐久間洋平	
28. 2. 22	新潟県第5回クリエイティブセミナー			174 (174)
	新潟県の地形・地質・気象の話	日本技術士会 北陸本部 防災委員長	平野 吉彦	

中部本部

27. 4. 3	温故知新～コメント機墜落事故と金属疲労	田島技術士事務所	田島 暎久	12
27. 4. 11	日本の技術者制度変革の停滞と混乱～その問題分析と解決策の提示	ラーテン技術士事務所 所長	比屋根 均	38 (6)
27. 4. 23	維持管理時代を迎えた下水道の現状	片山技術士事務所	片山 克武	16
	春の小川の魚たちをどのように保全するか	滋賀県立大学 環境科学部 生物資源管理学科 助教	皆川 明子	
27. 5. 16	裁判と科学の接点	弁護士、中小企業診断士	片岡 信恒	96
26. 5. 8	インクジェットプリンターの産業応用に向けて	国光技術士事務所	杉浦 邦充	17
	製品開発設計全体をスムーズに進めるプロジェクトマネジメント	三菱電機(株)	渡辺 孝	
27. 5. 23	事例研究 企業倫理と社内調整	メタウォーター(株) PE事業本部 電機技術第2部	阿部 秀樹	27 (1)
	尼崎線脱線転覆事故の責任問題	ミネルヴァ技術士事務所 所長	打田 憲生	
27. 5. 23	雷害診断と対策の信頼性	SGC 沢栗技術士事務所 所長	澤栗 裕二	27 (2)
27. 6. 6	私と鳥見	富士テクノロジー(株)	秋山幸之朗	14
	私と減量	ムトーハイテック(株)	三島 孝朗	
	私と祭礼	(株)ダイセキ	鈴木 幾尋	
	私と弦	ホシザキ電機(株)	荒井 伸幸	
	私とMTB(マウンテンバイク)	(株)大気社	青山 尚弘	
	私と発想	(株)デンソー	嘉田 善仁	
27. 6. 6	国内航空機史と技術の伝承	杉本技術士事務所	杉本 漢三	26
27. 6. 12	家電への落下衝撃解析技術の適用と実践	パナソニックエコシステムズ(株)	小方 弘成	17
	技術士のためのお得な会計講座	鈴木公認会計士・税理士事務所	鈴木 裕太	
27. 6. 14	品質は安全－土木工事管理経験より	三幸コンサルタント(株) 技術部長	伊藤 博	26 (1)
	死亡事故・企業不祥事を予防する－それが技術士の責務－	鈴木技術士・労働安全 Con 事務所	鈴木 朗	
27. 6. 25	変わりつつある日本の森林・林業	大同コンサルタンツ(株) 技術参事	長谷川洋昭	17 (2)
	高齢者の安全な暮らしのために	(株)みらいコンサルタント 照査技師	伊藤 久	
	裁判員制度、刑事裁判、民事裁判について	名古屋地方裁判所 裁判員調整官	岩原 寛	

27. 7. 10	ドイツ Industry4.0 取組の紹介	ドイツ貿易・投資振興機構 日本代表事務所	浅川 石見	19
27. 7. 25	国際的水ビジネスの進め	中部大学 客員教授 (元名古屋 市 副市長)	山田 雅雄	39 (1)
	新しい技術者評価制度についての 提言	名古屋工業大学 客員教授 (株)人材開発支援機構 代表 取締役	野口 好夫	
27. 7. 25	技術士について	アイシン精機 (株)	田村 浩史	17
		若築建設 (株)	岡村 和明	
	橋梁について	(株)エスイー	守谷 佳也	
27. 7. 25	モーターの最新技術動向	三菱重工業 (株) 技術統括本 部 名古屋研究所	星野 昭広	36 (2)
	省エネとインバータ制御	マルス技術士事務所 代表	鈴木 均	
27. 8. 1	中部本部各県支部化の現状「中部 本部の報告」	日本技術士会 中部本部 事 務局長	水野 朝夫	38
	愛知県支部の状況	日本技術士会 中部本部 愛 知県支部長	水野 朝夫	
	岐阜県支部の状況	日本技術士会 中部本部 岐 阜県支部長	森川 英憲	
	三重県支部の状況	日本技術士会 中部本部 三 重県支部長	平田賢太郎	
	マイクロリアクタ：極微小領域で 行う化学反応の新展開	名古屋大学大学院 工学研究 科 分子化学工学専攻 教授	田川 智彦	
27. 8. 7	バリ・エッショー報告	田島技術士事務所	田島 暎久	13
	テールシッターで拡げる無人機の 世界	(株)航空システム研究	炭田潤一郎	
27. 8. 21	技術者倫理の目的を考える	ラーテン技術士事務所 所長	比屋根 均	35 (1)
	植葉除染の安全管理の経験から	大日本土木 (株) 土木本部長 付顧問	森川 英憲	
27. 8. 27	ベトナム雑感・ホーチミン市 - 企業の風景	石川経営技術事務所	石川 君雄	19 (1)
	仕出し業界での八尾彦本店の成長 と会社経営理念	(株)八百彦本店 代表取締役	三浦 邦雄	
27. 9. 11	未来の自動運転技術と日産自動車 の取組	日産自動車 (株)	安藤 敏之	19
	機械システムの見方・考え方	水野技術士事務所	水野 光春	
27. 9. 12	静岡県の防災活動紹介	中村建設 (株)	関 尚彦	64
	宇宙推進工学における“電動化”	名古屋大学大学院 工学研究 科 航空宇宙工学専攻 教授	佐宗 章弘	

27. 9. 20	科学技術に対する姿勢	坂部環境技術事務所	永草伸一朗	29 (3)
	STS (科学技術社会論) の視点～作 動中の科学	大阪ガス (株)	田岡 直規	
27. 9. 19	航空機用、宇宙用電装品について	シンフォニアテクノロジー (株)	佐藤 章	39 (2)
	鉄道車両メーカーの非鉄道技術者 の経歴	日本車輛製造 (株) 開発本部	山下 洋一	
	半導体 LSI 設計と LSI 使用時の注 意	林技術士事務所 所長	林 誠	
27. 10. 9	水素社会に向けた川崎市の取り組 み	川崎市 総合企画局	高橋 知宏	16
	水素エネルギーのトピックス	西田技術士事務所	西田 啓一	
27. 10. 10	航空エンジンの試験方法	元・三菱重工 (株)、東明工業 (株)	堀内 和男	14
27. 10. 25	小中学校の理科教育の現状と、技 術士会に期待すること	知多市 教育委員会 前委員 長	岩見田 健	32 (3)
27. 10. 29	リニューアルが必要な地球環境改 善と省エネの話	杉本技術士事務所	杉本 利夫	15
	インド奮闘記～理想主義から現実 主義へ	愛知淑徳大学 講師	久保田 絢	
27. 10. 31	エシカルライフのすすめ -21 世 紀は”良心の世紀” -	ジャーナリスト	嶋矢 志郎	30 (2)
27. 11. 13	生産技術の新分野適用の試み	一般財団法人 機械振興協会 技術研究所 企画管理室長	木村 利明	16
	車の衝突安全の現状と課題	竹内技術士事務所	竹内 利一	
27. 11. 18	土木構造物の瑕疵に対する発注 者、施工者、設計者の法的責任	匠総合法律事務所	江副 哲	79
	構造物の維持管理と人の役割	岐阜大学 工学部長 教授	六郷 恵哲	
27. 11. 21	アフターチャイナとして注目され るメコン圏地域の現状	長谷川技術士事務所	長谷川 正	17
	地球温暖化対策の不要が貿易立国 日本の生き残りの途	プロセスインテグレーション (株) 代表	平田賢太郎	
	接着剤概論 (入門編)	アイカ工業 (株) R&D センタ ー	堀 豊	
27. 11. 21	技術士の倫理 (改定新版: 日本技 術士会倫理委員会 編) 「第 3 章: 技術者資格」	日本技術士会 中部本部 事 務局長	水野 朝夫	27
	技術士の倫理 (改定新版: 日本技 術士会倫理委員会 編) 「第 4 章: 技術者資格」	東邦ガス (株) お客様 保安 部	今津英一朗	
27. 12. 4	海軍航空技術廠の概要	(株) テックササキ 航空機事 業部 治工具課長	吉川 豊行	13

27. 12. 5	排水処理技術の現状と将来への展望	辻技術士事務所 代表	辻 喜礦	67
	土の振る舞いと資源・材料としての利用	名古屋大学大学院 工学研究科 社会基盤工学専攻 教授	中野 正樹	
27. 12. 10	DNAから見た日本人のルーツと古代の日本	ベルナー・コンサルティング 技術士事務所	太田 隆之	19
	ジェット戦闘機の試験飛行について	元三菱重工(株) 名古屋航空機製作所 テスト・パイロット	日高 伴介	
27. 12. 11	吸収式冷凍機の蒸発器用伝熱管の開発事例について	(株)コベルコマテリアル銅管	高橋 宏行	15
	ものづくり開発プロセス改革に役立つVE活用の勘所	横川電機(株)	沼澤 朋子	
27. 12. 12	これから技術者として社会へ巣立つ方へ	犬丸技術士事務所	犬丸 晋	18 (12)
27. 12. 19	等身大の倫理	ミネルヴァ技術事務所 所長	打田 憲生	27
	モラ要素の整序と倫理的能力	ラーテン技術士事務所 所長	比屋根 均	
27. 12. 19	VWディーゼル車、排出ガス不正の深層と影響	(株)インテグラ技術研究所 取締役社長	宮野 正克	11 (5)
	情報社会におけるプライバシーと倫理	PEK 長谷川技術士事務所	長谷川欽一	
28. 1. 16	データの時代の情報倫理	上田技術士事務所	上田 健之	33 (4)
28. 1. 23	産業機械電装品におけるサーボドライブシステム適用時の信頼性確保について	三菱重工プラスチックテクノロジー(株)	鈴木 克彦	44 (5)
	リハビリの世界を変える最新支援ロボット	名古屋工業大学大学院 工学研究科 情報工学専攻 教授	森田 良文	
28. 1. 31	好きな技術の技で生涯現役を目指そう	エムシー技研(有) 代表取締役	中平 真一	27
	定年後の独立を目指して	安田技術士事務所 所長	安田 義美	
	独立開業を考える人たちに声援を送る	(株)環境デザイン 代表取締役	村橋 光臣	
	事務所運営の営業体験談	プロセスインテグレーション(株) 代表	平田賢太郎	
28. 2. 12	産学連携～大学における転がり案内技術の最前線	東京工業大学 特別研究員	酒井 康德	15
	ナノ・マイクロに挑む！転がり案内技術の最前線	THK(株)	会田 知幸	
28. 2. 12	知的財産権の国際戦略(案)	弁理士	藤岡 隆浩	29 (15)
	特許取得による建設業界のビジネスモデル	(株)DOSUCO 技術士事務所代表取締役	松谷 孝広	

28. 2. 20	水中ジェットポンプの動作特性	静岡理科大学	鈴木、田中、 桜木	52 (12)
	翼模型の揚力、抗力同時測定システム	静岡理科大学	佐藤、勝澤、 桜木	
	ワイルド分析を用いた不具合解析事例の取り組み	パナソニックデバイス SUNX (株)	木村 琢磨	
	廃食用油回収からのBDF製造とその評価	中部大学院	高田 一輝	
	高温ならびに低温の履歴を受けたひずみ硬化型繊維補強モルタルの引張性能の評価	岐阜大学大学院	林 大智	
	ごみ熔融スラグを細骨材として用いたコンクリートの基礎的性状	豊田工業高等専門学校	酒井 一行	
	火山砕屑物の物理特性に関する研究	中部大学大学院	武藤 大和	
	排水材を用いた液状化対策の効果に関する動的解析	中部大学	津田 裕也	
	地下鉄を有する都市域の大規模氾濫解析	中部大学大学院	村瀬 将隆	
	一般道路における道路舗装技術の提案	(株)近藤組	都築 彰仁	
	更新計画を円滑に推進させるためのダウンサイジング検討業務	中日本建設コンサルタント (株)	松原 祥平	
間伐施業や洪水に伴う攪乱後の底生動物群集の遷移	玉野総合コンサルタント (株)	渡邊 祐介		
28. 2. 25	マンション基礎杭データの流用事件について	ミネルヴァ技術事務所	打田 憲生	15
	仕事が見える色彩心理学	色彩企画 代表	久野 友未	
28. 2. 27	技術士および技術者の倫理の啓発 “大学・高専「技術者の倫理教育」 の実践”	春田技術士事務所 所長	春田 要一	28 (3)
	技術コミュニケーションと技術者倫理 “テクノロジー・カフェの実 践”	三菱電機エンジニアリング (株)	倉地 晴幸	
28. 3. 11	Beyond Design Basis Accident への対応--東日本大震災からの教訓	横浜国立大学 名誉教授	白鳥 正樹	15
	工学シミュレーションの品質保証			
28. 3. 19	太陽光発電の大量導入に対応する電力システムの構築技術	名古屋工業大学 電気電子工 学科 情報工学専攻 准教授	青木 睦	32 (2)
	スマートメータとエネルギーマネジメント	マルス技術士事務所 代表	鈴木 均	
28. 3. 19	最近の中国産業事情と日本への影響--躍進する中国産業と、その陰	(株)インテグラ技術研究所 取締役社長	宮野 正克	6 (1)
	リスクマネジメントと危機管理	PEK 長谷川技術士事務所	長谷川 欽一	



28. 3. 19	米国における技術者倫理規程の史的展開	ラーテン技術士事務所 所長	比屋根 均	20 (2)
	APEC エンジニア等技術者国際の現状 新しい情報事情	大同大学 情報学部 情報学科	田中 秀和	
27. 3. 26	濃尾地震の建物被害とその後の建築界の対応 耐震建築研究の世界的始点	名古屋大学 環境学研究科 教授/重要文化財馬場家住宅研究センター 副センター長	西澤 泰彦	117 (50)

#### 近畿本部

27. 4. 10	研究不正とは何か (一考察)	細谷技術士事務所	細谷 陽三	21
27. 4. 16	ウイルス粒子-タンパク質の 3次・4次構造及びその変化-	大阪大学 教授	福山 恵一	15
27. 4. 17	技術立国の日本の課題 ~技術士制度の在り方	独立行政法人 都市再生機構	杉本 哲雄	6
27. 4. 18	ISO マネジメントシステムの最新動向と規格構造の統一化について	川崎重工(株) 精密機械カンパニー	藤原 章治	20
27. 4. 24	水素エネルギー利用の現状と将来の展望	外山技術士・労働安全コンサルタント事務所	外山 榛一	61 (13)
	食品のゼロエミッション化に向けて	大阪府立大学総括コーディネータ	野村 幸弘	
27. 5. 8	水道の現状と課題	中村技術士事務所	中村 秀人	17
	環境倫理との出会い	井上靖彦 H.O. 代表	井上 靖彦	
27. 5. 9	火力発電所からの CO2 回収技術	渡邊技術士事務所	渡邊 恒典	57 (9)
	太陽光発電システムの特徴および設計・施工	シャープ(株)	松山 賢五	
27. 5. 15	電子顕微鏡とミクロの芸術	花一電子顕微鏡研究所 会長	花一 敬正	18
27. 5. 29	世界のテクニカル・テキスタイルの開発動向	東レ(株) 常勤嘱託	塩谷 隆	45 (27)
	不織布による福島汚染水の減容化	テクノ・ファブリカ	福岡 強	
27. 6. 2	東日本大震災~気仙沼市からの報告~	(株) 寛設計事務所 顧問	伊藤東洋雄	21
27. 6. 13	チケット駆動開発~Redmine で多様なプロジェクト管理の課題を解決する	小川技術士事務所	小川 明	21
27. 6. 17	レドックスフロー電池の特徴と用途	住友電工(株)	山西 克也	28
27. 6. 17	品確法の改正が目指すこと	公益社団法人 大阪技術振興協会 専務理事	岸田 順三	11
	なぜ橋は弱かったのか	福岡技術士事務所	福岡 悟	

27. 6. 19	トランス脂肪酸の問題について	大阪府立大学 総括コーディネータ	野村 幸弘	13
27. 6. 20	技術士コンピテンシー（資質能力）について	新日鉄住金(株)	古橋 崇史	24
27. 6. 20	世界と日本のエネルギーの現状と日本の進むべき方向	京都工芸繊維大学 特任教授	久米 辰雄	109 (15)
27. 6. 26	Web マーケティングと法的リスク	コスモポリタン法律事務所（弁護士）	平野 敬	5 (1) WEB参加
27. 6. 29	地球温暖化問題と国際協力及び懐疑論～IPCCの動向、展望とその課題	中央開発(株)大阪事業部	石川 浩次	53
	今後の40年のグローバル予測	(株)テス・リサーチ 代表取締役	末利 鏡意	
27. 7. 1	電気エネルギーシステムにおけるサイバーセキュリティ	一般財団法人 電力中央研究所 システム技術研究所 副所長	芹澤 善積	11
27. 7. 10	水道の現状と課題	中村技術士事務所	中村 秀人	20 (1)
	一流技術者論	大阪市立大学 名誉教授	野邑 奉弘	
27. 7. 11	障害対応/災害対策からBCPへ	江本技術士事務所	江本 順一	27
27. 7. 11	最近の機械安全基準について	増田技術士事務所	増田 武司	44 (3)
	災害防止とヒューマンエラーへの対応	関西大学教授	中村 隆宏	
27. 8. 1	グローバル・サプライチェーン改善の取組	オムロン(株)	荒井 一彦	22
27. 8. 3	生物センシング工学の現状と課題	京都大学 農学研究科	近藤 直	43 (10)
27. 8. 7	未来（水素）社会に向けて	(株)テス・リサーチ 代表取締役	末利 鏡意	18 (1)
	技術立国日本の課題～技術士制度の今後の在り方～	独立行政法人 都市再生機構	杉本 哲雄	
27. 8. 8	ゴルフクラブにおける計測値と人間の感覚	日本生命保険相互会社 人事本部	鍛冶 秀美	20
	Jenkinsによる作業効率化の紹介	三菱電機エンジニアリング(株)	宇佐美 康	
27. 8. 18	道路構造物耐震対策の歴史と現状	福岡技術士事務所	福岡 悟	16
27. 8. 18	ポリアミド12系エラストマー及びポリアミド12系ポロマーアロイの構造と物性	大阪府立大学 コーディネータ	喜多 雅己	16 (1)
	最近の技術者倫理はどうあるべきか？	伊藤技術士事務所	伊藤 博	
27. 9. 5	水素エネルギーの利用の現状と将来の展望	外山技術士・労働安全コンサルタント事務所	外山 榛一	46 (1)
	エネルギー・環境への疑問と原子力水素製造	三菱日立パワーシステムズ(株)	松永 健一	

27. 9. 11	グローバル化学物質規制の動向	奥村技術士事務所	奥村 勝	19
	科学技術の不確実性	大阪ガス(株)	田岡 直規	
27. 9. 12	開発設計技術者の育成について	オムロン(株) グローバルものづくり革新本部	上田 忠一	27 (1)
	これから始める Web 開発	カームコンピューター(株)	佐藤 校	
	自分自身の知識体系を作っていますか？	(株) JSOL	松本 敏良	
27. 9. 18	電気事業の成り立ち	関西電力(株)	森 茂雄	8
27. 9. 25	一般人のリスク認知と専門家のリスク評価の齟齬	同志社大学 心理学部 教授	中谷内一也	6 (1) WEB 参加
27. 9. 25	e-テキスタイルの研究紹介	福井県工技センター	増田 敦士	37 (16)
	生体インターフェースへの応用と展望	東レ(株)	竹田 恵司	
27. 10. 9	濡れー初歩から最先端までー	大阪大学 工学部 客員教授	辻井 薫	17
	地域防災計画と地区防災計画について	福岡技術士事務所	福岡 悟	
27. 10. 10	情報分野を含む ISO マネジメントシステム審査と技術士の活躍の場	日本検査キューエイ(株)	岡本 存喜	12
	未来の自動車技術の方向	毛利技術研究所	毛利 敦紀	
27. 10. 13	まちぐるみで取り組む防災・減災	前泉南市長	向井 通彦	21
27. 10. 16	食品の機能性表示について	サンスター(株)	水道 裕久	10
27. 10. 17	東日本大震災の復興の取り組みと課題	(株) オオバ	伊勢 博幸	18
27. 10. 21	形状記憶合金で壊れない橋梁とは	タケウチ技術士事務所	竹内 修治	14
	日本技術士会最近の話題	福岡技術士事務所	福岡 悟	
27. 11. 13	気になるニット製品	谷口技術士事務所	谷口 耕造	15
	バリアフィルム食品包装から有機EL まで	川崎技術士事務所	川崎 元夫	
27. 11. 13	生物工学分野におけるマテリアル(材料)の貢献と将来展望	大阪ガスケミカル(株)	藤原 和弘	11
27. 11. 14	地図作りと OSS	(株) GEO ソリューションズ	加賀谷仁秀	21 (1)
	意外に簡単、計測器リモート制御	(株) メイテック	山口 敦史	

27. 11. 14	グループ討議 技術士（会）活動の活性化及び、 地位・知名度の向上	-----	参加者全員	26
27. 11. 16	ミャンマーが日本の技術に期待するもの	独立行政法人 中小企業基盤 整備機構 国際化支援アドバイザ	小川モモウ	40 (15)
		一般社団法人 関西ミャンマ ー経済交流センター	砂田 純二	
27. 11. 18	ストックマネジメント技術の現状 と今後の動向について	東京大学大学院 教授	小澤 一雅	5 WEB参加
27. 11. 20	原子力技術の信頼性を回復するには？	国立研究開発法人 科学技術 振興機構 ImPACT プログラ ム・マネージャー	藤田 玲子	6 WEB参加
27. 11. 19	うめきた2期計画について	UR都市機構 西日本支社 副支社長	中川 雅永	30 (1)
27. 12. 4	医薬品製剤工場における空調設備 の 特殊性と室圧制御の要点につ いて	(株) 関電エネルギーソリュ ーション	助宮 賢治	12 (1)
	職場における受動喫煙の防止	南方技術士・労働安全衛生コ ンサルタント事務所	南方 英則	
27. 12. 12	会社の利益を生み出す仕組み構築 の要点－人財育成・活用を中心に	柏原コンサルティングオフ イス	柏原 秀明	21
	情報技術者が世の中から認知される ために	鍛冶技術士事務所	鍛冶 秀美	
27. 12. 12	化学物質管理士制度～日本技術士 会化学部会からのアプローチ～	元 住友化学(株)	秋葉恵一郎	28
27. 12. 15	斜面災害の実情と最新の斜面防災 技術	柔構造物工法研究会 事務局 長	村石 尚	25
27. 12. 16	ダムのアセットマネジメント	森技術士事務所	森 敏昭	8
27. 12. 18	アパレルにビジネス・デザインエン 지니어リングを考える	一般財団法人 日本繊維技術 士センター 顧問	安部田貞治	30 (11)
	最新の繊維新素材・新商品状態	一般財団法人 日本繊維技術 士センター 相談役	齋藤 磯雄	
27. 12. 19	モノづくりにおける予測手法活用 事例	村島技術士事務所	村島 繁延	26
27. 12. 22	里山資本主義	(株) 日本総合研究所	藻谷 浩介	68 (29)
28. 1. 8	エネルギー基本政策と原発再稼働	長野技術士事務所	長野 恒己	18
	ゼネコンで新規事業に参画した経 験	西日本高速道路エンジニア リング関西(株)	桶屋 眞士	
28. 1. 9	ITモダナイゼーション(システム 近代化)とITアーキテクチャ	コベルコシステム(株)	幸田 健	17
	自動運転システムにおける情報処 理技術	パナソニック(株) AVC ネット ワークス社	本多 利行	

28. 1. 9	水素・燃料電池の開発状況と国際標準化 (IEC、ISO) の動向	田島收技術士事務所	田島 收	62 (1)
	工作機械 (マシニングセンタ) の開発事例と要素技術	(株) 神戸製鋼所	増田 朋之	
28. 1. 16	製造現場の見える化とそのための情報通信技術の活用について	大阪工業大学 准教授	皆川賢太郎	89 (6)
	IoT 技術のこれまでとこれから	沖電気工業 (株)	川本 康貴	
	効果的な現場の見える化への取組	(株) イマック	山本 照久	
28. 1. 22	福島市近傍放射能汚染土壌貯蔵実態報告	掛田技術士事務所	掛田 健二	40 (9)
	福島の除染作業を見学して	深田技術士事務所	深田 晃二	
	除染土壌・処理と放射能に係る基礎知識	近畿地方発明センター	鍵谷 司	
28. 1. 22	食料・農業・農村と農業土木	水利環境研究所	坂元 通夫	8
28. 1. 27	神戸の都心及び三宮の再整備	神戸市 住宅都市局長	山崎 聡一	12
28. 1. 30	技術士を目指そう	東レ (株)	萩野 新	11
		川重冷熱工業 (株)	田代 芳樹	
		新日鐵住金 (株) 交通産機品事業部	古橋 崇史	
28. 2. 5	スマート&エクセレント経営の仕組み	(有) サミット・ラボ	杉村 光二	19
	個人事業 (コンサル) の現状と展望ー生涯コンサルタントを目指してー	水利環境研究所	坂元 通夫	
28. 2. 12	食品の異物混入防止対策について	真野技術士事務所	真野 仁	15
28. 2. 20	QMS 審査員による有効性評価技術及び TQM 学びのおさらい	徳永技術士事務所	徳永 浩二	20
28. 2. 22	Red Tide and Green Tide を生物資源利用の観点から考える	神戸大学 自然科学系 先端融合研究環	鈴木 千賀	39
28. 2. 23	国土地理院における災害対策について	国土地理院 近畿測量部	梶川 昌三	24
28. 2. 26	バイオミメティクスの視点で見る繊維	一般財団法人 日本繊維技術士センター 副理事長	八木 健吉	40
	国の科学技術戦略と今 大学に求められていること	大阪大学 産業連携本部 副本部長	北岡 康夫	
28. 3. 11	放射線利用技術の最新動向	国立研究開発法人 日本原子力研究開発機構	土田 昇	18
	材料開発を陰で支える放射線	国立研究開発法人 産業技術総合研究所	田中 秀明	

28. 3. 12	Microeconomics, Labor economics and Game theory From Croatia to Japan	大阪大学学生 (留学生)	Mr. Petra Rkman	37 (5)
	私の研究 大阪湾の防災 日本とミャンマーの生活の違い	大阪大学学生 (留学生)	Mr. Wai Phyoo Kyaw	
	ナノテクノロジーにおける電子ビーム照射効果の応用 ベトナムと日本の文化の違い及び日越科学技術協力の可能性	大阪大学学生 (留学生)	Mr. DINH Cong Que	
	Modification of devices for biological application All about foreigner in Japan. Malaysia VS Japan	大阪大学学生 (留学生)	Ms. Norhayati Binti Sabani	
28. 3. 25	除染技術	大阪大学 教授	西嶋 茂宏	7
	金属の抗菌材料と食品用製缶について	木藤技術士事務所	木藤 茂	

中国本部

27. 5. 20	作曲・編曲「Wednesday」ができるまで	作曲家	笹田 誠	18 (4)
27. 6. 17	瀬戸内里海振興会の活動紹介	瀬戸内里海振興会	田坂 勝	23 (9)
27. 6. 18	広島土砂災害現地調査報告会			
	広島土砂流災害から学ぶこと	日特建設(株)	上野 雄一	156 (24)
	複雑な土石流形態から被害拡大要因を探る	(株)ジオブレイン	小林 昇	
	土石流の発生源の形態から見た土砂災害リスク	(株)ダイヤコンサルタント	矢ヶ部秀美	
	平成26年8月広島土砂災害における八木3丁目の土石流	復建調査設計(株)	中井 真司	
	広島土石流災害視察報告	(株)ワールド測量設計	花本孝一郎	
	広島土砂災害と斜面維持管理の話題	愛媛大学 教授	廣田 清治	
	広島土石流災害の流出土砂量の推定と愛媛県における計画流出土砂量の比較	(株)芙蓉コンサルタント	須 幸一	
既設治山ダムの評価と一考察	(株)和コンサルタント	菊池 昭宏		
27. 6. 27	過給ターボチャージングを中心とした自動車用エンジンの最新技術動向	(株)畑村エンジン研究事務所	畑村 耕一	46 (12)
	機械設計におけるフロントエン지니어リングの実践～QFD, TRIZ, FMEAの活用～	倉敷精機(株)	池田 昌浩	
	日本の“ものづくり”に求められる“ひとづくり”	広島大学名誉教授(元広島大学理事副学長)	山根八洲男	

27. 7. 11	SQUID 非破壊検査に関する研究	中国電力(株)	杉内 栄夫	24 (1)
	計測用ドローン「SPIDER」を用いた3次元計測・構造物調査	ルーチェサーチ(株)	渡辺 豊	
27. 7. 15	安全安心な生活に向けて～技術者の投資戦略～	一山コンサルタント	山下 祐一	15 (5)
27. 7. 25	睡眠・睡眠環境と寝具	日本睡眠科学研究所 常任顧問、日本繊維技術士センター理事	中村 勤	23 (2)
	金属学の散歩道	日新製鋼(株)	川本 明人	
27. 8. 1	平成27年度年次大会／中国本部(中・四国支部)創立50周年記念式典			162 (33)
	インフラを取り巻く諸課題と展望～人口減少社会におけるわが国の安全・安心について考える～	岡山大学名誉教授(元土木学会会長)	阪田 憲次	
27. 8. 5	ものづくり教室による社会貢献活動	ケイ・エム調査設計(株)	俵 司	25 (6)
27. 8. 8	東日本大震災被災地の今	呉市役所	柴崎 恭範	19 (4)
	社会基盤整備における3次元設計	復建調査設計(株)	亀田 雄二	
27. 8. 21	豪雨災害軽減のための降雨レーダー情報の活用	広島大学教授	河原 能久	115 (74)
	広島土砂災害の教訓と今後の土砂災害対策	広島大学教授	土田 孝	
	梅林学区自主防災会－自主防災マップの制作から避難訓練までの経過－	(株)ヒロコン	青原 啓詞	
	雨の降り方と土砂災害の特徴について	復建調査設計(株)	中井 真司	
27. 8. 22	人口減少時代の上下水道	鳥取大学理事・副学長	細井 由彦	47 (16)
	広島市8.20土砂災害について	広島市下水道局	小笹山秀夫	
	水みらい広島の設立経緯と今後の展開	(株)水みらい広島	松延 紀至	
27. 9. 5	深海底におけるメタンハイドレート資源開発に挑む	山口大学大学院理工学研究科教授	兵動 正幸	49 (10)
	地中熱利用システムの現状と課題	ミサワ環境技術(株)	森山 和馬	
	地質調査で役立つiPad活用術	(株)ウエスコ	伊達 裕樹	
27. 9. 16	橋梁における耐震性能の照査および評価	ケイ・エム調査設計(株)	吾郷 鷹矢	21 (7)
27. 9. 19	高レベル放射性廃棄物の地層処分について	原子力発電環境整備機構(NUMO)	安保 秀範	32 (6)
	技術士とファンディング	テス・テクノサービス(株)	新瀨 大輔	
	重金属を含む排水の微生物処理の技術と事例	三菱重工業(株)	小串 泰之	

27. 10. 21	中国地域ニュービジネス協議会の紹介	中国地域ニュービジネス協議会	梅原 健	13 (4)
27. 10. 17	広島県の山地土砂災害対策について～私の災害経験を踏まえて～	広島県農林水産局 農林水産部	相良伊知郎	25 (9)
	農を取り巻く環境問題	広島修道大学人間環境学部教授	佐々木 緑	
	開水路補修・補強工法の概要、プレキャスト底樋管について	大和久レス(株) 施工部ストマネ施工課係長 大和久レス(株) 技術開発部開発課	佐藤 康弘 松永 啓嗣	
27. 10. 24	東日本大震災における電気設備の復旧について	日本製紙(株)	保坂 智行	19 (4)
	(コミュニケーション能力開発)ファシリテーションについて	復建調査設計(株)	亀田 雄二	
27. 11. 18	初級手話講座	倉敷精機(株)	池田 昌弘	18 (6)
27. 12. 6	次世代の樹園地整備	山口県柳井農林事務所	山本 明男	38 (7)
	省エネ・温暖化対策への取り組み	(有)ハイサーブ	石丸 祐司	
	高性能高機能繊維の特徴と用途	帝人(株)	高橋 真一	
	橋の補修設計への提言	ゼネラルコンサルタント(株)	貞升 孝昭	
	モンゴルの水道事情視察報告	(株)水みらい広島	三島 雅美	
	第4次産業革命@Primetals Technologies Japan(社)	Primetals Technologies Japan	池本 裕二	
	豪雨災害の教訓から考える森林の役割と保全	(株)ケイズラブ	河内 義文	
水銀廃棄物の埋立処分の課題	ダイユウ技研土木(株)	檜垣 光次		
27. 12. 12	海外指導体験と国民文化事情	寄高技術士事務所	寄高 政史	26 (7)
27. 12. 12	技術者倫理の基礎, 講師心得, 4階層モデル, 個私公集・プロフェッションの概念, エンジニアリング・デザインとの関連, ほか	(有)スズカワ設備事務所	鈴川 竜司	16 (8)
28. 1. 20	日本は民泊を推進すべきである。是か非か	テス・テクノサービス(株)	新淵 大輔	13 (3)
28. 2. 24	中国地方の土砂災害対策の現状	国土交通省中国地方整備局河川部土砂防災対策分析官	川本洋次郎	94 (56)
	INSEM工法について	(株)インボックス	橘木 貞則	
	強靱ワイヤーネット工	東亜グラウト工業(株)	望月 章彦	
	日本技術士会 中国本部 防災委員会活動報告	中電技術コンサルタント(株)	古川 智	
	建設コンサルタント協会 中国支部 防災委員会活動報告	(株)ヒロコン	青原 啓詞	



28. 2. 26	21世紀を生きるサムライ「技術士」	坂東技術士事務所	坂東 大輔	17 (5)
28. 3. 16	論理的に考えよう～分かっちゃいるけどなぜかできない論理思考～	新川センサテクノロジー(株)	青木 寛	19 (7)

#### 四国本部

27. 4. 18	第32回CPDセミナー・公開講座、技術士第一次・第二次試験合格者祝賀会（香川会場）、第20回修習技術者支援セミナー			66 (40)
	建設技術を取り巻く最近の話題	国土交通省 四国地方整備局 四国技術事務所 副所長	谷脇 準蔵	
	防災ゲームを使って災害時の人間心理を考える ～差し迫るリスクから人は何故逃げないのか～	香川大学 危機管理研究センター 副センター長	岩原 廣彦	
	技術士受験体験談	阿南市 特定事業部 理事	石原 弘之	
	技術士制度と修習のあり方	日本技術士会 四国本部 修習技術者支援委員会 副委員長	松木 宏彰	
27. 5. 30	第33回CPDセミナー（防災講演会）・公開講座、技術士第二次試験合格者祝賀会（徳島会場）			48 (11)
	事業継続計画（BCP）ワークショップ	徳島大学 環境防災センター 助教、特定非営利活動法人 事業継続推進機構 理事	湯浅 恭史	
	山間地域での賑わいづくり～続けることで良い変化が生まれる！～	南つるぎ地域活性化協議会 会長	平井 滋	
27. 5. 30	第21回修習技術者支援セミナー			16 (10)
	技術士制度と近年の合格状況	日本技術士会 四国本部 修習技術者支援委員会 委員	森田 朗	
	試験合格者による体験談発表	新合格者2名		
	パネルディスカッション「技術士の役割」	参加者全員		
27. 6. 6	第34回CPDセミナー・公開講座、技術士第二次試験合格者祝賀会（愛媛会場）			57 (34)
	松山市のまちづくりとアーバンデザインセンターの役割	愛媛大学防災情報センター アーバンデザインセンター 研究部門 教授	松本 啓治	
	地域の産業を生かしたまちおこし	(株)日本交通社 代表取締役・前砥部町長	中村 剛志	
27. 6. 13	第9回青年技術士交流会			27 (5)
	寺田寅彦と地震	高知県立文学館 主任学芸員	永橋 禎子	
	高知の女性文学 ～宮尾登美子を中心に～	高知県立文学館 学芸課長	津田加須子	

27. 6. 26	第 35 回 CPD セミナー・公開講座、技術士第二次試験合格者祝賀会（高知会場）			56 (28)
	津波災害が予想される沿岸集落における持続的まちづくりへの住民意識分析	高知県能力開発協会 副会長	宮田 隆弘	
	高知県版の公共工事執行システムについて	高知工科大学 教授、地域連携機構 新公共工事システム研究室長	國島 正彦	
27. 7. 3	【年次大会】 四国本部設立 5 周年記念講演会			97 (20)
	弘法大師と満濃池	威徳院 住職、総本山善通寺 執行・主任学芸員、真言宗善通寺派 総務部長	坂田 知應	
27. 9. 5	第 10 回青年技術士交流会			24 (3)
	アイデアマン平賀源内	平賀源内記念館 館長	砂山長三郎	
27. 9. 12	防災講演会・見学会・意見交換会 『災害は忘れたころにやってくる！ ～どう風化を防ぎ、どう伝えるか～』			99 (74)
	多発する自然災害の時代を生きる	愛媛大学大学院 理工学研究科 教授、愛媛大学 防災情報研究センター長	矢田部龍一	
	平成 16 年災害状況とその後の取り組み	愛媛県連合自治会 会長、新居浜市連合自治会 会長	日野 幸彦	
	意見交換会	参加者全員		
27. 10. 3	第 22 回修習技術者支援セミナー			38 (24)
	修習とは～修習ガイドブック第 3 版について～	前日本技術士会 修習技術者支援実行委員会委員長	神下 栄	
	合格体験談発表	新合格者 2 名		
27. 10. 24	第 11 回青年技術士交流会			29 (9)
	松山城と松山のまちづくり	愛媛大学防災情報研究センターアーバンデザイン研究部門教授	松本 啓治	
27. 11. 27	【高知例会】 第 36 回 CPD セミナー・公開講座、防災講演会、第 23 回修習技術者支援セミナー			57 (16)
	洪水をなだめた人びと～治水と水防にみる先人の知恵～	ビデオシアター	—	
	板垣退助～板垣死すとも自由は死せず～	高知市立自由民権記念館 館長	松岡 僖一	
	地域の防災～そのとき居場所は～	高知市つきのせ町内会 会長（防災士）	中原 久幸	
	技術士制度	日本技術士会 四国本部 修習技術者支援委員会 委員	松本 直	

27. 12. 12	第 37 回 CPD セミナー・公開講座			38 (17)
	四国遍路の歴史と文化～世界への発信～	愛媛大学 法文学部 教授、四国遍路・世界巡礼研究センター長	寺内 浩	
	愛媛マルゴト自転車道構想について	(株)芙蓉コンサルタント	田村 弘文	
	女性技術士の会について	(株)ダイヤコンサルタント 四国支店	春口 孝之	
28. 1. 19	第 38 回 CPD セミナー (防災講演会)・公開講座			64 (33)
	ビジネスコーチングを通じた人材育成	オフィス 123 代表	谷 益美	
	四国の防災・減災と四国圏の将来の姿	国土交通省 四国地方整備局 局長	石橋 良啓	
28. 1. 23	第 12 回青年技術士交流会			17 (4)
	幕末期 徳島藩と洋学	徳島城博物館学芸員	森脇 崇文	
28. 1. 29	第 39 回 CPD セミナー・公開講座			46 (20)
	人材育成と技術者倫理	(株)ファルコン 代表取締役	古野 隆久	
	これからの林業における人材育成～ネパールにおける架線技術者育成を含めて～	徳島県 東部農林水産局 次世代林業プロジェクト担当課長	早田 健治	
	人材に関する考え方と取組み～心地よい会社を目指して～	(株)西瀨スレート工業所 代表取締役	西瀨 正和	
28. 1. 30	第 24 回修習技術者支援セミナー、技術士第一次試験合格者祝賀会			14 (5)
	技術士制度・試験と修習	四国本部修習技術者支援委員会副委員長	友近 榮治	
	合格体験談発表	新合格者 5 名		

#### 九州本部

27. 4. 4	北九州港の過去・現在・未来	北九州市 港湾空港局 整備保全部長	吉田 春彦	43 (7)
	身近なエネルギー消費と工場の省エネ活動	戸田工業 (株)	鈴木 真吾	
27. 4. 18	世界のエネルギー情勢と日本のエネルギー政策の在り方	日本エネルギー経済研究所 研究顧問	十市 勉	67 (20)
	日本技術士会の活動	日本技術士会 九州本部 本部長	甲斐 忠義	
	技術士倫理について	日本技術士会 九州本部 副本部長	沼尻 健次	

27. 5. 23	活性汚泥法誕生から 100 年、下水処理の現状	キュウセツ AQUA (株) 顧問	真鍋 和義	35 (1)
	細胞が開く未来	(株) アステック 技術開発部 学芸研究員	緒方 貴宏	
	世界の歴史的建造物の評価～欧州等における石材・煉瓦等の技術遺産を考える～	中国水工 (株) 統括部長	松原 好直	
27. 5. 30	明治日本の産業革命遺産を世界文化遺産へ～先人技術者たちから未来へのメッセージ～	北九州市 技術監査室 次長	牟田 英昭	93 (8)
	水城跡の発掘調査	福岡県教育庁 文化財保護課 係長	杉原 敏之	
	農業水利の歴史と特徴 - 筑後川中流 4 堰を例として -	九州大学 名誉教授、農業土木事業協会 会長	黒田 正治	
	リサーチ&コミュニケーション	(株) プリミティブドライブ 代表	徳永真木子	
27. 6. 6	産業アーキテクチャの変化、インテグラクとモジュール	西部電気 (株) 管理部 知的財産グループ リーダー	森川 敏郎	30 (3)
	腐食防食解析及び材料評価事例	日鉄住金環境 (株) 北九州センター 腐食防食室長	堀江 亮平	
27. 7. 11	北九州 e-PORT 構想 2.0	九州ヒューマンメディア創造センター 事務局長	山田 修司	38 (3)
	パブリックトイレの目指してきたもの	TOTO (株) トイレ空間設計部技術主査	大里信一郎	
	福岡県工業技術センター化学繊維研究所の技術支援業務および研究業務の紹介	福岡県工業技術センター 化学繊維研究所 専門研究員	有村 雅司	
27. 7. 18	九州大学における工学教育・研究の現状と取組み	九州大学 副学長、工学研究院 社会基盤部門 教授	日野 伸一	45
27. 7. 25	リハビリテーション支援ロボットの開発とその臨床試験	九州労災病院 門司メディカルセンター 院長	蜂須賀研二	95 (9)
	これからの防災・減災-水害・土砂災害を中心として-	国土交通省 九州地方整備局 河川部長	森川 幹夫	
	地理情報で読む福岡の平野と私たちの暮らし	福岡教育大学 教育学部 自然地理学研究室 教授	黒木 貴一	
	技術士・県議会議員から見た県土整備行政について	福岡県議会 県土整備委員長	平井 一三	
27. 8. 8	ものづくり中小企業、今後の取組み	小山技術士事務所 所長	小山 勝彦	8
	日本の知財コンサルの位置づけ	安倍国際特許事務所	下田 正寛	

27. 8. 22	軟弱地盤上の河川コンクリート構造物の維持管理マニュアル～河川コンクリート構造物劣化メカニズムとその対策～	国土交通省 長崎河川国道事務所 道路管理第二課係長	古賀 忠直	30 (3)
	四次元哲学 (BEST 理論及び応用) - その1	日進コンサルタント(株) 設計部 次長	鐘 廣喜	
	再生可能エネルギー導入促進に向けて	北九州市 環境局 環境未来都市推進部 係長	村上恵美子	
27. 9. 19	有効な知的資産の活用～知的財産の価値について考える～	特許業務法人 安倍・下田国際特許事務所	下田 正寛	47 (4)
	鑄造技術者としての夢への挑戦～不屈の心で～	ミヤタハイメック品質技術研究所 代表	宮田 守次	
	マラウイ共和国の保健医療の現状と課題 (工学等との連携の模索)	聖マリア病院 国際事業部 臨床検査技師	山崎 裕章	
27. 10. 17	下関技調の業務概要	下関港湾空港技術調査事務所 調査課長	南 正治	40 (6)
	海岸環境における海象の再現技術	(株)三洋コンサルタント 取締役 調査部長	西井 康浩	
27. 10. 23	森林林業の現状と課題について	福岡森林管理署 署長	西林 寺隆	70 (40)
	木製品としての和ゴマを利用した旧来の子供社会の再生	福岡県和ごま競技普及協会 会長	藤田 弘毅	
	福岡県におけるシカの生息および被害状況について	福岡県資源活用研究センター 森林林業部長	池田 浩一	
	気候変動に伴う降雨の増加と山地災害の今後	九州大学 農学研究院 教授	久保田哲也	
27. 10. 24	静圧空気軸受設計法と高速スピンドルへの適用	末松技術士事務所	末松 正典	6
	裁判所における争いの事例及び、最近の技術まとめ	自営業	久富 浩明	
27. 11. 6	東日本大地震・津波からの復興について	福岡市 監査事務局 工事監査第1係長	小峰 和彦	37
	ひまわり 8号による災害予測の進歩等について	福岡管区气象台 気象防災部 次長	用貝 敏郎	
27. 11. 21	明治日本の産業革命遺産 製鉄・製鋼、造船、石炭産業～世界遺産、登録基準への挑戦	北九州市 技術監理室 次長	牟田 英昭	108 (13)
	環境に配慮した公共事業	国土交通省 九州地方整備局 企画部 環境調整官	酒井 俊次	
	環境配慮とものづくり～上流から下流まで～	北九州市 環境局 環境未来都市推進部 温暖化対策課長	作花 哲朗	
27. 12. 5	科学技術と工学発展の歴史 (特に西洋史との関連について)	(株)唯設計事務所 理事	甲斐 忠義	51 (1)
	認知症の早期発見と予防	門司メディカルセンター・神経内科部長	由比 友顕	

27. 12. 12	ICT の活用によるインフラ維持管理の効率化と確実性の向上	パシフィックコンサルタンツ(株) 交通基盤事業本部 チーフ・プロジェクトマネージャー	小沼恵太郎	68 (35)
	九州の特殊土地盤と向き合う	(株)ダイヤコンサルタント	矢ヶ部秀美	
27. 12. 19	グローバル化時代を担う九州大学理工系の技術者教育の取り組み	九州大学 副学長	日野 伸一	52 (15)
	プロフェッションと技術者～社会に求められる技術者とは～ パネルディスカッション	九州大学 副学長	日野 伸一	
		K I G S 調査研究室長	園田 澄利	
		日揮触媒化成(株) 執行役員	小柳 嗣雄	
		九州ヒューマンメディア創造センター 事務局長	山田 修司	
		九州工業大学 教授 産学連携センター長	赤星 保浩	
(株)三洋コンサルタント 取締役 調査部長	西井 康浩			
28. 1. 16	海洋微細藻類由来グリーンオイルに求める価値と生産技術の開発状況	電源開発(株) 若松研究所 主任研究員	松本 光史	39 (6)
	「混銑車」はいかにして作られたのか	北九州機械技術士事務所	瀬瀬 良男	
	水質管理におけるミクロ的・マクロ的視点	大管工業(株) 設計課	赤石 維衆	
28. 2. 6	熱間圧延ロールの製造法	三菱重工環境・化学エンジニアリング(株)	松永榮八郎	13
	バイオマックス・フレキシブル透明導電膜素材の開発と比較検討	日揮触媒化成(株)	小柳 嗣雄	
28. 2. 20	液晶ディスプレイ発展の系統化調査	国立博物館 元主任調査員	武 宏	54 (25)
	品質工学・MATLAB 活用による曖昧事象の定量化	MOST(合) シニアコンサルタント	川野 健一	
28. 2. 27	科学技術と工学発展の歴史	(株)唯設計事務所 理事	甲斐 忠義	58 (3)
28. 3. 18	多様な人たちと生き物がつくる「土木」の可能性	九州大学大学院 工学研究院 環境社会部門 准教授	清野 聡子	47 (8)
	形式知「3. 11」の一部と技術者倫理	九州大学 名誉教授、北九州市立大学 名誉教授	松藤 泰典	
28. 3. 19	北九州における表面処理技術の歴史と発展	ミヤタハイメック品質技術研究所 代表	宮田 守次	77 (46)
	世界に誇る日本の食文化	大分大学 工学部 応用化学科 准教授	平田 誠	

### 資料 47 地域本部における主な見学会

※ 右欄の数字は参加者数、( )はそのうち一般の参加者数を示す

北海道本部	27. 7. 8	青函トンネル他（新函館北斗駅【渡島大野駅】、白符斜坑口、吉岡斜坑基地、吉岡定点ほか）	12 (3)
	27. 7. 24	JX 室蘭製造所、新日鉄住金室蘭製鉄所、エコワークス苫小牧	18 (3)
	27. 9. 9	J ファーム苫小牧(株)	16 (7)
	27. 9. 16	道の駅サーモンパーク千歳、千歳川遊水地群工事現場	36 (7)
	27. 9. 16	日信工業プレーキテストコース、北の峰トンネル施工現場、十勝岳火山砂防情報センター、青い池	21 (3)
	27. 10. 16	水道施設見学会（平岸配水池、白川浄水場）	41 (34)
	27. 11. 12	都市計画道路 3・4・47「文教通り工事現場視察」、函館山麓：「山背泊急傾斜地工事現場」	40 (28)
	27. 11. 13	苫東ファーム、北海道曹達(株)	19 (4)
	27. 11. 27	北海道糖業(株) 道南製糖所	12 (6)
東北本部	27. 7. 17	相馬市～南相馬市の津波災害復興状況 [福島第一原発 20km 圏内ツアー]	15
	27. 7. 31	赤川頭首工補修等建設工事、及び庄内あさひ農地保全排水トンネル建設工事現場	33 (17)
	27. 10. 29	国道 108 号花湊山バイパス・鳴子ダム現場	14
	27. 10. 29	東北電力(株) 女川原子力発電所	17 (4)
	27. 11. 5 ～ 6	スマートモビリティシティ 2015、日産自動車追浜工場、警視庁交通管制センター、道路交通情報通信システムセンター	11 (1)
	27. 11. 6	国土交通省 釜房ダム施設	25
	27. 12. 3	東北電力(株) 女川原子力発電所	6 (1)
北陸本部	27. 7. 10	清川メッキ工業(株) 及び セーレン(株) 生活科学総合ステーション ビスコテックスセンター	38
	27. 11. 13	新潟市鳥屋野潟周辺、三条市笠堀ダム工事現	22 (20)
中部本部	26. 6. 6	東山動植物園の動物会館・園内	10
	26. 8. 29	ヤクルトの製造工程見学	9
	26. 9. 2	名古屋港水族館バックヤード	11 (1)
	27. 11. 8	三重大学	19
	28. 1. 16	工事現場見学会：中部地方整備局名四国道事務所発注物件 ・平成 26 年度 155 号豊田南 B P 東新道路建設工事 ・平成 26 年度 153 号豊田北 B P 矢作川橋右岸下部工事	22
	28. 1. 23	名古屋工業大学大学院工学研究科森田教授研究室ラボツアー	39

近畿本部	27. 5. 21	あべのハルカス「バックヤードツアー」	15 (4)
	27. 6. 5 ～ 6	未来工業、三重ゴミ固形燃料発電所、シャープ亀山工場	23 (9)
	27. 6. 13	トッパンメディアプリンテック関西（朝日新聞社大阪工場）	21
	27. 6. 14 ～15	福島復興支援ツアー	3
	27. 7. 13	アサヒビール 吹田工場	10
	27. 9. 16	大阪府防災センター 及び 大阪府庁周辺設備	16
	27. 9. 16	西日本高速道路 吹田管制センター&マテハン 日に新た館	16
	27. 10. 1	京都市上下水道局、琵琶湖疏水記念館、琵琶湖疏水取入れ口 及び 積水化学栗東工場	21
	27. 10. 3	月桂冠大倉記念館	12
	27. 10. 26	ハードロック工業(株) 及び (株)アオキ	30 (12)
	27. 11. 20	カケンテストセンター	25 (11)
	27. 12. 16	ヤンマー新本社ビル	31
	28. 2. 17	岩谷産業(株) 中央研究所及び水素ステーション	30
中国本部	27. 9. 11	国土交通省休山トンネル(Ⅱ期) 工事現場 及び 海上自衛隊 呉地方総監部 新Fバースほか	30 (8)
	27. 10. 30	三菱電機(株) 福山製作所 及び 世羅ワイナリー	16 (2)
	27. 11. 7	就実・森の学校	34 (7)
	27. 12. 5	世界遺産となった近代日本の産業遺産研修 松陰神社(松下村塾)、松陰先生誕生地、萩反射炉、恵美須ヶ 鼻造船所跡、萩市城下町散策 及び 大河ドラマ館	36
四国本部	27. 6. 13	高知県立文学館	27 (5)
	27. 9. 5	平賀源内記念館 及び 平賀源内旧邸	24 (3)
	27. 9. 12	平成16年豪雨土砂災害復旧現場(新居浜市多喜浜地区)	99 (74)
	27. 10. 24	松山城登城(松山観光ボランティアガイド)	29 (9)
	27. 11. 28	高知市立自由民権記念館	13 (1)
	28. 1. 23	徳島城博物館及び城郭	17 (4)
九州本部	27. 9. 17	福岡市中部水処理センター 及び 北九州市三菱マテリアル	44
	27. 10. 17	下関市東大和町・国土交通省九州地方整備局下関港湾空港技 術調査事務所水理実験センター	40 (6)
	27. 10. 19	伊良原ダム建設事業・旧蔵内邸	34 (4)
	27. 11. 5	九州大学水素エネルギー国際研究センター 及び 水素エネル ギー製品研究試験センター	24
	28. 1. 28	大木町資源循環センター、筑後川下流左岸土地改良事業 及び 水資源機構筑後大堰他施設	13



資料 48 地域本部管轄下の県支部における主な講演会等

※ 右欄の数字は参加者数、( )はそのうち一般の参加者数を示す

東北本部 宮城県支部

27. 7. 22	少子高齢期の仙台都市圏の課題は なにか、新たなモビリティ確保方 策	宮城大学 事業構想学部 事 業計画学科 教授	徳永 幸之	95 (9)
27. 7. 28	本格的な維持管理、更新時代を迎 えた高速道路にどう対処するのか ～ドイツ・オーストリアの高速道 路戦略マネジメント～	(株)ネクスコ・エンジニアリ ング東北 社長	末岡 眞純	51 (10)
27. 8. 20	原子力発電所における防災対策の 現状と備えについて	東北電力女川発電所 部長	内海	31
		東北電力女川発電所 課長	門脇	
	千年に一度のまちづくり現場見学 と女川駅見学	おながわまちづくりJV 所長	宮本 久士	
27. 10. 22	新しい安全の考え方～Safety-II とレジエンスエンジニアリング 科学技術由来の負の作用（事故や 環境への影響）に関する捉え方と 対応を解説～	東北大学 名誉教授・(株)テ ムス研究所 所長	北村 正晴	47 (2)
27. 10. 30	第 11 回環境対応セミナー 東北地方の火山活動と防災	仙台管区気象台 地震火山課 監視・情報センター 火山防 災官	水岸 研二	53 (17)
		気象予報士・防災士	鈴木 智恵	
28. 2. 25	東日本大震災の対応について～大 震災から得た教訓～	(株)復建技術コンサルタント 理事	熊谷 順子	47 (9)

東北本部 青森県支部

27. 7. 4	斗南藩の人々から学ぶ「もの作り」 の精神	青森県文化財保護協会 常任 理事	滝尻 善英	48 (34)
	私が海外生活で経験し学んだこと	元新潟大学 教授・博士(工 学)	青山 清道	
27. 8. 21	新しい地質調査機器	応用計測サービス(株) 常務 取締役	比留間誠之	48 (16)
	青森県で観測された地震動と地盤 の関係	弘前大学 准教授・博士(工 学)	片岡 俊一	
27. 9. 12	南極観測隊員の経験談と海岸植生 の復旧・保護について	八戸工業大学 准教授・博士 (理学)	鮎川 恵理	23 (9)
	土木構造物に関する最近の話題	八戸工業大学 教授・博士(工 学)	長谷川 明	

東北本部 秋田県支部

27. 4. 11	資質向上講演会	NPO 法人 WAC おばま 理事長	鳥居 直也	87 (44)
27. 7. 11	秋田の創生と技術士の係わり	秋田まると地球博物館 ネットワーク代表(理学博士)	佐々木詔雄	52 (10)
27. 10. 30	御嶽山・岩手山の噴火対応の事例に基づく火山防災対応ネットワークづくり	岩手大学 名誉教授	齋藤 徳美	51 (15)
28. 1. 22	土木地質及び地理情報に関する技術発表	ジオテックコンサルタント(株)	石井 英二	53 (15)
		(株) 眞宮技術	福岡 修	

東北本部 福島県支部

27. 6. 25	地盤改良工法と品質管理について	(株) 不動テトラ	安藤 滋郎	111 (43)
	技術者倫理およびリスクマネジメント	日本大学 工学部 教授	中村 晋	
27. 10. 15	ふくしまの復興と技術者の役割	福島県 土木部長	大河原 聡	61 (35)
	風力発電の現状・課題と研究開発状況	国立研究開発法人産業技術総合研究所 再生可能エネルギー研究センター チーム長	小垣 哲也	
	地中熱システムと日本における普及課題について	国立研究開発法人産業総技術総合研究所 再生可能エネルギー研究センター チーム長	内田 洋平	
28. 2. 4	近年の気象と災害	気象庁 福島地方気象台 次長	荻野 慎司	55 (22)
	東日本大震災及び原子力災害からの農林水産業復興の取り組みについて	福島県 農林水産部 技官	大谷 秀聖	

東北本部 山形県支部

27. 4. 24	技術士合格のために	山形県 環境エネルギー部	西塚 一茂	60 (40)
	私の技術士合格体験	山形県 農林水産部	安達 公一	
	二部門目の受験体験	山形県支部 企画広報委員	中臺 直之	
	総監部門を合格して	山形県支部 技術委員	玉津 卓生	
27. 7. 3	自然にひそむ数学	国立鶴岡工業高等専門学校 名誉教授	佐藤 修一	58
27. 11. 13	21世紀型タグチメソッドの実践的活用	鶴岡工業高等専門学校 教授	當摩 栄路	80 (53)
	蔵王火山の噴火史と現状について	山形地方気象台 防災指導係長	巻 和男	

東北本部 岩手県支部

27. 7. 31	東日本大震災の復旧復興事業における住民合意形成について	国土交通省 北上川ダム統合管理事務所 所長	佐藤 伸吾	42 (11)
27. 11. 8	北上川と私	公益財団法人 岩手県下水道公社 理事長	若林 治男	51 (21)
	災害は忘れたところに	一般社団法人 東北地域づくり協会 技術企画部長	西條 一彦	
28. 1. 18	後藤新平の帝都復興からの学び	岩手県土地開発公社 常務理事	小野寺徳雄	80 (45)

北陸本部 富山県支部

27. 7. 4	電気電子機器の裏方 スイッチング電源について	コーセル(株)	白石 信行	56 (5)
	北陸地方の地形と気象特性を知って防災に活かす	元国土交通省 大町ダム管理所 所長	杉本 利英	
	高低差 4000mに暮らす微生物たち	富山大学大学院 理工学部研究部 教授	中村 省吾	
28. 3. 5	富山大橋の秘密を探る旅	富山県 富山土木センター管理検査課 プロジェクト推進班 副主幹	山中 久生	43
	防災力向上と技術力	国土交通省 北陸地方整備局 信濃川河川事務所 事務所長	日下部隆昭	
	ドローン(クアドコプタ)の開発の話	富山高等専門学校 電気制御システム工学科 教授	佐藤 圭祐	

中部本部 愛知県支部

27. 11. 22	エネルギー問題を考える	松田技術士事務所	松田 則雄	24
	資源・エネルギー・環境の動向	(有)愛知環境機構	櫻井止水城	
	事例から学ぶ安全保障とリスクマネジメントと危機管理	PEK 長谷川技術士事務所	長谷川欽一	
28. 2. 13	青色LEDの開発・展望	豊田合成株式会社	太田 浩一	126 (15)

中部本部 岐阜県支部

27. 5. 9	社会人の学び直し事業から考えられること	岐阜大学 工学部 附属インフラマネジメント技術研究センター 教授	沢田 和秀	18
27. 7. 4	設備工事業と自動制御	朝日設備工業(株) 代表取締役	渡邊 直哉	26 (3)
27. 9. 5	昨今の放送事情について	NHK岐阜放送局 局長	山内 雄敦	54 (15)

27. 11. 7	わが国の森林の現状について	大同コンサルタンツ(株)	長谷川洋昭	25
	航空機装備品への適用技術について	川崎重工業(株) 航空宇宙カンパニー 第一装備技術部 機体装備課長	米田 治史	
28. 1. 9	航空機産業の現状と国旅客 MRJ	田島技術士事務所 所長	田島 暎久	31 (1)
	賢い脳の使い方	岐阜大学 工学部 生命工学科教授 医学博士	木内 一壽	
28. 3. 5	理論どおり解決できない事故・機械はなぜ壊れるのか	エムシー技研(有) 代表取締役	中平 真一	42 (15)
	これからどうする、道路橋の維持管理 (岐阜県の場合)	大日コンサルタント(株)	細江 育男	

#### 中部本部 三重県支部

27. 10. 17	光の文化を変えた青色発光ダイオード	三重大学 工学部 教授	三宅 秀人	43 (3)
------------	-------------------	-------------	-------	--------

#### 中部本部 静岡県支部

27. 8. 8	現代社会において技術士に求められる役割	静岡大学 名誉教授	興 直孝	101 (22)
27. 12. 12	中国ビジネス	MPP KOMATSU(株) 技術部 技術アドバイザー	森 一明	34
		静岡県 日中友好協議会 事務局長	高林 久記	
		日中管理学院(株) 事業部長	魚屋 将	
		新生テクノス(株) 設計コンサルティング部 担当部長	岡井 政彦	
		静岡県 中小企業診断士協会 会員	小川 裕史	
	技術士が実施する小学校理科特別教室とテクノカフェー	吉田技術士事務所 所長	吉田 建彦	
	牧之原市との間で進めている防災協定について	(株) 東海フォレスト環境事業部 環境事業部長付	山之上 誠	
28. 1. 16	中小企業向け BCP ～BCP を深化させるために～	井辺技術士事務所 代表	井辺 博光	14
	広島土砂災害被災者支援活動/防災支援員に求められる活動	吉田技術士事務所 所長	吉田 建彦	
28. 1. 23	広島土砂災害被災者支援活動/防災支援員に求められる活動	吉田技術士事務所 所長	吉田 建彦	16

28. 2. 13	イプシロンロケットの挑戦	国立研究開発法人 宇宙航空研究開発機構 イプシロンロケットプロジェクトマネージャー	森田 泰弘	40 (4)
	日立技術士会の理科教育支援活動について	林技術士事務所 所長	林 誠	
	「はやぶさ」発信の電力制御技術が鉄道を走らせる	新生テクノス(株) 設計コンサルティング部 担当部長	岡井 政彦	
28. 3. 5	広島土砂災害被災者支援活動/防災支援員に求められる活動	吉田技術士事務所 所長	吉田 建彦	15

中国本部 岡山県支部

27. 4. 11	技術士への期待	津山工業高等専門学校 校長	則次 俊郎	29 (7)
27. 5. 9	ビジネスマンのネット社会における情報セキュリティ	(株) ジオブレン	小林 昇	14 (3)
27. 6. 6	中山間地域の現状と取組	NPO 法人 みんなの集落研究所 首席研究員	阿部 典子	39 (6)
	まちづくりにおける技術者の可能性	公益財団法人 みんなでつくる財団おかやま 代表理事	石田 篤	
27. 8. 2	備中松山城と山田方谷	元高梁市教育長	石井 保	39 (6)
27. 10. 17	スマートフォンの活用とモバイル機器の基礎講座	LFコンサルタント	長原 基司	22 (2)
27. 11. 7	就実森の学校について	学校法人 就実学園	石田 省三	32 (2)
	森林の変遷と里山	学校法人 就実学園 理事長	千葉 喬三	
	里山のこれから	岡山県 農林水産総合センター 森林研究所	石井 哲	
27. 12. 12	地域防災について	(株) ウェスコ	井上 真	36 (8)
	夏休み自由研究支援による社会貢献活動	大和クレス(株)	岡 正臣	
	倉敷市のまちづくりについて	倉敷市 副市長	河田 育康	
	協働のまちづくり推進に向けた大学の取り組み	岡山大学 地域総合研究センター 副センター長	三村 聡	

## 九州本部 大分県支部

27. 6. 6	大分市まちづくりの 25 年-3 つエリアのプロジェクトの歴史と現在-	まちづくり研究所 大分大学 名誉教授	佐藤 誠治	104 (84)
	強力永久磁石を用いた足場	櫻井技研工業(株) 代表取締役社長	櫻井 靖久	
	自然環境や景観に配慮した地山補強土工法 (ユニットネット工法) について	(株)ダイカ 商事営業部 部長	寺岡 克巳	
	防災と環境	日建工学(株) 技術部 顧問	中西 敬	
	災害時におけるコンクリート製品の活用について	(株)ヤマウ GI	櫻木 喜久	
27. 9. 5	被災地の支援活動から	福祉フォーラム in 別荘・速見実行委員会	村野 淳子	75 (50)
	土質から判断する砂防ソイルセメント (転圧タイプ・流動化タイプ) 工法の”使い分け”技術について	JEF 建材(株) 防災商品営業部 副部長	岩村 和豊	
	おおいた姫島ジオパークにおける地域資源の活用	姫島村企画 振興課	堀内 悠	
	ニュージーランド・クライストチャーチの復興状況報告 (レジリエンスに関する一考察)	大分県建設技術センター 理事長	畔津 義彦	
	アダムウォール工法設計・施工について	前田工織(株) 課長代理	廣田 慎司	
27.12. 5	光学的計測技術の開発と建設工学分野への利用~軍艦島 RC 造構造物の 3D 計測	長崎大学 工学研究科 構造工学コース 教授	松田 浩	51 (29)
	防災・減災の地山補強土工法 (PAN WALL 工法) について	PAN WALL 工法協会 次長	吉金 正益	
	自分の業務 (現場) に 自分なりの係数を見つけ出す	(株)日建コンサルタント	冷川 久敏	
	労働安全衛生法への理解と実践について	(株)大分中央コンサルタント 技術管理部長	松尾 洋志	
	港湾施設の維持管理について	西日本コンサルタント(株) 福岡支店長	中原 和之	

## 九州本部 鹿児島県支部

27. 5. 16	鹿児島県の活断層と地震・津波発生の可能性	大分大学 名誉教授	千田 昇	60 (30)
	南九州の火山活動史	鹿児島大学 准教授	井村 隆介	
27. 8. 22	遺跡にみる火山噴火と地震	武岡台高校 教諭	成尾 英仁	36 (18)
	南九州沿岸域の特徴的な海象事例の紹介と考察	(株)三洋コンサルタント 部長	西井 康浩	

27. 11. 14	再生可能エネルギー「地熱発電」について	日鉄鉱業(株) 技術顧問	御幸 和則	49 (29)
	最近の土砂災害の特徴と防災研究	鹿児島大学 教授	地頭菌 隆	
28. 2. 13	福岡工業大学工学部電気工学科の パワーエレクトロニクス 他	福岡工業大学 教授	大山 和宏	53 (24)
	コンクリート構造物の長寿命化と そのための意義と各種取組	鹿児島大学大学院 教授	武宮 耕司	

#### 九州本部 宮崎県支部

27. 8. 1	里山再生と市民治山	京福コンサルタント(株) 技師長	鳥居 直也	67 (36)
	宮崎の起業・新規事業を加速させる チャレンジ文化の創世	宮崎スタートアップバレー 行動代表	土屋 有	
27. 11. 20	景観と色彩の活かし方	イゴス環境・色彩研究所 所長	山口ひろ子	36 (34)
28. 1. 23	山岳トンネルの先端技術	宮崎大学工学部准教授	瀬崎 満弘	38 (21)
	施工現場問題解決事例その1	坂口建設(株)	松岡 重孝	
	施工現場問題解決事例その2	上田工業(株)	伊藤 信政	

#### 九州本部 佐賀県支部

27. 5. 30	繰り返す斜面災害 その実態と対応の課題	NPO 法人研究機構ジオセーフ 理事	矢ヶ部秀美	38 (19)
	有明海と佐賀平野	有明海ぐるりんネット会員、 NPO 法人嘉瀬川交流軸 幹事	竹下 泰彦	
27. 11. 28	東日本大震災等からの教訓と佐賀 県の防災 減災について	佐賀県庁	鳥井 雪広	36 (17)
	気象予報技術と佐賀 長崎の防災 について	国土交通省九州地方整備局 長崎河川国道事務所	古賀 忠直	

#### 九州本部 熊本県支部

27. 6. 20	多発する土砂災害とそのソフト対策	熊本大学 名誉教授・工学博士/ (株)中央土木コンサルタント	北園 芳人	33 (7)
	私に関わった道路ノリ面・急傾斜 地の崩壊対策工法(防災ハード対策) 事例	サンヨーコンサルタント (株) 技術部長	津山 輝男	
27. 8. 20	有明海再生における 4 県協調の 取り組み	農林水産省 九州農政局 整備部	清野 哲生	59 (54)
	直轄海岸保全施設整備事業玉名横 島地区「環境と防災の取組」	農林水産省 九州農政局 玉 名湯興し真海岸保全事業所	荘田 祐次	
27. 9. 3	産業廃棄物の建設材料分野への有 効利用について	熊本高等専門学校教授	浦野登志雄	80 (70)

	コンクリート用細骨材について	熊本大学教授	重石 光弘	
	東日本大震災に被災した福島県内のため池の調査方法と結果について	(株)日本水工コンサルタント	千代田 淳	
	橋梁の維持・補修・補強	ショーボンド建設(株) 西日本支社	竹本 博	
27. 10. 3	八代海・有明海の再生へのシナリオ	熊本大学 名誉教授	滝川 清 他 16 名	373 (360)
27. 11. 3	九州各県の再生可能エネルギー開発状況	森技術士事務所	森 津一	14
	小水力発電で地域がよみがえる	熊本県小水力利用推進協議会 委員長	兼瀬 哲治	
	熊本県支部防災研究会 WG の設立	サンヨ-コンサルタント(株)	津山 輝男	
27. 12. 4	諫早湾干拓調整池及びその周辺における自然環境	農林水産省 九州農政局 次長	瀧戸 淑章	65 (53)
	沖合覆砂による有明海のタイラギ資源回復に向けた取り組み	一般社団法人 全国水産技術者協会 研究海発部	新井 義昭	
27. 12. 11 ~ 28. 1. 7	熊本大学工学部キャリアデザインセミナー	サスティナ共創研究所 所長	小島 義博	(295)
		森技術士事務所 所長	森 津一	
		(株)九州リアップ ロダック	中尾 勇二	
		(株)福山コンサルタント 技術部長	山内 稔	
		(有)中央総合設備	吉井 章	
		千代田工業(株)	鵜殿 暁子	
28. 2. 18	熊本県立大学資格の勉強会	森技術士事務所 所長	森 津一	40
28. 2. 27	ストックマネジメント事業のうち事業化の前段調査について	(有)大脇測量設計	宮津 高公	25 (3)
	土木のアセットマネジメントについて(今後更新時期を迎える土木構造物の延命化の視点)	(株)有明測量開発社	高山 祐二	

#### 九州本部 長崎県支部

27. 6. 20	九州新幹線西九州ルート	長崎県 土木部 新幹線事業対策室長	有吉 正敏	50 (20)
	光学的計測手法の土木工学分野への利活用について	長崎大学大学院 工学研究科教授	松田 浩	
27. 11. 27	地域資源・地域特性を活用した再生可能エネルギーの導入を目指して	長崎県 産業労働部 係長	岩永 俊一	29 (14)
	道路行政に関する最近の話題	長崎河川国道事務所 所長	木村 康博	



資料 49 関東甲信地域の県支部における主な講演会等

※右欄の数字は参加者数、( )はそのうち一般の参加者数を示す

神奈川県支部

	第 17 回情報交流会			
27. 4. 4	専門知識や専門ソフトは要らない 全自動画像処理システム (かなが わビジネスオーディション 2015 県 支部賞受賞)	(株)とことん 代表取締役	荒井 潤一	104 (31)
	強靱な生産プロセスの構築	NEC スパークテクノロジー (株) エク ストエンジニア	小川 文輔	
	3D スキャナと 3 次元 PDF 活用のご 紹介	東海大学 海洋研究所 地震 予知研究センター	古瀬 慶博	
	第 33 回 CPD 講座			
27. 5. 9	環境問題の現状と展望・グローバ ルな水環境と問題点およびその将 来について	横浜国立大学大学院 環境情 報研究院 教授	藤江 幸一	77
	化学物質を中心とした”環境”を めぐる諸問題点とリスクマネジメ ント	(有)環境資源システム総合 研究所 技術顧問	茂岡 忠議	
	第 10 回公開講座			
27. 5. 15	労働法・安衛法が変わる・労務問 題の現状と企業の対応	特定社会保険労務士	岩谷 房雄	37 (4)
	法改正に対応するプレス機械及び 板金加工機の最新安全技術	栗島技術士事務所 代表	栗島 建治	
	第 18 回情報交流会			
27. 6. 6	防災支援の現況今後の対策につい て	旭調査設計 (株)	吉田 圭佑	44
	製品開発設計全体をスムーズに進 めるプロジェクトマネジメント	三菱電機 (株) 人材開発セン ター	渡辺 孝	
	テクノトランスファー in かわさき 2015			
27. 7. 10	技術士による地域企業支援の具体 策について	栗山技術士事務所 所長	栗山 博	14
	第 36 回 CPD 講座			
27. 7. 14	人間と共存する次世代ロボットの 実用化	マッスル (株) 代表取締役	玉井 博文	28
	第 4 回年次大会第・35 回 CPD 講座			
27. 7. 31	科学者・技術者の信頼と社会	東京大学大学院 教授	横山 宏美	98 (8)

27. 8. 22	第4回サイエンスカフェ			47
	絵葉書が語る三菱横浜の技術変遷	三菱日立パワーシステムズ エンジニアリング(株) 社長	牧浦 秀治	
27. 8. 28	第11回一般講座			41 (5)
	売上倍増のための社会体制づくり	社会保険労務士	横田 宏	
	強靱な生産プロセスの構築	NEC スパ-テクノロジー(株)	小川 文輔	
27. 10. 8	第5回オープンテクノフォーラム 第38回CPD講座			72 (5)
	ものづくりの新しい視点	東海大学工学部 教授	内田 裕久	
	これからの製品開発、事業開発	オフィスこやの 代表	小谷野文雄	
	中小企業の国内で生き残るための 新規開拓	(株) 深沢製作所 代表取締役 社長	栗原 正雄	
27. 10. 10	第19回情報交流の会			49
	マイクロナノバブル	佐々木技術士事務所 代表	佐々木久美	
	防災支援	旭調査設計(株)	吉田 圭佑	
	複写機と品質管理	庄司技術士事務所 代表	庄司 尚史	
	ゴルフクラブの技術情報	横浜ゴム(株) 技術グループ	中原 紀彦	
27. 10. 24	技術士開業及び業務開拓のための研修会 第39回CPD講座			52 (1)
	基本的心得	岩崎技術士事務所 代表	岩崎 博	
	県支部業務紹介の仕組み	藤井技術士事務所 代表	藤井 貞雄	
	技術士の業務開拓についての司会	POLESTAR 北本技術事務所 代 表	北本 達治	
	HP 利用で業務開拓	平田技術士事務所 代表	平田 政司	
	HP 利用で業務開拓	(株) イーエムインシアティブ 代表	江口 一海	
	公的機関で業務開拓	(株) 巡る技	原 眞一	
	公的機関で業務開拓	(有) タウ総研 代表	関 隆治	
27. 11. 10	第40回CPD講座			32
	ロボット開発セクター・ロボット 産業支援	都立産業技術センター ロボ ット事業推進部 研究員	倉持 昌尚	

27. 11. 22 ～ 23	第 3 回理科教室			100 (80)
	青少年ロボフェスタ 2015 実用ロボットの紹介と理科教室	三菱日立パワーシステム (株)	高祖 峰夫	
		東京大学 協力研究員	神部 美夫	
		三菱日立パワーシステム (株)	小林 洋一	
	奥村技術士事務所 代表	奥村 貞雄		
27. 12. 5	第 20 回情報交流の会			42
	切削加工の現状	キャノン(株) 生産設計技術 課 第 1 課	島崎 安隆	
	燃料電池電極触媒の基本特性と耐 久性	敬愛技術士事務所 所長	森田 敬愛	
	固体酸化物型燃料電池	柴田格技術士事務所 代表	柴田 格	
27. 12. 19	第 12 回一般講座			37 (2)
	マッチングプランナープログラ ムの解説と企業目線で見た活用方法	国立研究開発法人 科学技術 振興機構 マッチングプラン ナー 研究開発プランナー	板東 嘉彦	
	発明の作り方、守り方	国立研究開発法人 科学技術 振興機構 マッチングプラン ナー 研究開発プランナー フェロー	原田 裕明	
28. 1. 19	平成 28 年賀詞交歓会第 41 回 CPD 講座			96 (14)
	海底資源：開発の現状と最先端の 研究	国立研究開発法人 海洋研究 開発機構 海底資源研究開発 センター長	木川 栄一	
28. 2. 6	第 21 回情報交流の会			51
	温故知新と技術の伝承	最上鑑定技術士事務所 代表	最上 和生	
	神奈川県営城山発電所における管 理設備新工事について	神奈川県企業庁 主任	石上 尚	
	神奈川県支部の防災支援の現状に ついて	旭調査設計(株)	吉田 圭佑	
	有限要素法電磁界解析の新展開	太田周一技術士事務所 代表	太田 周一	
28. 2. 10	第 42 回 CPD 講座			38
	再生可能エネルギーとしてのバイ オマス発電の現況	三菱日立パワーシステムズ (株) ボイラ技術戦略部 ボ イラ技術課 上席主任	横山 康	

28. 2. 3 ～ 5	テクニカルショウヨコハマ 2016			23
	技術士の果すべき役割と責任	飯田 ICT 技術士事務所 所長	飯田 敏幸	
28. 2. 23	技術マッチング「オープンイノベーション」地域産業活性化研究会 in 横浜			100 (39)
	地域イノベーションとオープンイノベーション政策	経済産業省 産業技術環境局 技術政策企画室長	竹上 嗣郎	
	大阪ガス(株)におけるオープンイノベーションとニーズ・技術分野	大阪ガス(株) 技術戦略部 オープンイノベーション室 課長	大倉 良一	
	(株)大気社のオープンイノベーション要求 技術内容・分野の紹介	(株)大気社 環境システム事業部 技術開発センター 副センター長	笹尾 博行	
	よこはまティーエルーオー(株)におけるオープンイノベーションとニーズ	よこはまティーエルーオー(株) 代表取締役社長	井上 誠一	
28. 3. 12	技術士への道ガイダンス			48 (40)
	技術士制度について	アマノメンテナンスエンジニアリング(株) 副社長	福田 遵	
	技術士試験の準備について	かわい技術士・計量士事務所 代表	河相 雅史	
28. 3. 22	第 43 回 CPD 講座			41
	免制震技術と地震対策の現状について	オイレス工業(株) 免制震事業部 技術部長	長田 修一	
	オイレスベアリングの種類と応用事例について	オイレス工業(株) 軸受第一事業部 技術部長	加藤 和夫	

#### 埼玉県支部

27. 5. 30	小さな世界一企業と技術	日本伸管(株) 会長	細沼 哲夫	37 (4)
27. 6. 27	地下空間を利用した浸水対策の課題と対策事例	(株)建設技術研究所 技師長	松本 良一	22 (2)
	新幹線羽田空港駅新設構想について	山下博一 IT 技術士事務所 所長	山下 博一	
27. 7. 4	川越地域における技術士活動について	飛坂技術士事務所 所長 所長	飛坂 基夫	41
	シニア独立開業の事例と課題：私の起業とコンサルタントの体験談	技術士・中小企業診断士橋本隆事務所 所長	橋本 隆	
27. 8. 1	Suica ペンギン空を飛ぶ!	JR 東日本メカトロニクス(株) 代表取締役社長	椎橋 章夫	56 (1)
27. 8. 24	ジオパークを活用した地域振興への取り組み	茨城大学 名誉教授、日本地質学会 理事、日本大学 文理学部 上席研究員、茨城県北ジオパーク運営委員長	天野 一男	25 (3)
27. 9. 24	産学官連携と 6 次産業化について	公益財団法人 流通経済研究所 主任研究員	折笠 俊輔	20 (1)

27. 11. 24	産学協同研究プログラムによる科学技術イノベーションの推進（マッチングプランナープログラム説明と企業目線での利用方法）	国立研究開発法人 科学技術振興機構 イノベーション拠点推進部 マッチングプランナー	板東 嘉彦	15
28. 1. 9	埼玉県営水道の概要	埼玉県企業局長	井上 桂一	53 (1)
	理研小型中性子源 RANS の技術開発	国立研究開発法人 理化学研究所 光量子工学研究領域	関口 芳弘	
	自己管理強化によるプロジェクトマネジメントの高度化に関する研究報告	(株)川越コンサルタント TOP エンジニア・アシスト	小川 哲也	
	2016 年で開業して 10 年～一芸 8 年商売 10 年～	(株)テクノクオリティ 代表取締役	渡部 利範	
	Bemtor Project (インドネシア)	浅賀技術士事務所 所長	浅賀 栄蔵	
28. 2. 6	新規開業基本事項	ベルセッジ・インコーポレーテッド 日本代表	菅原 宏	23
	早くから開業した事例と課題	橋口技術士・中小企業診断士事務所 所長	橋口 政弘	
	60歳過ぎてからの技術士挑戦と70歳過ぎてからの開業事例紹介と課題	村山技術士事務所 所長	村山 肇	
28. 2. 12	技術者倫理「最近の事例を中心に」	飯田 ICT 技術士事務所 所長	飯田 敏幸	35 (2)
28. 3. 10	高レベル放射性廃棄物の地層処分事業について	原子力発電環境整備機構 (NUMO) 技術部部長	山田 基幸	25
28. 3. 19	川越地区における中小企業支援の現状と課題	川越商工会議所 経営支援部	経営支援部 担当者 2 名	41 (2)
	中小企業支援の基本と経営革新	(株)スプラム 代表取締役	竹内 幸次	
28. 3. 26	技術士制度の重点事項の説明	TAKE 国際技術士研究所 所長	黒澤 兵夫	23 (10)
	技術士資格の取得に当たって (体験談 1)	沖電気工業 (株)	小林 健了	
	技術士資格の取得に当たって (体験談 2)	埼玉県 土整備事務所	竹本 浩之	
	諸注意事項について	ベルセッジ・インコーポレーテッド 日本代表	菅原 宏	

#### 山梨県支部

27. 5. 16	問題解決方法としてのユニバーサルデザイン	山梨大学大学院 総合研究部 工学域 機械工学系 准教授	岡村 美好	13 (2)
27. 7. 25	海溝型巨大地震の実態解明と予測システム構築	国立研究開発法人 海洋研究開発機構 地震津波海域観測研究開発センター長	小平 秀一	17 (3)
	防災の心構え	山梨県 総務部 防災危機管理課	担当職員	

27. 10. 15	「山梨県産業技術支援交流会 2015」			34 (20)
	産学連携、地域産業支援の取り組み	山梨大学 COC 推進センター 特任准教授	小澤 理	
	県の成長産業支援施策について	山梨県産業労働部 成長産業 創造課長	飯野 正紀	
	産業支援の取り組み報告	公益財団法人やまなし産業 支援機構 専務理事	市川 勝茂	
	ヤマナシハタオリ産地の活動と支援	山梨県 富士工業技術センタ ー 研究員	秋本 梨恵	
	企業の研究開発をリードする山梨 県品質工学研究会の歩みと成果	(株) 産業革新研究所 代表取 締役	熊坂 治	
	成功は失敗のもと、事例に学ぶ技 術戦略の重要性	A-MEC (株) 代表取締役	秋山 高広	
27. 12. 12	15分ゼミナール	会員技術士9名による研究発表		17 (2)
28. 2. 13	甲府駅南口周辺地域の景観形成	山梨県 県土整備部 都市計 画課 課長補佐	吉野 一郎	16 (3)
	景観空間デザインについて	山梨大学大学院 総合研究部 生命環境学域 社会科学系 教授	大山 勲	

#### 長野県支部

27. 6. 27	2014. 11. 22 長野県北西部地震の地 盤被害について	北陽建設(株) 地質防災室長	宮澤 洋介	35 (1)
27. 10. 17	長野県から世界へ - 多摩川精機 (株)の先端技術の挑戦	多摩川精機(株) 常務取締役	熊谷 秀夫	16 (1)
28. 2. 7	日米欧の橋梁維持管理について学 ぶ	信州大学 工学部 助教	曹 西	41 (18)
28. 3. 26	長野県のものづくりを支える人材 育成～新たに開校する長野県南信 工科短期大学の役割～	長野県 産業労働部 参与	大石 修治	35 (10)
	日本技術士会および長野県支部の 概要、技術士に望まれるもの	日本技術士会 長野県支部 幹事	有賀 良夫	

#### 茨城県支部

27. 4. 4	交渉力アップ	(株)日立製作所 日立産業ソ リューションズ総務本部	鈴木 但義	39 (14)
	修習技術者のための修習ガイドブ ック(第3版)の紹介	日本技術士会 茨城県支部 幹事	小林 守	
27. 6. 13	情報制御システムの変遷	寺本技術士・中小企業診断士 事務所	寺本 和義	18 (1)
27. 7. 4	生活に密着してきた地理情報シ ステム	(株)日立製作所 インフラシ ステム社 電機システム本部	筒井 和雄	24 (3)

27. 7. 26	チーム技魔女のプロボノ・パブリコ	日立技術士会（日立製作所）	西村 丹子	56 (12)
			千木良美由紀	
	あいまいな好感度を戦略的に作り出す	印象エキスパート(株)	柳沼佐千子	
27. 9. 26	ELID 研削用砥石の開発経緯	茨城大学 工学部 機械工学科	伊藤 伸英	25 (6)
27. 10. 7	湊御殿の 3D 景観復元と御殿炎上（水戸幕末史）	茨城県立産業技術短期大学	加藤木和夫	24 (3)
27. 11. 7	漢方を測る	(株) ツムラ 漢方製剤開発センター	小幡 竜弘	20 (1)
28. 1. 23	生活に密着した地理情報技術の発展	(株) 日立製作所インフラシステム社電機システム本部	筒井 和雄	52 (7)
	バイオエコ技術を活用した流域水環境修復とその国際展開	国立研究開発法人 国立環境研究所	徐 開欽	
28. 3. 5	電力見える化データの活用と省エネ施策	(株) 日立製作所インフラシステム社産業ソリューション事業部	加藤 裕康	24 (2)

#### 千葉県支部

27. 5. 17	機械式立体駐車所 事故調査	(有) 森山技術士事務所 代表	森山 哲	57 (13)
27. 7. 20	次世代自動車とそれぞれを取り巻く技術	日本大学 生産工学部 教授 / 自動車工学 リサーチ・センター長	景山 一郎	78 (11)
27. 9. 5	自然災害と防災の基礎知識	国土研究開発法人 防災科学技術研究所	井口 隆	39 (4)
27. 10. 31	ISO 品質・環境マネジメントシステム規格改定に伴う対応	志澤技術士事務所 代表	志澤 達司	40
27. 11. 16	公共事業・インフラ・科学的精神 - 国土額を貫くもの -	一般財団法人 国土技術研究センター 国土政策研究所所長 (元国交省技監)	大石 和久	165 (49)
27. 11. 28	お客様が求める物を求めて	井電化工業(株) 社長	福井 順子	52 (8)
	優れたモノ作りはまず人づくりから	協和工業(株) 会長	板橋 直正	
27. 12. 12	開業技術士の経験とノウハウ：国内業務	長嶋技術士事務所 所長	長嶋 仁	27
		大塚技術士事務所 所長	大塚 雅彦	
	開業技術士の経験とノウハウ：海外業務	鈴木技術士事務所 所長	鈴木 睦夫	
		杉山技術士事務所 所長	杉山 篤	
28. 2. 27	高レベル放射性廃棄物の地層処分について	原子力発電環境整備機構 (NUMO)	安部 秀範	39
			塩谷 敏彦	

28. 3. 26	地域情報化計画、防災減殺、復興支援に関わって	国土舘大学 理工学部 非常勤講師	秋田 義一	34
	ものづくり補助金申請支援	熊田技術士事務所代表	熊田 成人	
	研究会等への参加による仕事の取得	中野技術士事務所所長	中野 昇	
	炭鉱技術の海外移転事業の講師として	石炭技術会理事長	水野 正勝	

#### 栃木県支部

27. 6. 6	栃木県工業振興課における技術振興施策について	栃木県 工業振興課 ものづくり企業支援 室副主幹	諏訪 勝也	36 (9)
27. 10. 31	秋の科学技術講演会 中核都市の将来に向けた交通体系を考える	宇都宮市 副市長	荒川 辰雄	94 (67)
27. 11. 16	初心者向けバイオマス講演会	国立研究開発法人 産業技術総合研究所 福島再生可能エネルギー研究所	坂西 欣也	40 (32)
27. 12. 12	栃木県支部の将来に向けて	菅井技術士事務所	菅井 俊郎	31 (1)
28. 2. 17	技術士を志す方への情報提供講座	(株) 富貴沢建設コンサルタンツ	菅 哲也	35 (29)
		河内農業振興事務所	田代 典久	
		大田原土木事務所	益子 崇	

#### 群馬県支部

27. 7. 24	特許情報調査の基礎知識	大竹特許事務所 代表	大竹 雅久	29 (4)
	知財法令改正の最近の話題－職務発明規定の改正、音などの商標－	一般社団法人 群馬県発明協会 常務理事・事務局長	眞下 寛治	
27. 11. 27	みなかみ町のバイオマス都市構想	NPOバイオマス産業社会ネットワーク 代表	竹林 征雄	24 (4)
28. 3. 11	食品のリスクマネジメント	桐生大学 短期大学部 生活科学学科 学科長・教授	高橋 淳子	21 (5)



資料 50 地域本部管轄下の県支部における主な見学会

※ 右欄の数字は参加者数、( )はそのうち一般の参加者数を示す

東北本部 宮城県支部	27. 8. 20	女川原子力発電所、防潮堤及び JR 女川駅	31
東北本部 青森県支部	27. 10. 23	東北地方整備局津軽ダム建設現場	38 (10)
東北本部 福島県支部	27. 4. 22	福島県県中建設事務所、郡山湖南線三森 I 工区トンネル工事	25
	27. 11. 17	福島第 1 原子力発電所構内視察	21
東北本部 山形県支部	27. 10. 16 ～ 17	高エネルギー加速研究機構、国土技術政策総合研究所、土木研究所、国土地理院、つくば宇宙センター、産総研地質標本館	25
東北本部 岩手県支部	27. 7. 16	建設 ICT 生産システム研究会 中間報告会	32
	27. 7. 31	第 5 回建設 ICT 生産システム研究会	15
	27. 9. 28	東日本大震災で被災した海岸林 及び 防潮施設の復旧状況見学	11
	27. 11. 25	東北本線岩崎川橋梁改築状況の見学会	20 (7)
	28. 2. 4	鉄道維持管理フェアの見学会	18 (6)
中部本部 愛知県支部	27. 11. 28	国盛：酒の文化館 及び ミツカンミュージアム	18
中部本部 三重県支部	28. 3. 4	三菱重工(株) 名古屋航空宇宙システム製作所 飛島工場 及び 飛島コンテナ埠頭(株)	24 (5)
中部本部 静岡県支部	27. 10. 31	三井住友建設(株) 由比港橋作業所	28 (4)
中国本部 岡山県支部	27. 9. 12	真庭バイオマス発電所及び蒜山高原	25 (3)
	27. 11. 28	総社・一宮バイパス及び岡山環状南道路工事現場	36 (8)
	28. 1. 16	サンシャインエナジー相生現場	11 (1)
九州本部 大分県支部	27. 5. 18 ～ 5. 24	ニュージーランド・クライストチャーチ市 震災復興事業ほか	6 (3)
	27. 10. 24	旧伊藤伝右衛門邸(飯塚市)、田川市石炭・歴史博物館(田川市)	16 (3)
九州本部 宮崎県支部	27. 7. 31	新日鐵住金(株) 大分製鐵所	10
九州本部 熊本県支部	27. 11. 22	熊本の土木工事現場見学会(国道 3 号北バイパス～北部流域下水道処理場～菊池川改修・内藤橋～万田坑(世界遺産)～南関産業廃棄物最終処分場)	60 (55)
	27. 11. 25	水田の暗渠排水・弾丸暗渠実演会(水俣市袋地区)	83 (78)
	28. 3. 15	弾丸暗渠実演会(熊本市大鳥居町小川池地区)	59 (56)
九州本部 長崎県支部	27. 5. 20	(株) 大島造船所	22 (6)
	27. 10. 15	(株) 洗陽電機 及び 小浜温泉バイナリー発電所	20 (4)
	28. 2. 20	近代化遺産めぐり(小ヶ倉ダム、本河内低部ダム)	18 (5)

資料 51 関東甲信地域の県支部における主な見学会

※ 右欄の数字は参加者数、( )はそのうち一般の参加者数を示す

神奈川県支部	27. 7. 14	(株)トーブラ本社秦野工場	28
	27. 11. 10	都立産業技術研究センター (ロボット産業支援プラザ見学及びロボット実演、センター内見学)	32
	28. 2. 10	ハマウイング (横浜市風力発電所) 及び 三菱重工業(株)金沢工場 (大型風車翼)	38
	28. 3. 22	オイレス工業(株)本社・藤沢事業場 (免震装置の設置現場 (免震ビルならびに設備免震) での実機見学)	41
埼玉県支部	27. 6. 26	本田技研工業(株) 埼玉製作所寄居工場 (車体組み立て及び溶接工程の見学)	30
	27. 12. 14	利根川水系遺跡 (埼玉県行田市、幸手市、加須市、関宿町、春日部市) : 利根川大堰 (水資源機構利根総合導水事務所)、カスリーン台風決壊口記念碑、権現堂調整池、関宿水閘門、首都圏外郭放水路管理支所・庄和排水機場 (龍Q殿)	41 (1)
山梨県支部	27. 9. 12	小水力発電機 (韮崎市徳島堰)、サントリー天然水南アルプス白州工場天然水製造ライン 及び ウィスキー貯蔵工程	11 (2)
長野県支部	27. 11. 14	昭和電工 (株) 大町事業所	20 (1)
	27. 11. 27	読書発電所 及び 梨子沢土石流災害現場 など	43 (27)
千葉県支部	27. 8. 21	キッコーマン食品工場「もの知り醤油館」「御用蔵」「野田市郷土博物館」	33 (1)
	28. 2. 26	(株)東芝電力システム社 京浜事業所	38 (5)
茨城県支部	27. 12. 5	公益社団法人茨城原子力協議会 原子力科学館	22
	27. 2. 19	(株)ツムラ 牛久大仏	19 (1)
栃木県支部	27. 6. 29	古河電気工業(株) 日光事業所	7
	27. 7. 9	足尾銅山	5
	27. 8. 10	日光2社1寺	5
	27. 9. 7	鬼怒川上流ダム連携事業	4
	27. 9. 24	サンデンファシリティ(株) ECOS 事業部 SF インタープリター	8 (1)
	27. 11. 9	レオン自動機(株) 及び 日本電産エレシス(株)	20 (中国訪日団 16)
	27. 11. 10	コマツ 小山工場 及び 日産自動車(株) 栃木工場	21 (中国訪日団 16)
群馬県支部	27. 10. 16	(株)アイチ・コーポレーション	30 (14)

資料 52 地域本部管轄下の県支部、部門別正会員・準会員数  
(平成28年3月31日)

【正会員】

部門	東北本部					
	宮城	青森	秋田	山形	福島	岩手
機械	9	5	0	4	12	2
船舶・海洋	0	0	0	0	0	0
航空・宇宙	0	0	0	0	0	0
電気電子	44	2	2	6	10	6
化学	0	0	0	1	2	0
繊維	0	0	0	0	0	0
金属	1	1	1	0	1	0
資源工学	0	0	0	0	0	0
建設	375	35	53	47	61	74
上下水道	23	7	12	4	10	9
衛生工学	8	0	1	1	2	1
農業	40	21	18	16	16	16
森林	5	10	5	2	6	10
水産	5	1	1	0	1	1
経営工学	3	0	2	2	2	1
情報工学	2	0	0	3	6	0
応用理学	44	3	7	8	5	16
生物工学	1	1	0	0	0	0
環境	8	2	2	4	1	5
原子力・放射線	1	4	1	0	5	0
総合技術監理	162	25	29	14	26	41
(部門別数 計)	731	117	134	112	166	182
会員数 計	541	89	94	90	135	121

【準会員】

部門	東北本部					
	宮城	青森	秋田	山形	福島	岩手
機械	6	0	0	1	5	2
船舶・海洋	0	0	0	0	0	0
航空・宇宙	1	0	0	1	0	1
電気電子	15	3	3	4	0	2
化学	0	0	0	3	2	1
繊維	0	0	0	1	0	0
金属	2	1	0	0	1	1
資源工学	0	0	0	0	1	0
建設	43	8	13	8	33	18
上下水道	5	1	1	2	6	2
衛生工学	3	0	2	1	1	1
農業	9	4	3	2	6	2
森林	1	0	2	0	1	3
水産	0	0	0	0	1	1
経営工学	0	0	1	1	0	0
情報工学	5	0	0	2	1	0
応用理学	3	0	1	0	0	1
生物工学	3	3	0	1	1	2
環境	13	1	0	4	9	3
原子力・放射線	1	3	0	0	0	0
総合技術監理	0	0	0	0	0	0
(部門別数 計)	110	24	26	31	68	40
準会員数 計	76	19	22	26	53	30

注1：複数部門での登録・合格者は、それぞれ部門で重複して計上している。

注2：準会員には、正会員のうち、第二次試験合格後、当該技術部門に登録していない者を含む。

【正会員】

部門	県支部	中部本部					中国本部
	北陸本部 富山	愛知	岐阜	三重	静岡	岡山	
機械	11	118	16	10	41	11	
船舶・海洋	0	0	0	1	1	0	
航空・宇宙	0	12	9	1	0	0	
電気電子	9	72	13	4	21	10	
化学	0	18	5	8	11	7	
繊維	1	9	2	0	0	1	
金属	4	21	4	1	5	2	
資源工学	0	1	0	0	0	0	
建設	68	307	72	34	58	57	
上下水道	8	47	6	11	19	6	
衛生工学	5	30	4	3	6	3	
農業	12	35	7	10	6	12	
森林	4	11	5	0	9	3	
水産	1	3	0	1	1	0	
経営工学	3	21	9	1	9	1	
情報工学	2	32	2	2	7	3	
応用理学	7	22	2	3	13	6	
生物工学	0	4	1	0	8	2	
環境	3	23	5	2	8	4	
原子力・放射線	1	0	0	0	1	2	
総合技術監理	43	191	55	21	32	42	
(部門別数 計)	182	977	217	113	256	172	
会員数 計	135	707	153	86	205	118	

【準会員】

部門	県支部	中部本部					中国本部
	北陸本部 富山	愛知	岐阜	三重	静岡	岡山	
機械	4	68	10	6	30	4	
船舶・海洋	0	0	0	0	0	0	
航空・宇宙	0	12	2	0	0	0	
電気電子	3	29	5	11	10	1	
化学	2	15	4	9	6	1	
繊維	0	0	0	0	0	0	
金属	0	6	0	0	4	0	
資源工学	0	0	0	0	0	0	
建設	17	42	12	12	14	10	
上下水道	3	10	6	1	6	3	
衛生工学	2	14	1	2	2	1	
農業	1	1	1	4	2	0	
森林	0	2	1	1	1	1	
水産	0	4	0	0	3	0	
経営工学	0	2	1	2	1	2	
情報工学	3	16	1	2	6	1	
応用理学	1	4	0	3	2	0	
生物工学	2	8	1	1	2	5	
環境	7	28	5	9	2	3	
原子力・放射線	0	0	1	0	0	0	
総合技術監理	0	3	2	0	0	1	
(部門別数 計)	45	264	53	63	91	33	
準会員数 計	41	215	45	52	83	27	

注1：複数部門での登録・合格者は、それぞれ部門で重複して計上している。

注2：準会員には、正会員のうち、第二次試験合格後、当該技術部門に登録していない者を含む。

【正会員】

部門	九州本部					
	大分	鹿児島	宮崎	佐賀	熊本	長崎
機械	1	1	3	3	2	15
船舶・海洋	0	0	0	0	0	1
航空・宇宙	0	0	0	0	0	0
電気電子	1	4	1	2	3	8
化学	3	1	0	0	2	3
繊維	0	0	0	0	0	0
金属	0	0	0	3	0	1
資源工学	1	0	0	0	1	0
建設	63	40	43	35	46	35
上下水道	5	6	8	2	7	3
衛生工学	0	2	1	1	1	2
農業	7	14	11	10	16	10
森林	3	2	2	1	6	4
水産	3	1	0	0	1	3
経営工学	1	2	2	0	2	0
情報工学	2	1	1	0	1	1
応用理学	3	6	3	5	9	2
生物工学	2	0	1	0	0	0
環境	2	4	3	1	2	3
原子力・放射線	1	0	0	0	0	0
総合技術監理	29	22	17	14	24	18
(部門別数 計)	127	106	96	77	123	109
会員数 計	96	82	73	58	84	86

【準会員】

部門	九州本部					
	大分	鹿児島	宮崎	佐賀	熊本	長崎
機械	0	3	2	2	2	5
船舶・海洋	0	0	1	0	0	0
航空・宇宙	1	0	0	0	0	0
電気電子	3	4	3	0	1	2
化学	1	1	1	0	0	0
繊維	0	0	0	0	0	0
金属	2	0	1	0	1	0
資源工学	0	0	0	0	0	0
建設	10	13	15	2	11	13
上下水道	1	2	2	0	1	3
衛生工学	1	1	0	0	3	1
農業	2	2	2	1	0	2
森林	1	0	0	2	0	0
水産	2	0	1	0	0	0
経営工学	1	0	2	0	1	1
情報工学	1	3	0	1	3	2
応用理学	1	2	0	0	1	0
生物工学	2	2	0	0	0	0
環境	1	7	4	0	3	3
原子力・放射線	0	0	0	0	0	0
総合技術監理	0	0	0	0	0	0
(部門別数 計)	30	40	34	8	27	32
準会員数 計	22	29	28	8	23	28

注1：複数部門での登録・合格者は、それぞれ部門で重複して計上している。

注2：準会員には、正会員のうち、第二次試験合格後、当該技術部門に登録していない者を含む。

資料 53 関東甲信地域における県支部、部門別正会員・準会員数  
(平成28年3月31日)

【正会員】

部門	県支部	神奈川	埼玉	山梨	長野	千葉	茨城	栃木	群馬
機械		254	80	3	12	100	79	24	22
船舶・海洋		2	0	0	0	2	0	0	0
航空・宇宙		9	2	0	0	4	2	0	0
電気電子		242	117	2	10	116	67	21	7
化学		87	18	0	1	56	13	4	4
繊維		10	3	0	0	3	1	0	0
金属		56	30	2	5	34	14	7	1
資源工学		4	4	1	0	13	1	0	0
建設		272	266	18	79	228	89	39	31
上下水道		81	48	5	13	51	16	8	14
衛生工学		56	33	2	2	46	12	4	4
農業		39	35	2	11	32	16	9	6
森林		9	6	2	10	9	1	1	5
水産		15	10	0	0	15	5	0	0
経営工学		97	22	3	6	33	18	7	4
情報工学		168	48	0	4	56	43	1	1
応用理学		51	48	1	14	27	25	2	4
生物工学		22	5	2	2	10	6	1	2
環境		56	21	1	6	27	6	1	3
原子力・放射線		40	5	0	0	5	69	2	0
総合技術監理		330	207	8	43	180	120	15	19
(部門別数計)		1,900	1,008	52	218	1,047	603	146	127
会員数計		1,487	741	43	155	813	440	128	99

【準会員】

部門	県支部	神奈川	埼玉	山梨	長野	千葉	茨城	栃木	群馬
機械		90	35	5	14	33	26	9	7
船舶・海洋		1	0	0	0	1	0	0	0
航空・宇宙		6	1	0	1	2	5	3	1
電気電子		79	33	5	6	43	18	8	5
化学		28	16	1	1	15	9	3	3
繊維		0	0	0	0	1	0	0	0
金属		13	3	0	1	7	3	4	1
資源工学		0	0	0	0	1	0	0	0
建設		64	49	6	22	45	17	9	19
上下水道		18	18	1	7	18	8	5	2
衛生工学		19	11	0	0	9	6	3	2
農業		9	6	1	1	10	5	3	1
森林		1	2	1	0	1	1	2	0
水産		5	3	0	0	5	1	0	1
経営工学		20	12	1	0	9	6	4	1
情報工学		67	25	0	4	22	12	5	3
応用理学		11	10	0	2	4	6	2	0
生物工学		23	8	1	1	8	7	3	1
環境		37	27	5	4	26	11	2	9
原子力・放射線		1	3	0	0	2	8	0	0
総合技術監理		2	1	0	1	2	1	0	0
(部門別数計)		494	263	27	65	264	150	65	56
準会員数計		421	225	25	53	216	111	58	43

注1：複数部門での登録・合格者は、それぞれ部門で重複して計上している。

注2：準会員には、正会員のうち、第二次試験合格後、当該技術部門に登録していない者を含む。

資料 54 地域本部、部門別 女性正会員・準会員数（平成28年3月31日）

【正会員】

部門	地区	地域本部所属								地域本部以外(※)	合計	
	北海道	東北	北陸	中部	近畿	中国	四国	九州	小計			
機械					1	3				4	4	8
船舶・海洋										0		0
航空・宇宙										0	2	2
電気電子										0	2	2
化学										0	2	2
繊維						1				1	3	4
金属				1					1	2	3	5
資源工学										0	2	2
建設	6	8	9	6	15	3	4	8	59	62	121	
上下水道	1	1		1	1	2		2	8	12	20	
衛生工学					1	1		2	4	4	8	
農業	4		1					2	7	3	10	
森林	1		1	1	1				4	3	7	
水産	2					1			3	4	7	
経営工学									0	6	6	
情報工学			1	1	2				4	16	20	
応用理学		1						4	5	8	13	
生物工学	2				2	1	1	1	7	7	14	
環境	1	2	1	2	3	3	2	4	18	22	40	
原子力・放射線									0	3	3	
総合技術監理	4	2	1	2	5	3		6	23	34	57	
(部門別数計)	21	14	15	14	34	14	7	30	149	202	351	
会員数計	14	12	12	11	27	7	5	20	108	148	256	

【準会員】

部門	地区	地域本部所属								地域本部以外(※)	合計	
	北海道	東北	北陸	中部	近畿	中国	四国	九州	小計			
機械					1	1	1		2	5	4	9
船舶・海洋										0	1	1
航空・宇宙										0	2	2
電気電子	1					2				3	2	5
化学			1			1				2	5	7
繊維										0		0
金属										0	1	1
資源工学										0		0
建設	2	3	1		4	2		3	15	13	28	
上下水道			1	1					2	1	3	
衛生工学	1								1		1	
農業			1	3	1	1		1	7	9	16	
森林	1								1	1	2	
水産				1				1	2	3	5	
経営工学				1					1	4	5	
情報工学	1			1	2				4	2	6	
応用理学					1				1	6	7	
生物工学	2	1		1	6		2	1	13	11	24	
環境	1		1	4	2	1	1	1	11	15	26	
原子力・放射線									0	2	2	
総合技術監理									0		0	
(部門別数計)	9	4	5	13	19	6	3	9	68	82	150	
準会員数計	9	4	5	13	19	6	3	9	68	82	150	

注1：※印は、関東・甲信地区（茨城県、栃木県、群馬県、埼玉県、千葉県、東京都、神奈川県、山梨県及び長野県）及び沖縄県を示す。

注2：複数部門での登録・合格者は、それぞれ部門で重複して計上している。（準会員は複数部門の登録・合格者は無し）

注3：準会員には、正会員のうち、第二次試験合格後、当該技術部門に登録していない者を含む。

資料 55 会員による活動グループの異動状況

登録されたグループ

No.	登録年月日	グループ名称	責任者	設立時構成員		
				計	正会員	専門家
1	平成 27 年 9 月 9 日	WIPO Green 推進研究会	伝田 六郎 (化学)	14	12	2
2	平成 27 年 9 月 9 日	製品安全技術士センター	高宮 脩武 (経営工学)	16	16	0
3	平成 27 年 11 月 12 日	IPD 研究会	野村 晃平 (金属/総監)	21	20	1

登録取消されたグループ

No.	登録取消年月日	グループ名称	責任者
1	平成 27 年 11 月 12 日	神奈川 エコ・国際技術センター	鈴木 隆 (金属)

※ 平成 28 年 3 月 31 日現在、54 グループが登録されている。



資料 56 平成 27 年度技術士試験実施状況

事 項	第一次試験		第二次試験	
	平成 27 年度	平成 26 年度 (参考)	平成 27 年度	平成 26 年度 (参考)
試験施行に関する 公告 (文部科学省公告)	27. 3. 2	26. 3. 3	27. 3. 2	26. 3. 3
受験申込受付期間	27. 6. 16~7. 1	26. 6. 13~7. 1	27. 4. 6~4. 27	26. 4. 14~5. 8
筆記試験の実施	27. 10. 12	26. 10. 13	27. 7. 19 27. 7. 20	26. 8. 2 26. 8. 3
筆記試験の試験地	北海道、宮城県、 東京都、神奈川県、 新潟県、石川県、 愛知県、大阪府、 広島県、香川県、 福岡県、沖縄県	北海道、宮城県、 東京都、神奈川県、 新潟県、石川県、 愛知県、大阪府、 広島県、香川県、 福岡県、沖縄県	北海道、宮城県、 東京都、神奈川県、 新潟県、石川県、 愛知県、大阪府、 広島県、香川県、 福岡県、沖縄県	北海道、宮城県、 東京都、神奈川県、 新潟県、石川県、 愛知県、大阪府、 広島県、香川県、 福岡県、沖縄県
筆記試験合格者発表	—	—	27. 10. 29	26. 10. 30
口頭試験の実施	—	—	27. 11. 27~12. 23 28. 1. 7~1. 20	26. 11. 28~12. 23 27. 1. 7~1. 21
合格者の発表 (文部科学省公告)	27. 12. 16	26. 12. 17	28. 3. 1	27. 3. 2

資料 57 技術部門別 女性技術士登録者数

(平成28年3月末日現在)

技術部門名	技 術 士 登 録 者 数											対前年度 増減
	1部門	2部門	3部門	4部門	5部門	6部門	7部門	8部門	9部門	10部門	合 計	
機 械	18	1									19	4
船 舶・海 洋											0	0
航 空・宇 宙	1	1									2	0
電 気 電 子	8	1									9	3
化 学	9										9	2
織 維	11	1									12	0
金 属	9	1									10	1
資 源 工 学	5										5	0
建 設	613	163	36	2	2						816	54
上 下 水 道	104	23	1	2	1						131	5
衛 生 工 学	38	3	2	1							44	2
農 業	73	9	4	1	2						89	8
森 林	17	9	2								28	4
水 産	11	7									18	1
経 営 工 学	7	2		1							10	0
情 報 工 学	28	10	1	1							40	1
応 用 理 学	48	16	6	1	2						73	2
生 物 工 学	20	2									22	3
環 境	119	46	29	3	1						198	12
原 子 力・放 射 線	5										5	0
総 合 技 術 監 理		157	36	4	2						199	22
合 計	1,144	452	117	16	10	0	0	0	0	0	1,739	124
		×1/2	×1/3	×1/4	×1/5	×1/6	×1/7	×1/8	×1/9	×1/10		
登 録 者 実 数	1,144	226	39	4	2	0	0	0	0	0	1,415	92

資料 58 技術部門別 女性技術士補登録者数

(平成28年3月末日現在)

技術部門名	技 術 士 補 登 録 者 数					
	1部門	2部門	3部門	4部門	合 計	対前年度増減
機 械	15				15	1
船 舶・海 洋						0
航 空・宇 宙	3				3	0
電 気 電 子	18				18	3
化 学	22				22	1
織 維	1				1	1
金 属	3				3	0
資 源 工 学	2				2	0
建 設	1,296	3			1,299	155
上 下 水 道	197	3	1		201	23
衛 生 工 学	28		1		29	△ 1
農 業	289	2			291	26
森 林	57	2			59	9
水 産	33	1			34	4
経 営 工 学	9				9	1
情 報 工 学	41	1			42	5
応 用 理 学	192				192	27
生 物 工 学	91	1			92	0
環 境	443	3	1		447	27
原子力・放射線	2				2	1
合 計	2,742	16	3	0	2,761	283
		×1/2	×1/3	×1/4		
登 録 者 実 数	2,742	8	1	0	2,751	283